

2023 年度シラバス

生命産業ビジネス学科 1 年次科目

2023 年 4 月 1 日 現在

<div>英語I</div> <div>English I</div>	授業担当教員	高橋 歩		
	補助担当教員			
	区分	教養必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】
現在日本が抱えている様々な問題について、また、その背景や現状について書かれた文章を精読しながら、読解力を養成し、語彙力を強化する。テキストで取り上げているテーマは「成人年齢」、「男女格差」、「言論の自由とその影響」などである。高等学校までに学習した文法項目を復習することで理解を深めさせ、「英語Ⅱ」などのより上級の科目を学習するための基礎を築く。TOEIC練習用のリスニング副教材を使用してリスニングの強化を図る。ペアワークなどでスピーキングの練習を行い、簡単なやり取りができるように訓練し、コミュニケーション能力を養成する。ライティングの課題を課し、英語で発信する力の基礎を築く。

【到達目標】
平易な英語で書かれた文章を読み、その内容を理解できる。日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。高等学校までに学習した文法を理解し、説明できる。英語で簡単なやり取りができる。身近な話題について、平易な英語で書くことができる。
知識・理解：１．平易な英語で書かれた文章を正確に読み、その内容を理解する。２．テキストで使用されている基本的な語彙を理解し、身につける。３．高等学校までに学習した文法事項を理解し、説明できる。４．TOEICリスニング・セクションの問題形式を理解する。
思考・判断：１．英文を読み、要旨を述べることができる。２．日本が抱えている問題について、解決策や将来の展望を考察できる。
関心・意欲・態度：１．予習をして授業に臨むことができる。２．日本が抱えている問題の背景や現状に興味と関心を示す。
技能・表現：１．日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。２．あいさつや自己紹介などの基本的な事項について口頭で表現できる。３．身近な話題について、平易な英語で書くことができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション ①Chapter 1: Educational Sakoku 教育鎖国 ②TOEIC Test について / カタノダメソツズについて	シラバスを読んで、科目の概要や目標、進め方を理解する。テキスト①を精読する。TOEICリスニング・セクション全体の問題形式を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	予習：シラバスをよく読む。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
2	①Chapter 1: Educational Sakoku 教育鎖国 スピーキング練習：自己紹介	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習をする。ペアグループでスピーキング練習をする。	講義・演習・発表・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
3	①Chapter 1: Educational Sakoku 教育鎖国 ②Unit 1: 写真描写問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
4	①Chapter 2: Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 ②Unit 2: 写真描写問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
5	①Chapter 2: Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 ②Unit 3: 写真描写問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
6	①Chapter 2: Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 ②Unit 4: 写真描写問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
7	①Chapter 3: Remote or In-person? Benefits and Disadvantages リモートと対面 ②Unit 5: 写真描写問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。到達度確認テストに備える。（120分）	高橋
8	到達度確認テスト ①Chapter 3: Remote or In-person? Benefits and Disadvantages リモートと対面	到達度確認テストを受ける。テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習をする。	講義・演習・試験・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。到達度確認テストに備える。（120分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
9	到達度確認テストの解説 ①Chapter 3: Remote or In-person? Benefits and Disadvantages リモートと対面 ②Unit 6: 応答問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
10	①Chapter 4: Gender Equality 男女格差 ライティング練習	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。ライティング課題に取り組む。	講義・演習・課題・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
11	①Chapter 4: Gender Equality 男女格差 ②Unit 7: 応答問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
12	①Chapter 4: Gender Equality 男女格差 ライティング練習	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。ライティング課題に取り組む。	講義・演習・課題・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
13	①Chapter 5: Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 ②Unit 8: 応答問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
14	①Chapter 5: Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 ②Unit 9: 応答問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。到達度確認テストに備える。（120分）	高橋
15	到達度確認テスト ①Chapter 5: Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 ②Unit 10: 応答問題	到達度確認テストを受ける。テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。	講義・演習・試験・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。到達度確認テストに備える。（120分） 復習：辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。（30分）	高橋

【教科書・参考書】				
種別	書名		著者・編者	出版社
教科書	①Japan's Dilemmas and Solutions - 15 Topics You Need to Consider 考えよう日本の論点15		James M. Vardaman, Kamata Akiko, Okada Hiroki, Kobayashi Ryoichiro	鶴見書店
教科書	②A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 450 K (カタノダ) メソツズによる5分間新TOEICテスト・リスニング450		Hiroko Katanoda, Thian Wong	南雲堂

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%	40%				5%	15%	
備考						ライティング課題		

【課題に対するフィードバック方法】

ライティング課題は添削して返却する。1 回目の到達度確認テストは授業中に返却し、正答を提示しながら内容を解説する。2 回目の到達度確認テストは正答および解説をTeams にアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 歩	木曜午後、金曜午後	E403d	ayumi@nupals.ac.jp

【その他】

辞書を持参すること。

フレッシュャーズ・セミナー Freshers' Seminar	授業担当教員	村上 聡・中村 豊・高久 洋暁・伊藤 美千代・小長谷 幸史・坂本 悠馬		
	補助担当教員	若栗 佳介		
	区分	教養必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

本授業では、学生の皆さんが利用する大学の施設・システムを紹介し、大学生活の円滑なスタートを支援する。また、各学科・各コースで学ぶ内容を解説し、学生が将来の目標と各自の課題を見出すことを促す。また、応用生命科学部で勉学に取り組むにあたり必要となるスタディスキル、デジタル社会における情報セキュリティと情報管理、大学や社会において必要な最低限のマナーを講義する。

【実務経験】

担当教員村上は、公立中学校教諭として勤務し、教員の研修指導、初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した。その実務経験を基に、自らの力量向上と他者との良好な関係づくりについて高い専門性とその理論的背景を講義とALにより展開する。

【到達目標】

卒業後の進路を考えるきっかけを作る。現在の自分の状況を把握するよう促し、大学時代にすべきことを具体化させる。
知識・理解：大学で利用できる施設・システムを理解する。学部・学科・コース・ゼミの概要を理解する。スタディ・スキルを身につける。データを適切に取り扱える。レポート・ノートの作成において留意すべき点がわかる。メールなどのコミュニケーションにおけるマナーを理解する。情報セキュリティと情報管理についての基礎を理解する。
思考・判断：どのような時に、どの施設・部署・システムを利用すべきか判断できる。自分の将来の目標に合わせて、コース・ゼミ選択について考えることができる。
関心・意欲・態度：自分の人生に関心を持ち、自律的に行動する。情報管理について日頃から気をつけることができる。
技能・表現：わかりやすい授業ノートを作成することができる。レポート作成などに必要な文章を適切に作成することができる。マナーを守って周囲とコミュニケーションを取ることができる。適切に情報管理をすることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	新潟薬科大学・応用生命科学部を知る 1	合宿で行われるフレッシュャーズ・セミナーでの授業により、本学と本学部および同学年の仲間を知る。	講義・SGD	予習：合宿ガイド、配布テキスト（135分） 復習：合宿ガイド、配布テキスト（135分）	フレッシュャーズ・セミナー 参加教員
2	新潟薬科大学・応用生命科学部を知る 2	合宿で行われるフレッシュャーズ・セミナーでの授業により、本学と本学部および同学年の仲間を知る。	グループワーク	予習：合宿ガイド、配布テキスト（135分） 復習：合宿ガイド、配布テキスト（135分）	フレッシュャーズ・セミナー 参加教員
3	授業オリエンテーション 新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 1	本学と本学部を知る。本学の建学の精神、大学の理念・ビジョンを知り、さらに大学および学部・学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を理解する（学部長）。 ディプロマ・ポリシー達成のためのカリキュラムの概要、本学部の教育プログラムと授業履修に必要な制度について理解する（教務委員会）。 大学生と時間管理・健康管理について学ぶ（学生委員会）。 人権とジェンダー、プライバシーに関連する基本的な諸概念を理解する（学生委員会）。	講義・課題	予習：配布動画、履修ガイド、時間割（135分） 復習：配布動画と資料、講義内容の復習（135分）	高久 伊藤美千代（教務委員会） 中村（学生委員会）
4	新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 2	本学コース、ゼミを知り、利・活用について学ぶ。	講義・課題	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	伊藤 小長谷
5	ICTを利用した学習	マイクロソフト社のTEAMSを利用して、アドバイザーグループごとにコミュニケーションプラットフォームを作る。学習やアドバイザーグループ活動のツールとして、コミュニケーションプラットフォームの使い方について学び、実際に操作する。	講義・課題・グループワーク	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	小長谷 若栗（村上）
6	スタディ・スキル 1	スタディ・スキルの基礎について考え、レポートとは何か、文章を書く目的について学ぶ	講義・課題・グループワーク	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	村上 小長谷
7	スタディ・スキル 2	文章の読み方、書き方、大学におけるノートの書き方を学び、実践する。	講義・課題	予習：テキストを読む（135分） 復習：講義内容の復習をする（135分）	村上 小長谷
8	スタディ・スキル 3	レポートの書き方について一般的な基礎を学び、実践する。 レポート提出、チャットやメール利用などにおけるマナーを学ぶ。仮想データからレポートを作成する。	講義・課題	予習：テキストを読む（135分） 復習：講義内容の復習をする（135分）	村上 小長谷
9	スタディ・スキル 4	学科ごとに分かれて、実験・実習レポートや、授業の課題レポートを書く技術の基礎を身につける。 仮想のデータをもとに作成されたレポートを見直して修正する。	講義・課題	予習：テキストを読む（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	伊藤 村上 小長谷
10	スタディ・スキル 5	学科ごとに分かれて、実験・実習レポートや、授業の課題レポートを書く技術の基礎を身につける。	講義・演習・SGD	予習：テキストを読む（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	伊藤 村上 小長谷
11	スタディ・スキル 6	作成した課題のレポートについてプレゼンを行い、学生どうして評価をする。	SGD・発表・討論	予習：テキストを読む（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	村上 伊藤 小長谷
12	コミュニケーションの在り方	コロナ感染拡大に伴い、近年はオンラインでの関わりが普及し、逆に対面で人と会うことが減っている。しかし、人と人が会うことの本質は、お互いが身体を同じ空間に置くことで体験されるものである。本講義では、コミュニケーションに関する臨床心理学の基本的な知識をレクチャーした後に、アイスブレイクやグループワークを通じてコミュニケーションの本質を体験できたかと思っている。	講義・グループワーク	予習：自分自身のコミュニケーションの癖や人と関わる際にどうしていたかを、家族、友人、初対面の人、他人など様々な対象ごとに考えてみる。（135分） 復習：体験を通じて感じたことや思ったことを振り返り、自分のコミュニケーションの癖や対人関係を築くうえでの長所・短所について考えを深める。（135分）	坂本 中村（学生委員）
13	新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 3	本学の付属施設を知る。特に図書館など学びに必要な施設の利・活用について学ぶ。	講義・課題	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	村上 小長谷 図書館職員
14	新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 4	実際に図書館に行き、借りた資料を利用してグループワークを行いながら資料の活用方法について学ぶ。	グループワーク	予習：資料作成（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	村上 小長谷
15	デジタル社会での情報管理	デジタル社会において、データやAIを利・活用するにあたっては、様々な留意事項を考慮することが重要である。ここでは、ELSI（倫理的・法的・社会的な課題）や個人情報保護、自らが情報を受信・発信する際のデジタル社会における心得を学ぶ。	講義・演習・レポート	予習：配布プリント（135分） 復習：配布プリント（135分）	村上 若栗

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	大学生学びのハンドブック	世界思想社編集部	世界思想社
その他	必要に応じてプリントを配布する。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%	30%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容についての演習/SGDの時間を設け、その内容について解説する。
授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
村上 聡	月～金の昼休み その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる	理科教育学研究室(E401c)	s-murakami@nupals.ac.jp
中村 豊	平日の13:10-18:00	環境有機化学研究室(E402a)	nakamura@nupals.ac.jp
高久 洋暁	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室 (E201a)	htakaku@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	生物学研究室 (E101)	konayuki@nupals.ac.jp
坂本 悠馬	講義時間前後	非常勤講師室	
若栗 佳介	月～金 11:00～16:00	新津駅東キャンパス（NE215）	wakakuri@nupals.ac.jp

【その他】

遠隔授業の場合の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft Teams上での当科目のチーム内でチャット等を活用して受付実施する。

早期体験学習 Early Exposure to Practice	授業担当教員	杉田 耕一・松本 均		
	補助担当教員			
	区分	教養必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】
 本学卒業後のキャリアプランを構築するために必要な基礎知識（日本の経済状況や社会情勢、社会制度など）を講義する。自分の将来の目標を考え、大学在学中に取り組むべき具体的な課題の抽出を促す。実際に社会で活躍するビジネスパーソンや卒業生による講義を通じ、進路選択や仕事についての実例を紹介する。PROG試験結果を用い、自己の能力についての理解と今後の対策方法について解説する。

【実務経験】
 担当教員の杉田は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、新入社員の教育等を行いながら事業を進めてきた。また、事業の推進に当たって多種多様な業界の企業との共同研究や取引関係を構築してきた。このような実務経験を活かして、企業情報について実際の情報を提供すると共に、企業が求める社員像等を理解できるように指導する。担当教員松本は、食品企業において、食品の研究開発営業マーケティング業務に27年間従事した経験を活かして、一般的な会社員として必要な知識やスキル、社会人として必要な知識や義務などを幅広く紹介する。

【到達目標】
 学生生活に必要な知識を修得し、卒業までのスキルアップのプランを作成する。自分の特性を理解し、卒業後の進路を考える。卒業までにキャリア形成の面ですべきことを具体化させる。
 知識・理解：社会で生活するのに必要な基礎知識（現在の日本および新潟県の経済状況、就職状況、企業の雇用制度や社会保障制度など）を有している。自身の能力（コンピテンシー・リテラシー）が把握できている。
 思考・判断：目標から逆算して、「今何をすべきか」「今年中に何をすべきか」「卒業までに何をすべきか」を判断できる。
 関心・意欲・態度：自分の人生に関心をもち、節目節目の目標をたて、自律的に行動する。
 技能・表現：自分の目標を設定し、他者に伝えることができる。目標実現のために必要な課題を抽出することができる。また、自分の特性についてまとめ、説明できる

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション ホームルーム 1	新潟薬科大学は、どのような大学なのか。応用生命科学部は、なにを学ぶ学部なのか。改めて学ぶ。 アドバイザーグループの仲間について、よくお互いを理解する。	グループワーク	予習：自己紹介の内容を考えてくる（30分） 復習：アドバイザーグループの仲間について、理解を深める。メンバーについて、まとめる（190分）	杉田 一年次アドバイザー 教員
2	ホームルーム 2	これまでの生活を振り返り、自分の将来の夢について、これまでの人生を振り返る。これからの人生設計を考え、まとめる。自分のグループの中で発表して、他のメンバーの意見をもらう。また、他のメンバーの「夢」について、よく理解し、感想を述べてみる。	グループワーク	予習：自分の夢について、考えてくる（30分） 復習：自分の夢について、メンバーの感想を参考に自分の将来について、設計してみる（190分）	杉田 一年次アドバイザー 教員
3	キャリアガイダンス1(社会制度、経済状態、企業研究)	卒業後の各個人のキャリアプランを構築するための基礎知識として、大学生として生活していくに当たって必要な、経済、社会に関する知識を習得する。日本国の経済状況、就職状況、新潟県内企業の就職状況。過去に応用生命科学部卒業生が就職した会社の実績とその事業内容。企業における、賃金体系、各種手当、労働時間、休日日数、昇給制度、福利厚生、雇用保険制度などについて講義する。	講義	予習：資料を事前に読んでおく（30分） 復習：授業で修得した内容をもとに、自分の生活を見直すとともに、キャリアプランを作成する（190分）	松本 キャリア 支援室
4	キャリアガイダンス2（就職活動の予備知識）	3、4年生で、迎える就職活動について学ぶ。就職活動に必要な知識、スキル、情報、資格、などについて学び、自分にとって必要な準備事項をリスト化する。大学院進学の意味、就職状況について知る。教職課程について知り、志望者はそのキャリアプランを考える。自分で選ばなくてはいけない職種、業界、業種、企業について、学ぶ。	講義	予習：資料を事前に読んでおく（30分） 復習：授業で修得した内容をもとに、自分のやりたい職業、就職したい会社についてまとめる（190分）	松本 キャリア 支援室
5	社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く1	社会で活躍する卒業生や見習うべき社会人の話を聞く。学生時代にやったこと、コース、研究室の選び方。学生生活全般。就職先の選択や、現在の仕事、今後のキャリアプランを聞いて、自分に当てはめて、考えてみる。	●動画 配信型 授業	予習：資料を事前に読んでおく（30分） 復習：先輩の話をもとに、自分のキャリアプランを考える（190分）	杉田 外部講師
6	社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く2	前回とは、異なる分野の卒業生の話を聞く。学生時代にやったこと、コース、研究室の選び方。学生生活全般。就職先の選択や、現在の仕事、今後のキャリアプランを聞いて、自分に当てはめて、考えてみる。	●動画 配信型 授業	予習：資料を事前に読んでおく（30分） 復習：先輩の話をもとに、自分のキャリアプランを考える（190分）	杉田 外部講師
7	キャリアガイダンス3（社会人基礎知識）	生活するうえで必要な知識を修得する。病気になったケガをしたときの医療制度と健康保険制度、老後の生活にかかわる年金制度と資産運用について、学生でもかかる税金制度など、生活に困ったときに利用できる社会福祉制度などについて、幅広く学習する。また、学生が巻き込まれやすい、注意すべき犯罪について解説する	講義	予習：資料を事前に呼んでおく（30分） 復習：授業で修得した内容をもとに、自分の生活を見直す（190分）	杉田 松本 外部講師
8	キャリアガイダンス4（能力の伸ばし方）	PROG試験を受験して、今のコンピテンシー（行動する力）、リテラシー（考える力）の実力を把握する。特に、卒業するまでに延ばして行きたい能力について、目標を立てるとともに、行動する内容を決める。	演習	予習：PROGの試験結果を読んでおく（60分） 復習：解説をもとに、自分のスキル育成プランを作成する（160分）	杉田 キャリア 支援室
9	10年後の目標	これまでの授業で、修得した知識と、先輩の体験談をもとに、自分の10年後の目標を立て、それを達成するためのキャリア育成プランをつくり、マイルストーンとなるべき項目を設定する。	講義・ 演習・ 課題	予習：資料を事前に読んでおく（30分） 復習：目標設定、キャリア育成プランを作成し、レポートにまとめて提出する（190分）	杉田 キャリア 支援室
10	キャリアガイダンス5（公務の職業について）	公務員の職種について、国家公務員、地方公務員、特別職公務員などについて、その業務内容、制度、待遇などについて広く学ぶ。専門職公務員について、幅広く学び、その意義について、考察する。公務員の受験制度について調べる。応用生命科学部の卒業生で公務員の奉職している先輩の例について、学ぶ。	講義	予習：資料を事前に読んでおく（30分） 復習：身近にある公務員と言う職業について考え、可能性を検討する（190分）	杉田 キャリア 支援室

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	必要に応じて、プリント、資料を配布もしくは、Teams上にUPLOADする		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%	50%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
 レポートはTeams上で提出するものとし、Teams上で、必要に応じて、コメントする

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）	NE209	agri-sugita@nupals.ac.jp
松本 均	月曜日～金曜日の9:00-18:00（昼休み1時間を除く）	食品機能化学研究室（E203a）	hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp

【その他】
 友人や先輩との交流を大切にしながら、進路についての主体的な情報収集を心掛けること。

情報リテラシー基礎 Basic Information Literacy		授業担当教員	高津 徳行・井坂 修久		
		補助担当教員	若栗 佳介		
		区分	教養必修		
		年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
医療・健康系分野において、コンピュータが果たす役割はますます大きくなっている。この授業では今後の学習や研究、卒業後の業務などで利用する、パソコンやインターネットを使う上での基本的な知識、セキュリティに対する対応策等について説明し、情報機器の基礎について講義する。また、基本的なソフトウェアを用いて文書作成、実験データ解析や情報収集、プレゼンテーションスライド作成などの実用的なPC活用スキルを指導する。本科目は、1年次後期開講科目「情報リテラシー応用」の基礎に位置付けられる。

【到達目標】
コンピュータそのものの知識を含む情報リテラシーに関する基礎的な知識を学習し、正しい知識・モラルをもって適切にコンピュータを利用することができる。
知識・理解：1）コンピュータを構成する装置の機能と接続方法を概説できる。2）ソフトウェアの基礎概念について概説できる。3）ネットワークの構成について概説できる。4）インターネットについて概説できる。5）インターネット上でのサービスやソーシャルメディアについて概説できる。6）ネットワークなどのセキュリティについて概説できる。7）コンピュータウィルスや悪意あるソフトウェアなどの脅威について概説できる。8）著作権やその隣接権について概説できる。9）個人情報について概説できる。10）SNSを利用する上での注意点を概説できる。
関心・意欲・態度：1）ネットワークを利用する上でのセキュリティに配慮することができる。2）情報システムを扱う上での、マルウェアやコンピュータウィルスなどの各種の脅威への注意点について配慮できる。3）ソーシャルメディア利用上の注意点について配慮できる。4）著作権やその隣接権を尊重することができる。5）個人情報に配慮・保護することができる。
技能・表現：1）Wordを使用してレポートを作成ができる。2）電子メールを使用してビジネスメールの様式となる文章を作成・送信できる。3）Excelを使用して実験データ処理ができる。4）PowerPointを使用してプレゼンテーションのスライドが作成できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション（前半） コンピュータの構成（1）	授業の概要・進め方等を理解する。データサイエンスとは何かを知る。ハードウェアとソフトウェア、ハードウェアとは何かを学ぶ	講義	予習：シラバスの熟読。（80分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）	高津
2	コンピュータの構成（2）	ハードウェアの種類と、その接続方法を学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
3	コンピュータの構成（3）	ソフトウェアとは何か、ソフトウェアの種類について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
4	通信とネットワーク（1）	LANとWAN、ネットワークの接続方法、無線LANのセキュリティについて学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
5	通信とネットワーク（2）	インターネットの概念、インターネット接続に必須とされるIPとドメインについて学ぶ、インターネット上でのサービスの種類、ソーシャルメディアについて学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
6	情報とセキュリティ（1）	システムやデータの安全性について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
7	情報とセキュリティ（2）	ネット上の脅威とその対策、著作権の保護について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
8	情報とセキュリティ（3）	個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（1）	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
9	情報とセキュリティ（4）	個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（2）	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	高津
10	授業オリエンテーション（後半） タイピング、電子メール、ワープロソフトWord（1）	コンピュータの基本操作と便利なツールや、電子メールの利用方法とメールマナーについて学ぶ。また、Wordを使用して基本的な文書の作成や飾り文字について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	井坂 若栗
11	ワープロソフトWord（2）	Wordを使用してパンフレットの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	井坂 若栗
12	表計算ソフトExcel（1）	Excelを使用して基本的な表計算及びグラフについて学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	井坂 若栗
13	表計算ソフトExcel（2）	Excelを使用して複雑なグラフの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	井坂 若栗
14	プレゼンテーション作成ソフト PowerPoint（1）	PowerPointを使用してプレゼンテーション用スライドの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	井坂 若栗
15	プレゼンテーション作成ソフト PowerPoint（2）	PowerPointを使用してアニメーションについて学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	井坂 若栗

【教科書・参考書】		書名	著者・編者	出版社
教科書	医療系のための情報リテラシー Windows11・Office2021対応		佐藤・川上編	共立出版

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				30%		10%	10%
備考								前半9回は毎回確認テスト等を行う

【課題に対するフィードバック方法】
・授業に関して寄せられた要望・質問は、Teams、メール等を利用して受付・回答をする。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高津 徳行	月17:00～19:00 除：教授会開催日 火～金 18:30～19:30	薬学教育センター（F棟B101a）	takatsu@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～16:00	新津駅東キャンパス（NE215）	wakakuri@nupals.ac.jp

【その他】
10回目以降の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施する。
成績評価方法・基準に関する補足：「その他」は毎回確認テスト等を行って評価する。欠席はこの確認テスト等を受けていないものとして扱われる。成績表各順の詳細は、必要に応じて説明する。

<div> <div>コミュニケーション英語I</div> <div>Communicative EnglishI</div> </div>	授業担当教員	Begley CharlesWayne		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】
 This course is designed to help the student hone better listening skills and thereby expand their personal ability in using the English language to communicate in everyday situations or on the professional front.
 To increase listening skills and at the same time improve students' practical English skills that may or may not have been presented in English I and II as well as to improve practical English skills that may not be covered in English III. Thus, providing a classroom atmosphere in which lively interactive English speaking can be developed.
 Note : Content of any class is subject to change upon the discretion of the instructor.

【到達目標】
 With the goal of communicating in English the students'awareness in global issues and global communication will increase by practical use. Listening comprehension, speaking ability, vocabulary known, daily expressions etc ; practiced in class using everyday situations as presented in the text book will increase the students overall ability in conversation.
 知識・理解：１． Increasing understanding and vocabulary usage.
 思考・判断：１． Learning to think within the paradigm of conversation.
 関心・意欲・態度：１． Progress is deperdent upon the students'personal desire to learn and use the language.
 技能・表現：１． Students will increase listening skills.
 ２． Attaining a more workable skill in language usage.

【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション Starting Out Chapter 1：To Be ; Introduction	Introduction to course. （goals, methods, personal effort. ）Self introduction and review of and simple questions. Introduce phonics.	講義・演習	予習：p.1-6（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
2	Chapters 2 & 3：To Be + Location / Subject Pronouns / Present Continuous Tense	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 1.	講義・演習	予習：p.7-24（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
3	Chapter 4：To Be ; Short Answers / Possessive Adjectives	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 1.	講義・演習	予習：p.27-30（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
4	Chapter 4：To Be ; Short Answers / Possessive Adjectives	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 1. Verbal spelling of vocabulary from previous lessons.	講義・演習	予習：p.31-34（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
5	Chapter 5：To Be ; Yes and No Questions / Possessive Nouns	Phonics pronunciation review. Irregular verb Chart # 2. Practical application in class.	講義・演習	予習：p.35-39（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
6	Chapter 5：To Be ; Yes and No Questions / Possessive Nouns	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 2. Talk about places and opinions.	講義・演習	予習：p.40-44（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
7	Chapter 6：To Be ; Review / Present Continuous Tense	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 2. with sentence building.	講義・演習	予習：p.45-49（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
8	Chapter 6：To Be : Review / Present Continuous Tense	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 2. with sentence building.	講義・演習	予習：p.50-52（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
9	Chapter 7：preposition / Singular / Plural ; Iroduction	Phonics and pronunciation review.	講義・演習	予習：p.55-58（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
10	Chapter 7：preposition / Singular / Plural ; Iroduction	Phonics and pronunciation skills drill.	講義・演習	予習：p.59-66（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
11	Chapter 8：Singular / Plural ; Adjectives ; This/That/These/Those	Phonics and pronunciation skills drill. Vocabulary spelling and meaning.	講義・演習	予習：p.67-76（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
12	Chapter 9：Simple Present Tense	Self introduction and review of and simple questions.Introduce phonics	講義・演習	予習：p.79-81（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
13	Chapter 9：Simple Present Tense	Phonics and pronunciation skills drill.Irregular verb Chart # 1.	講義・演習	予習：p.79-81（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
14	Chapter Review	Chapter Review 1－1 3	講義・演習	予習：p.1-81（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
15	Chapter Review, Oral and Written Examinations	Chapter Review, Oral and Written Examinations	講義・演習・試験	予習：All lessons（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	Side by Side：Book 1	S. J. Molinsky他著	Pearson & Longman
教科書	Oxford Picture Dictionary 2nd Edition English Japanese（日英）edition	J. Adelson-Goldstein他著	Oxford University Press

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
 テスト解答例を採点済答案とともに返却します。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
Begley CharlesWayne	講義終了後	非常勤講師室	

【その他】
 質問がある場合は時間割の授業時間までに英語またはローマ字で質問を記入してください。
 授業時間に回答します。

確率と統計 Probability and Statistics	授業担当教員	押金 孝佳		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
現代は社会現象や自然現象において不確実性が増しており、確率論や統計学の考え方や技能が求められている。この授業では、それらに対応できるように確率・統計の基本的考え方および手法を講義する。さらに将来、学生諸君が具体的なデータ解析が必要となった場合に、適切な解釈を行い正しく統計手法を活用出来ることを目標に講義を行う。

【到達目標】
確率および統計の基本的な知識と手法を学習し、実験等で必要となるデータ解析を行える能力を身につける。
知識・理解：1. 不確実な事柄を確率的に考察できる。2. 統計を用いて何ができるか説明できる。3. 統計の基礎的な分析手法について説明できる。
思考・判断：1. 物事に対して客観データを用いて論理的に他者に説明できる。2. 実験結果をデータ解析し、考察を行うことができる。
関心・意欲・態度：1. 統計やデータ解析の学習に対する意欲を持つことができる。2. 統計を社会や実験の場で積極的に用いる意欲を持つことができる。
技能・表現：1. 実験やフィールドワーク等で収集したデータの解析ができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 順列・組合せ、標本空間、確率	順列・組合せ、標本空間、確率について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.2～29（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
2	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.34～53（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
3	二項分布とポアソン分布	二項分布とポアソン分布について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.54～61（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
4	正規分布	正規分布について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.62～71（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
5	いろいろな分布	指数分布、一様分布、t分布、カイ2乗分布やF分布について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.72～81（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
6	中心極限定理	中心極限定理について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.82～90（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
7	度数分布とヒストグラム	度数分布とヒストグラムについて学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.94～107（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
8	散布図と相関係数	散布図と共分散、相関係数について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.108～113（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
9	母集団と標本分布	母集団と標本分布について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.118～127（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
10	点推定と区間推定	点推定と区間推定について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.128～143（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
11	母平均の検定	母平均の検定について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.144～149（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
12	母平均の差と等分散性の検定	母平均の差の検定、等分散性の検定について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.151～156（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
13	母比率・無相関の検定	母比率・無相関の検定について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.157～163（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
14	回帰分析	回帰直線、回帰係数の推定と検定について学ぶ	講義・課題	予習：教科書p.164～175（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
15	第1章～第4章	練習問題と質問受付	講義・演習	予習：教科書p.2～175 復習：授業内容	押金

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	やさしく学べる統計学	石村 園子	共立出版

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%				20%		10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
毎回の確認テストを実施し、次回の授業内で解答と解説を行う。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
押金 孝佳	授業終了後	非常勤講師控室	

<div> <div>生命倫理</div> <div>Bioethics</div> </div>	授業担当教員	長倉 望		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

わたしたちは科学技術の発展した現代社会を生きています。生殖技術、医療技術、IT技術など、科学技術の発達の恩恵をうける一方、そのことによって、わたしたちの「いのち」が対象化され、その意味を見失いかねない状況が生まれています。人はいつ生まれ、いつ死を迎えるのか、生死の区切りすら、不明瞭になったり、大きく変化したりしています。この講義では、応用生命学部に学ぶみなさんが科学の発展とともに新しく生まれてきた生命倫理の諸課題を理解し、現代社会を生きるわたしたちの命についての理解を深めることができるように、さまざまな角度から、命の理解について講義し、命に対する倫理的ありかたについて検討します。

【到達目標】

生命倫理の課題を理解し、現代社会を生きる自分のいのちについて、考察を深める。

知識・理解：科学技術と人間の命に関する倫理的課題の概要を理解する。

思考・判断：現代社会を生きる自らの命について自覚し、考察を深める。

関心・意欲・態度：現代社会の生命倫理的課題に関心をもち、様々な立場からの議論を理解し、整理することができるようになる。

技能・表現：生命倫理的な課題に対して、様々な議論をふまえ、その中で自分の立ち位置を明確にしながら、自分にとっての「いのちの理解」を語ることができるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション／講師自己紹介／生命倫理とは何か	主観的ないのちと客観的ないのちについて、自分たちが生きるいのちの捉え方を考える。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
2	いのちの理解の多面性	比較的新しい学問である生命倫理の課題と歴史を外観する。また、WHOの健康の定義から見る命の理解や、科学主義的な現代社会の中から立ち上がるいのちへの問いについて考える。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
3	科学といのち、思想宗教といのち	キリスト教を例として、科学的ないのちのとらえ方と、思想宗教的なとらえ方の違いについて考察する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
4	関係の中を生きるいのち	生物的な生命に「意味」を与える人格関係について考察すると共に、「死」についての多面的理解についても考える。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
5	時間の中を生きるいのち	ギリシャ神話と聖書にみられる時間意識の違いをもとに、科学技術と倫理道德の関係について考察する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
6	前半のまとめ	第5回までの講義で扱ったいのちの理解についてのまとめを行い、後半に扱う具体的な生命倫理的課題を考えるための備えとする	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
7	生まれるいのち～生殖医療をめぐって～	人工授精、体外受精など、生命倫理の課題の中の「いのちの始まり」に関する課題を外観し、倫理には様々な立場・判断があることを学ぶ。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
8	選別される命～人工妊娠中絶・出生前診断～	工妊娠中絶や出生前診断の議論を外観し、生命倫理の課題が、個人的・医学的な課題であると同時に、社会的・政治的課題ともなっている現状について学ぶ。	講義	予習：授業項目、授業内容に関するまとめを作成し提出。 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
9	選別された命～ナチスドイツのT4作戦～	優生思想とその行き着く先について、ナチスドイツの事例に学ぶ。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
10	選別された命2～科学主義の問題点～	ナチスドイツのT4作戦に加え、2016年7月に起こった相模原連続殺傷事件について学び、科学主義の問題点について考察する。		予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	
11	社会的差別といのち～日本におけるハンセン病隔離政策の歴史から～	わたしたちの社会にひそむ優生思想について、日本におけるハンセン病患者隔離政策の歴史から学ぶ。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
12	いのちの多様性	前回講義を受けて、いのちの多様性を考える。その例として、浦河べてるの家の活動を紹介しつつ、オルタナティブな社会のあり方について検討する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
13	早められた命の終わり～脳死・臓器移植の課題～	医療技術の発展と共に現れた脳死の問題について学び、生命倫理的課題について考察する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
14	死といのち～終末期医療・尊厳死・自死～	いのちの終わりについての諸課題について考察し、いのちの意味についてもう一度問い直す。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
15	まとめ／課題と展望	これまで扱ったテーマを復習し、生命倫理の課題と展望を整理して学ぶ。また知識の定着度を測るテストを行う。	講義	予習：なし 復習：今学期に学んだこと、また学びを通しての自分自身の変化について考えをまとめて提出（270分）	長倉

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	使用しない。		
参考書	必要に応じて授業で紹介する。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					15%	60%	25%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

講義ごとに、講義を受けて自分の考えをまとめたレポート（リアクションペーパー）を20分程度で作成、提出。次回の講義で、その中からいくつかを匿名で紹介しながら、コメントを加える形で、仮想ディスカッションの時となるよう講義を進めます。最後の講義で、知識の確認をする小テストを行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
長倉 望	講義終了後	非常勤講師室	

【その他】

Microsoft Teams を用いて、講義資料の配布等を行います。

科学技術論 Science Studies		授業担当教員	太田 紘史		
		補助担当教員			
		区分	教養選択		
		年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
科学は歴史的にどのようにして成立し、どのように発展してきたのか。技術は社会をどのように変え、人生をどのように形作っているのか。現代の科学技術はどのような倫理問題をもたらしているのか。科学と技術にまつわる様々な問題を、科学と技術の外側から検討する。

【到達目標】
知識・理解：科学と技術がどのような特性を持っているのか、またそれがどのような問題をもたらしうるのかを説明できる。
思考・判断：科学と技術にまつわる問題を、哲学的なもの、歴史的なもの、社会的なもの、倫理的なものに類別できる。
関心・意欲・態度：科学と技術の進歩に対して、それがどのように社会や人生に影響しうるかという観点から討議することができる。
技能・表現：これまでの諸研究で議論されてきたことを踏まえながら、科学と技術がもたらしうる問題について自身の考えを表現することができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	科学の進歩	科学がもたらす知識は特別なもののように思われる。科学はどのようにに生じ、どのように進歩してきたのかを考える。	講義	予習：科学とそうでないものの区別が何かを考えておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
2	科学と宗教	科学と宗教は、歴史上隣り合わせであったが、今やその乖離は明らかである。両者の微妙な関係について考えてみる。	講義	予習：科学と宗教の歴史について調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
3	リフレクション&ディスカッション	「科学の進歩」「科学と宗教」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
4	科学と人間	科学は物質、生命、宇宙だけではなく、人間の心や行動をも対象としてきた。科学の進歩が人間観をどう変えるのか、考えてみる。	講義	予習：心の科学の歴史について調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
5	技術と生	人間の生き方は、社会に浸透する技術から独立ではいられない。技術とともに変容する生のありかたについて考えてみる。	講義	予習：身の回りの技術にどのようなものがあるか考えておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
6	リフレクション&ディスカッション	「科学と人間」「技術と生」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
7	科学技術者の責任	科学技術がもたらすものは利益だけではない。それは軽微なものから甚大なものまで様々な副次的な害をもたらしうる。科学技術者に課せられた責任について考えてみる。	講義	予習：科学技術の害の事例を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
8	科学と研究公正	科学研究は知的な誠実さを前提としているが、その内実は時代や状況を通じて多様である。公正な研究のありかたについて考えてみる。	講義	予習：研究不正の事例を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
9	リフレクション&ディスカッション	「科学者の責任」「科学と研究公正」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
10	生命科学技術の倫理	生命を操作することに対して倫理的な限界はあるだろうか。価値やその根拠をめぐる問いについて考えてみる。	講義	予習：生命科学技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
11	神経科学技術の倫理	他者の脳に介入して善良な人間にしてみてもよいだろうか。私の脳を機械と接続したら、どこまでが私なのだろうか。心をめぐる技術の難問を考え見る。	講義	予習：神経科学技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
12	リフレクション&ディスカッション	「生命科学技術の倫理」「神経科学技術の倫理」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
13	人工知能技術の倫理	人工知能に委ねてよい意思決定の範囲はどこまでだろうか。人工知能は責任を負いうるだろうか。確実に迫る未来社会について考えてみる。	講義	予習：人工知能技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
14	宇宙科学技術の倫理	宇宙開発はどのような問題をもたらすか。宇宙に進出するのは何のためなのか。地球人類の1人として考えてみる。	講義	予習：宇宙科学技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	
15	リフレクション&ディスカッション	「人工知能技術の倫理」「宇宙科学技術の倫理」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	

【教科書・参考書】				
種別	書名	著者・编者	出版社	

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						毎回の授業で論述課題を課す。		

【課題に対するフィードバック方法】
提出された課題については個別に対応する。また一部については授業中に公開して検討材料とする。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
太田 紘史			

<div> <div>歴史学</div> <div>History (Russian-Jewish History)</div> </div>	授業担当教員	中谷 昌弘		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
ミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」の舞台となったロシア（東欧）のユダヤ人の世界を中心に、ユダヤ人の歴史や文化について講義する。

【到達目標】
「ユダヤ人」や「ユダヤ人問題」に関して、基本的なことが説明できる。ユダヤ史およびそれに関連した西洋史（特にロシア・東欧の近現代史）について、基本的なことが理解する。
知識・理解：１．「ユダヤ人」について説明できる。２．古代イスラエル史について説明できる。３．中世ドイツにおけるユダヤ人迫害について説明できる。４．近世ポーランドにおけるユダヤ人の役割について説明できる。５．帝政ロシアのユダヤ人問題（ボグロムなど）について説明できる。６．ホロコーストについて説明できる。
思考・判断：１．ユダヤ人問題を通して、現代の民族問題についても考察できるようになる。
関心・意欲・態度：１．ユダヤ人問題を通して、近現代の民族問題にも関心をもてるようになる。
技能・表現：「ユダヤ人」や「ユダヤ人問題」に関して、基本的なことが説明できるようになる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーションとイントロダクション：「ユダヤ人」とは誰か	「ユダヤ人」の定義を理解する。映画「屋根の上のバイオリン弾き」について紹介する。	講義	予習：『旧約聖書』について調べる。（120分） 復習：「ユダヤ人」（定義）について。（120分）	中谷
2	古代のユダヤ人（１）：「ユダヤ教」の成立	『旧約聖書』の世界のうち、アブラハムの時代から王国建設までを理解する。	講義	予習：離散(ディアスポラ)について調べる。（120分） 復習：『旧約聖書』について。（120分）	中谷
3	古代のユダヤ人（２）：離散（ディアスポラ）のはじまり	『旧約聖書』の世界のうち、王国分裂から離散（ディアスポラ）にいたるまでを理解する。	講義	予習：十字軍およびユダヤ人迫害（中世）について調べる。（120分） 復習：離散(ディアスポラ)について。（120分）	中谷
4	中世ドイツのユダヤ人：十字軍と迫害のはじまり	中世ドイツのユダヤ人の歴史のうち、特に十字軍以降のユダヤ人迫害について理解する。	講義	予習：ポーランド王国（16～17世紀）について調べる。（120分） 復習：十字軍とユダヤ人の迫害について。（120分）	中谷
5	東欧のユダヤ人（１）：ユダヤ人の黄金時代	中世、ポーランドに移住したユダヤ人が享受した「黄金時代」について理解する。	講義	予習：コサックについて調べる。（120分） 復習：ポーランド王国とユダヤ人の黄金時代について。（120分）	中谷
6	東欧のユダヤ人（２）：フメリニツキーの乱	ユダヤ人の「黄金時代」が終焉する契機となったフメリニツキーの乱（コサック）について理解する。	講義	予習：ハシディズム（ユダヤ教の宗派）やイディッシュ語について調べる。（120分） 復習：コサック(フメリニツキー)について。（120分）	中谷
7	東欧のユダヤ人（３）：東方ユダヤ人の成立	フメリニツキーの乱後に成立した「東方ユダヤ人」について理解する。	講義	予習：エカテリーナ2世やポーランド分割について調べる。（120分） 復習：東方ユダヤ人の特徴（ハシディズムやイディッシュ語）について。（120分）	中谷
8	ポーランド分割とユダヤ人	ポーランド分割によってロシア帝国に組み込まれることになったユダヤ人の運命について理解する。	講義	予習：アレクサンドル1世やニコライ1世について調べる。（120分） 復習：ポーランド分割とエカテリーナ2世について。（120分）	中谷
9	ロシア帝国とユダヤ人	19世紀前半のアレクサンドル1世およびニコライ1世時代のロシア帝国のユダヤ人政策について理解する。	講義	予習：アレクサンドル2世および彼が行った農奴解放について調べる。（120分） 復習：19世紀前半のロシア帝国のユダヤ人政策について。（120分）	中谷
10	「大改革」とユダヤ人	1861年に農奴解放を行ったアレクサンドル2世のユダヤ人政策および「大改革」によって急激に変貌したユダヤ人の生活について理解する。	講義	予習：ボグロム (pogrom) について調べる。（120分） 復習：大改革・農奴解放とユダヤ人について。（120分）	中谷
11	1881年ボグロム	1881年に南ウクライナで多発した「ボグロム」（＝ユダヤ人に対する暴行、略奪など）とその後のロシア帝国のユダヤ人政策について理解する。	講義	予習：1905年革命（ロシア第一革命）について調べる。（120分） 復習：1881年ボグロムについて。（120分）	中谷
12	1905年革命とボグロム	1905年にロシア帝国で起こった革命（ロシア第一革命）とそれに伴って発生した「ボグロム」について理解する。	講義	予習：ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民について調べる。（120分） 復習：1905年革命と第二次ボグロムについて。（120分）	中谷
13	ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民	19世紀末から20世紀初頭にかけてロシアからアメリカに移民したユダヤ人について理解する。	講義	予習：ロシア革命（1917年）について調べる。（120分） 復習：ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民について。（120分）	中谷
14	ロシア革命とユダヤ人	1917年のロシア革命にかかわった多くのユダヤ人について理解する。	講義	予習：ホロコーストについて調べる。（120分） 復習：ロシア革命とユダヤ人について。（120分）	中谷
15	東欧のユダヤ人（４）：ホロコースト	第2次世界大戦時のホロコーストについて、東欧（ロシア）を中心に理解する。	講義	予習：期末試験準備。（120分） 復習：講義内容の復習と総まとめ。（120分）	中谷

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	牛乳屋テヴィエ	S・アレイヘム作／西成彦訳	岩波文庫
参考書	ユダヤ人	上田和夫	講談社現代新書
その他	講義時にプリントを配布する。		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%						30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
毎回の授業の最初に行われる確認テストは、その場で解答・解説を行います。また授業に関して寄せられた要望はPortal NUPALSで回答します。定期試験終了後、Cyber-NUPALSに解答例（ただし記述問題のみ）をアップロードする予定です。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中谷 昌弘	授業の前夜	非常勤講師室	masadkhv@hotmail.com

【その他】
予習の際には、インターネットや電子辞書（百科事典）を利用してもかまいません（ただしインターネット上の情報のなかには怪しいものも含まれていますので注意してください）。

マス・メディア論 A Study of Media Literacy		授業担当教員	田中 幸弘		
		補助担当教員			
		区分	教養選択		
		年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】

近年、インターネットやスマホの情報通信機能が広く社会に定着したとはいえ、テレビや新聞を中心とするマス・メディアはまだまだ私たちの重要な情報源である。授業では、こうした多様化するマス・メディアとソーシャルメディアとどう向き合って、自分たちの情報生活をより豊かなものにしていくかを目的とする「メディアリテラシー教育」の基本につき法的枠組みも踏まえて講義する。

【到達目標】

人生をより豊かに生きるために以下に列举する①～③の3つのリテラシーを、限られた時間の中でバランスよく習得する。①メディア・リテラシー：マスメディアやソーシャルメディア（SNS）の情報を、鵜呑（うの）みにしないで、主体的かつ批判的に読み解く能力。②メディカル・リテラシー：医療・健康情報のより正しい知識を身に付けたり、理解できる能力。食と健康に関するフード・リテラシーを含む。③リーガル・リテラシー：社会的ルールとしての法律に関する基礎的な知識を身に付けたり「法律の日本語」を読み解く能力を身に付ける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	メディア・リテラシーとメディカル・リテラシー	「メディア・リテラシー」の基本概念、およびメディアの特性を構成する基本的な概念について学びます。マスメディアの「情報操作」のメカニズムや、プロパガンダ（政治宣伝）等の概念についても歴史的な経緯も踏まえ言及しつつ、メディカルリテラシーとしての情報の収集・検証・管理の視点、ソーシャル・メディアでの留意点も含めて検討していく。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
2	マス・メディアとソーシャル・メディア	マスメディア情報を鵜呑みにすることの危険性を知り、主体的な視聴者となることの必要性の導入授業となる。さらに、常識を疑ってみるということ・固定観念・思い込みの排除といったリテラシー向上のために、ソーシャル・メディアでの書き込みも含めて、私たちにとって「事実」とは何かを考えていく。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
3	ニュース・報道ジャーナリズム・検証（報道）番組	「マスメディアがつくる風評被害」について考える。特定の企業の不祥事や最近の日本社会における企業倫理の崩壊＜モラル・ハザード＞を厳しく糾弾するのではなく、テレビ番組の視聴者・消費生活者としての私たちの主体的な生き方の問題として考える。マスメディアについての放送法上の法的規制枠組みについても概観する	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
4	「ドキュメンタリー番組」と「ドラマ」（ノンフィクションとフィクションの境界）	「社会差別・社会的不正義発見」のためのマスメディアの役割と社会的影響と法的枠組みとの関係について考える。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
5	マス・メディアとマイノリティ・・・ソーシャル・メディアとの関係も含めて	テレビのリアリティ構成・テレビ番組の解説・テレビの商業的な背景といった問題とソーシャル・メディアでの状況の相違、「社会的マジョリティーとマイノリティ」という視点から、メディアの役割と法的規制枠組みも踏まえて考える。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
6	ソーシャル・メディアとインターネットと法的枠組み	インターネットとソーシャル・メディアの関係、ソーシャル・メディアの社会的役割と弊害について法的な視点も交えて検証する。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
7	映像の文法・メディアの文法	映画やテレビ・ドラマを形作る3つの要素である、脚本（シナリオ）・映像（撮影）・編集（カッティング）についての基礎知識を参考に、映像コンテンツとソーシャル・メディアの関係、ネット・リテラシーと法的な問題について言及する。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
8	フリー・トークとレポート作成のためのアサインメントと指導	事前に配布した、質問用紙の内容をベースにして、時間の許す限り、Q&Aの時間とする。あわせて最終レポートの課題設定と、論理的構成力を持った短いレポートの書き方講座を実施する。	演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見えておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	特に指定しない・基本的には講師作成のレジュメに従って授業を行う		
参考書	ソーシャルメディア論・改定版	藤原裕之・編著	青弓社
参考書	情報・メディアと法	児玉晴男	一般社団法人放送大学教育振興会
参考書	失われた報道の自由	マーク・R・レヴィン＝著（道本美徳＝訳）	日経BP

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験模範解答をCyber-Campusへアップロードする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
田中 幸弘	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

授業はすべて事前配布か、あるいは当日配布の「レジュメ」を使用の予定。
成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

スポーツ Physical Education	授業担当教員	高橋 努		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】
バドミントン、卓球種目の実技をする。身体活動（運動やスポーツ）の意義を理解させ、自己の身体状況を十分把握しながら適切な身体活動を行い、総合的な生活体力の向上と健康の保持、増進に努めさせる。

【到達目標】
学生時代はもちろん、生涯にわたり、安全で充実した健康生活を積極的に営むために、生活体力の養成と身体活動の習慣化を習得する。また、対戦方法を話し合ったり、ゲームごとに対戦相手をかえるなど、友達づくりのきっかけになることも目標とする。
知識・理解：バドミントン、卓球の歴史、用器具、ルール、マナー、ゲーム等について説明できる。
思考・判断：バドミントン、卓球の技術等の向上について、学生同士で指摘できる。
安全で健康的な生活を営むための生活体力の養成方法をいろいろ考えることができる。
関心・意欲・態度：バドミントン、卓球を積極的に実施できる。
バドミントン、卓球のゲームの対戦相手を尊重し、ゲームを実施できる。
バドミントン、卓球のゲームにおいて、主審、副審、線審、得点係などの担当を話し合って決めて、メンバー全員で協力してゲーム運営を実施できる。
技能・表現：バドミントン、卓球のゲームをルール、マナー等に従い、技術等を実践することができる。
その他：15回すべて実施することができる。
事故、怪我がなく、明るく、楽しく、元気よく実施することができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション バドミントンの基本練習 1	シラバスをもとに科目の概要や到達目標を理解する。 体育施設について理解する。 コンディショニングを把握する。 シャトルが打てるようになる。	実習	予習：シラバスを熟読する。（30分） 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
2	バドミントンの基本練習 2	各種打法が打てるようになる。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
3	バドミントンの簡易ゲーム バドミントンのゲーム運営	ルール、ゲーム、審判法などを理解し、簡易ゲームを行う。 シングルス、ダブルスのゲームにおいて、進行をスムーズに行えるようになる。	実習	予習：配布資料等を参考にルール、ゲームの進め方、審判方法などを理解する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
4	バドミントンのゲームと評価 1	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続くようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
5	バドミントンのゲームと評価 2	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
6	バドミントンのゲームと評価 3	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
7	バドミントンのゲームと評価 4	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、各種打法を使い分け、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
8	バドミントンのゲームと評価 5	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
9	卓球の基本練習	ボールが打てるようになる。 各種打法が打てるようになる。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
10	卓球の簡易ゲーム 卓球のゲーム運営	ルール、ゲーム、審判法などを理解し、簡易ゲームを行う。 シングルス、ダブルスのゲームにおいて、進行をスムーズに行えるようになる。	実習	予習：配布資料等を参考にルール、ゲームの進め方、審判方法などを理解する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
11	卓球のゲームと評価 1	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続くようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
12	卓球のゲームと評価 2	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
13	卓球のゲームと評価 3	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、各種打法を使い分け、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
14	卓球のゲームと評価 4	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋
15	卓球のゲームと評価 5	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）	高橋

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	なし		
教科書	なし		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合				50%			50%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた質問や要望等は、次回の授業内で回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 努	授業の前後	K棟K201（体育館2階）	

【その他】

＜用意するもの＞体育館シューズ、トレーニングウェア、着替え、タオル、うちわ、飲料水、マスクなど。

アロマセラピー Aromatherapy	授業担当教員	飯村 菜穂子		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	1単位

【授業概要】

エッセンシャルオイルを利用したプライマリーケア（予防医学）をはじめ、医療現場等で活用されているアロマセラピーの基礎知識を身につけ、薬学的知識と技術を応用しながら、人間が本来持つ感覚や自然治癒力を呼び起こし、日常生活を健康で豊かなものとしてくれるアロマセラピーを安全に実践できる知識、技能として幅広く学ぶ。

【到達目標】

アロマセラピーには、人間が本来持つ感覚や自然治癒力を呼び起こしてくれる作用があり、また日常生活を健康で豊かな生活を送るために、エッセンシャルオイルを利用したプライマリーケア（予防医学）として大変注目されています。セルフメディケーションの時代を迎え、薬物療法だけでなく、薬学的知識と技術を活用したアロマセラピーやメディカルハーブなどの相補・補完療法もバランスよく提案できる知識、技能を身につけ、活用できることを目標とします。

日常生活を健康で豊かな生活を送るために、エッセンシャルオイルを利用したプライマリーケア（予防医学）として大変注目度が高く、また人間が本来持つ感覚や自然治癒力を呼び起こす作用をもつアロマセラピーについて総合的に学び、セルフメディケーションの時代において薬学的知識と組み合わせたアロマセラピーの基礎的な理論や精油の特徴を修得し、人々の生活や医療現場で適正に活用できるようになることを目標としています。

知識・理解：

1.植物と精油の関係を説明できる。2. 精油の名称を列举できる。3. 精油とその作用について説明できる。4. 精油の抽出法と香りの特徴について説明できる。4. 精油の使用法について説明できる。5. 精油の安全性について説明できる。6. 精油の人体への影響を説明できる。7.アロマセラピーに関係する法令について説明できる。

思考・判断：

1.アロマセラピーの基礎知識を健康やスキンケアに役立てるための具体的な手法を述べるができる。2.自分のタイプにあった精油の選択ができる。3.香りのもつイメージを感じることができる。4.対象者の症状や体質に応じて、適切な精油を選択することができる。5.人々の生活や医療現場等において、アロマセラピーの応用・利用について具体的に述べるができる。

関心・意欲・態度：

1.予防医学の一環として、アロマセラピーを学び、修得することで、健康維持や増進だけでなく、予防医学への関心も高める。2.アロマセラピーを学ぶことで近代・西洋医学と相補・代替療法のいずれも視野に入れた患者中心の医療である統合医療にも関心をもつ。3.現代社会における生活や健康に関する諸問題にアロマセラピーがどのように応用、利用できるかについて述べるができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	アロマセラピー概論	エッセンシャルオイルとアロマセラピー	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおく。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解を深めておくこと。（90分）	飯村
2	エッセンシャルオイルの成分	エッセンシャルオイルと植物との関係 エッセンシャルオイルの基礎化学 香りのイメージと特徴	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。私達の生活に比較的身近にある精油について1つ選択し、調べておくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村
3	エッセンシャルオイルの作用機序	エッセンシャルオイルはどのように働くか	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村
4	エッセンシャルオイルの抽出・保存	エッセンシャルオイルの抽出法・保存方法	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村
5	エッセンシャルオイルの活用	香りの心理作用 アロマセラピーとリラクゼーション	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村
6	エッセンシャルオイルのブレンド アロマセラピーと統合ヘルスケア	エッセンシャルオイルのブレンド法 人の健康とアロマセラピー	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村
7	エッセンシャルオイルの安全性 アロマセラピーに関する法律	エッセンシャルオイルの毒性と禁忌 アロマセラピーに関する法令	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村
8	クリニカルアロマセラピー	アロマセラピーを医療現場、介護・福祉現場に活かす	講義・演習	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。（90分） 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。（90分）	飯村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	アロマコーディネーター講座	日本アロマコーディネーター協会	日本アロマコーディネーター協会
参考書	クリニカル・アロマセラピー	ジェーン・バックル 著	フレグランスジャーナル社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

演習の解答及び解説は授業内で行う。
学生が独自に作成した予習復習ノート等があり提出した場合にはコメントをつけて返却する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
飯村 菜穂子	火曜日～木曜日 16：00～19：00	薬学教育センター（F棟FB109）	iimura@nupals.ac.jp

【その他】

講義日程をすべて修了し、所定の条件を満たした学生は、アロマコーディネーターライセンス試験の受験ができます。アロマコーディネーターライセンスの取得を希望する学生は必ず履修してください。アロマコーディネーターライセンス試験の詳細、及びアロマコーディネーターの活動等については、1回目の講義時間内で説明をします。また追加説明がある場合には、講義内で適宜説明をします。
アロマコーディネーターを目指している学生への連絡は、Teamsやポータル配信等で適宜公開します。
本科目の成績は、総合で60%以上で合格とします。

生物学入門 Introduction to Biology	授業担当教員	伊藤 美千代		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
食品・農業・環境について理解する上で重要となる生物の基本的な物質構成と細胞構造及び機能について講義を行う。本科目は、1年次開講科目である「食品・環境科学入門実験」、2年次開講科目である「食品化学」「食品館理論」「栄養科学」、3年次開講科目である「食品製造論」「発酵醸造学」「食品微生物学」「食品安全学」の基礎として位置づけられる。

【到達目標】
生命体は物質のみからなることを理解する。生体を構成する基本的な物質を列挙し、その特徴に基づいて分類できる。自立して生命現象を営む生物個体の最小単位である細胞の基本構造及び機能について説明できる。最初の細胞がどのように生じたかについて説明できる。酵素の特性と細胞内でのエネルギー獲得代謝を修得する。メンデルの法則発見から始まり、遺伝子に関する著名な発見の実験を通して分子生物学まで学び、これらの過程が細胞内で進行する様子を具体的に認識できる。
知識・理解：1. 主要な生体物質について説明できる。2. オルガネラの構造と機能の点から細胞を説明できる。3. 体細胞分裂と減数分裂を説明できる。4. 細胞周期について説明できる。5. 生体内の化学反応（代謝）の特徴を説明できる。6. エネルギー源としてのATPを獲得する代謝を列挙して、それぞれを記述できる。7. 太陽光エネルギーを化学エネルギーに固定する過程を説明できる。8. メンデルの法則で明らかにされた遺伝子の特徴を説明できる。9. DNAが遺伝子の本体であることを実験事実から説明できる。10. DNAの立体構造解明の歴史を述べ、二重らせんモデルが遺伝子分子にふさわしいことを説明できる。11. DNAがエンドウ豆を「丸」や「シワ」にする仕組みを説明できる。12. 核内にあるDNAの遺伝情報で、細胞質でのタンパク質合成をどのようにして指令するかを説明できる。13. mRNAの存在を証明し、かつコドンの解明に道を開いた実験を説明できる。
思考・判断：1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸について、その構成成分などにより分類できる。2. 真核細胞と原核細胞の違いを指摘し、細胞内共生説を説明できる。3. 細胞分裂の前後における染色体数の変化について解釈できる。4. 代謝と一般の化学反応との異同を説明できる。5. 発酵と酸素呼吸における反応収支を記述できる。6. 地球の生物にエネルギーを供給している主要な供給源を指摘できる。7. DNAの半保存的複製を証明したMeselsonとStahlの実験を説明できる。8. 細胞の模式図を描き、DNAの遺伝情報をもとに、タンパク質を合成している様子を描写できる。
関心・意欲・態度：
1. 生物は様々な分子により構成されており、生命現象は化学反応により行われていることについての確に議論を行うことができる。2. 異なる生物の種類であっても、細胞内で行われている化学反応や細胞の構造は共通している部分が多いことについて討議できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 自然科学と応用生命科学と生物学	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 自然科学の特性と応用生命科学の目標を提示し、生物学がその基礎となることを学ぶ。	講義・SGD	予習：シラバスの熟読（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
2	糖質の性質と構造	生物のエネルギーのもととなる物質であり、かつ生物にとって基本的な素材である糖質について整理する。生物は光学異性体を区別し、使い分ける。主要な糖質の構造と名称、特性を学ぶ。糖質のなかで、複数の単糖が多数重合したものを多糖という。この多糖の種類と、生体内での働きについて学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
3	脂質の性質と構造	脂質は生物のエネルギーを貯蔵する物質としてよく知られている。脂質は細胞膜の成分や一部のホルモンとしての役割ももっている。これらについて整理しながら学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
4	アミノ酸の性質と構造	生体に含まれる20種アミノ酸について、その構造と性質について学ぶ。アミノ酸の分類について学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
5	タンパク質の性質と構造	アミノ酸が重合してできたタンパク質について生体内での働きについて学ぶ。タンパク質の構造について学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
6	核酸の構造とはたらき	遺伝情報を担う分子としての核酸の構造を学ぶ。ヌクレオチド、ヌクレオシド、核酸塩基、糖及びリン酸など核酸構成要素とその役割を学ぶ。 DNA、RNAの構造について学ぶ。核酸のもつ様々な働きについて学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
7	細胞の構造	生命体の最小構造単位としての細胞について、生命現象を営む空間としての構造上の特性と、その空間を包む細胞膜の特性に由来する細胞の構造と機能の基本的な特徴を学ぶ。標準的な真核細胞の構造を、細胞内外を区画する構造体、細胞内で膜に包まれている構造体、細胞内の巨大分子集合体、細胞内の無構造部分に分けてそれぞれの特性を学ぶ。標準的な原核細胞構造、真核細胞と原核細胞の関係を細胞内共生説に基づいて学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
8	細胞分裂（体細胞分裂と減数分裂、細胞周期）	細胞増殖のための細胞分裂のうち、体細胞の分裂と生殖細胞成熟のための分裂について学ぶ。細胞が継続して分裂できる仕組みと細胞周期とその調節について学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
9	細胞の機能1（代謝と酵素、酵素反応機構）	生体内の化学反応（代謝）は酵素反応による。酵素の種類、組成、特性について学ぶ。酵素の欠損・不全が代謝異常を招く。酵素の活性中心とその阻害から、酵素の反応機構を学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
10	細胞の機能2（ATPの獲得、好気呼吸、光合成とATPの利用）	すべての生物はATPをエネルギー源にできる。細胞がATPを獲得するために行う異化代謝を呼吸という。解糖系と発酵を学ぶ。酵素を利用してATPを獲得する代謝を学ぶ。解糖系に引き続いて、クエン酸回路、酸化的リン酸化と進むが、その代謝の経路と、それらを実行する細胞内の場所について学ぶ。生物の活動エネルギーの大部分は植物が捉えた太陽光エネルギーに由来する。光エネルギーをATP及び有機物質に蓄える代謝（光合成）の過程と実行場所について学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
11	遺伝と遺伝情報1（遺伝学の始まり、遺伝子と遺伝）	子が親に似る遺伝現象は遺伝子の組合せで説明できることをメンデルが明らかにした。メンデルの法則から遺伝子の特性について学ぶ。遺伝子の挙動様式から、遺伝子が染色体上に座位し、染色体地図が作製できることを学ぶ。多くの場合、独立の法則が成立しないことについて学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
12	遺伝と遺伝情報2（遺伝子とDNA、DNAの立体構造、DNAから形質へ）	遺伝子の本体がDNAであることはどのようにして証明されたかについて、肺炎球菌の形質転換実験、ファージの増殖実験、ラジオアイソトープ実験により学ぶ。DNAの立体構造解明の歴史と2重らせん構造が遺伝子分子にとって必須の役割を果たすことを学ぶ。DNAの半保存的複製について学ぶ。DNAがどのようにしてエンドウの種子形を丸やシワにできるのか、遺伝子DNAによる形質発現はタンパク質を経由することを学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
13	遺伝形質の発現1（mRNAの発見とコドン）	DNAの遺伝情報を元にタンパク質を合成するには遺伝情報を伝令するmRNAが必要である。mRNAの塩基配列をアミノ酸配列に翻訳するコドンの解明方法について学ぶ。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
14	遺伝形質の発現2（遺伝情報の翻訳）	DNAの遺伝情報を元にタンパク質を合成する過程の各段階が、細胞のどこで、どの分子が関わって進行するか学ぶ。mRNAのコドンをアミノ酸に対応させるのはtRNAである。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤
15	食品・農業・環境と生物学	食品・農業・環境に関する知見について生物学の視点から考察する。	講義・SGD・討論	予習：授業内容の事前学習（135分） 復習：授業内容（135分）	伊藤

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	Essential 細胞生物学（原書第4版）	中村・松原監訳	南江堂
参考書	キャンベル生物学－原書9版－	池内・伊藤・箸本監訳	丸善出版
参考書	細胞の分子生物学－第5版－	中村・松原監訳	Newton Press
参考書	エッセンシャル・キャンベル生物学（第6版）	池内・伊藤・箸本監訳	丸善出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					70%		30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp

化学入門 Introduction to Chemistry	授業担当教員	伊藤 美千代		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

私たちを取り巻く物質は全て化学物質と呼ばれる。すなわち、食品・農業・環境で取り扱うものは全て化学物質であり、その化学物質についての基礎的な知識は新しい生産物や製品の素材や成分について理解する上で重要なものとなる。本講義では、食品・農業・環境を学ぶ上で基礎となる原子・分子・化学反応等について解説する。本科目は、1年次開講科目「食品・環境科学入門実験」の基礎として位置づけられる。

【到達目標】

化学の成り立ちを理解し、原子論による物質の保存や変化についての見方を確認・習得することによって、種々の分野において実用的な化学の利用がどのようになされているかを理解する。
知識・理解：1. 原子および分子そしてイオンなどについて説明できる。2. 化学反応の定量性について説明できる。3. 酸と塩基について説明できる。4. 元素の周期律について説明できる。5. 原子量と分子量について説明できる。
思考・判断：1. 我々を取り巻く物質を分子のレベルで思考できる。2. 物質の現象を化学変化から思考できる。3. 定量的な思考と判断ができる。4. 化学的分野について物質の変化を考えることができる。
関心・意欲・態度：1. 食品・農業・環境について化学的観点から考えることができる。2. 化学物質の変化について関心を持つ。3. 定量的なものの見方をもった態度で討論する。
技能・表現：1. 自らが体得した化学の内容について発表形式で的確に表現できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 原子の定義と構造（1）	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 原子を構成する陽子、中性子、電子の性質について学び、原子の構造について理解する。	講義・討論	予習：シラバスを熟読する。（100分） 復習：講義内容（170分）	伊藤
2	原子の定義と構造（2）	原子を構成する陽子、中性子、電子の性質について演習問題を解くことにより理解する。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
3	電子殻と電子配置	電子殻に収容できる電子の数について学ぶ。また、電子殻への電子の配列のしかたを学び電子配置について理解する。	講義・討論	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
4	周期表と元素の分類	原子番号および質量数について学ぶ。周期表を構成する元素の並びについて学び、各元素の性質について理解する。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
5	アボガドロ数と物質質量	アボガドロ数について学び、物質質量（mol）について理解する。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
6	イオンとイオン結合	正の電荷を帯びた陽イオンと負の電荷を帯びた陰イオンについて学ぶ。イオンを表すイオン式およびイオンの価数について理解する。陽イオンと陰イオンが静電的な引力によって結合するイオン結合について学ぶ。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
7	金属と金属結合	金属中を自由に動き回ることができる自由電子について学ぶ。自由電子による金属原子の間の結合である金属結合について理解する。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
8	分子と共有結合	決まった種類の原子が決まった数だけ結びついた分子について理解する。原子が互いに電子を共有してできる共有結合について学ぶ。電子式と構造式について理解する。	講義・演習・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
9	電気陰性度と分子の極性	原子が共有電子対を引きつける強さである電気陰性度について学ぶ。共有結合をしている2原子間に見られる電荷の偏りである結合の極性について理解する。無極性分子と極性分子について学び分子の極性について理解する。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
10	酸と塩基	酸と塩基の定義として、アレーニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義について学ぶ。	講義・演習・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
11	酸・塩基の価数と強弱	酸の価数および塩基の価数について学ぶ。電離度について理解し、強酸・強塩基・弱酸・弱塩基について学ぶ。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
12	水の電離と水溶液のpH	水溶液の酸性や塩基性の強さを表す数値であるpH（水素イオン指数）について学ぶ。水溶液の性質とpHの関係について理解する。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
13	中和反応	酸と塩基が反応する中和反応について学び、中和反応の量的関係について理解する。	講義・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
14	中和滴定	中和反応が終わる中和点までに要した塩基（または酸）の水溶液の体積を求める操作である中和滴定について学ぶ。中和反応の滴定曲線について理解する。	講義・演習・SGD	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤
15	食品・農業・環境と化学	食品・農業・環境に関する知見について化学の視点から考察する。	講義・SGD・討論	予習：授業内容の事前学習（100分） 復習：授業内容（170分）	伊藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	配付資料		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					70%		30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp

食品・環境科学入門実験 Introductory Experiments in Food and Environmental Sciences	授業担当教員	伊藤 美千代・小瀬 知洋・相井 城太郎・松本 均・能見 祐理・西山 宗一郎・宮崎 達雄・井坂 修久・佐藤 眞治・大野 正貴		
	補助担当教員	中野 絢菜		
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】
食品や環境に関する実験を集中講義形式で行う。食品系の実験では、食品製造・加工における発酵技術、餅の製造、色素成分の抽出、細菌数の測定、糖質量測定、商品開発に関する実験の目的および方法を概説する。環境系の実験では、水の浄化に関する目的および方法を概説する。実験目的および方法を概説した後、実験を行い、実験結果の整理・解析を行い、レポートの作成を指導する。「食品・環境科学入門実験」は2年次開講科目「食品化学」「食品管理論」「栄養科学」「環境科学概論」、3年次開講科目「食品微生物学」「食品製造論」「発酵醸造学」「食品安全学」の基礎に位置づけられる。

【実務経験】
担当教員松本は、食品企業における食品の機能性研究と商品開発に27年間従事した経験を活かして、実験を指導し、食品企業における機能性食品の商品開発の実際を体験、習得する。

【到達目標】
餅の製造方法を修得する。アミノ酸飲料、ゼリーの新商品を企画立案し試作する。食品中の細菌数の測定法、野菜の色素の抽出方法、糖の分析方法について学ぶ。実際の浄水処理に持ちいられる凝集沈殿・砂濾過による水の浄化について学ぶ。
知識・理解：1. 商品開発に必要な、原材料表示、栄養表示などの基礎知識を習得する。2. 食品成分の分析法を理解する。
思考・判断：1. 測定データの取り方、データの整理の仕方を的確に行うことができる。2. 結果の考察の仕方、レポートの書き方を正しく行うことができる。
関心・意欲・態度：1. 差別性のある商品を開発する意欲を持つ。2. 浄水処理技術に関心を持つ。3. 食品に含まれる物質に関心を持つ。
技能・表現：1. 商品開発に関わる業務を体験、技術・知識を習得する。2. 水質測定に関する知識を習得する。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。成果発表会における担当回について理解する。	講義	予習：シラバスの熟読（120分） 復習：実験のやり方や日程について確認する。（140分）	伊藤
2	野菜の色素成分の抽出	野菜に含まれる色素成分を有機溶媒で抽出分離し、抽出物を薄層シリカゲルクロマトグラフィー（TLC）で分析することで、化合物を分離する原理と方法を学ぶ。	講義・実習	予習：実験書を精読し、実験手順をフローチャート形式でまとめる（120分） 復習：実験結果を考察し、レポートにまとめる。（140分）	宮崎 井坂
3	食品中の細菌	食品安全の指標として多用されている細菌数の測定法を学ぶ。市販食品を用い、一般生菌数等を様々な手法を用いて測定する。平行して試験した食品のpH、Aw（水分活性）を測定し、食品での細菌の制御を理解する。細菌の培養に24～48時間を要するため、観察のための時間を別途設ける。	講義・実習	予習：配布資料（120分） 復習：レポート作成及び返却後の確認（140分）	西山
4	様々な穀物による餅の製造とテクスチャー解析	ウルチ性及びモチ性の米や大麦を材料とし、餅をつくりテクスチャー解析を行う。デンプンについて学び、アミロースとアミロペクチンの特性について理解する。	講義・実習	予習：配布資料（120分） 復習：文章の体裁の注意点を示した資料を確認しながらレポートを作成する。（140分）	相井
5	低GI食品の開発	桑葉のα-グルコシダーゼ阻害活性について検討し、桑葉を用いた低GI食品の開発の可能性について考察する。	講義・実習	予習：配布資料（120分） 復習：実験内容。実習の結果を正確に記し、既知の情報や文献と比較しながら考察し、レポートとしてまとめる。（140分）	佐藤
6	第2回～第5回の実験に関する成果発表会	第2回～第5回の実験結果について発表および質疑応答を行い、実験内容についての理解を深める。	発表・討論	予習：発表準備（120分） 復習：質疑内容について考察する。（140分）	伊藤
7	アミノ酸飲料の商品開発	アミノ酸の機能性を有し、コスト的にも問題のないアミノ酸飲料を企画立案する。実際に種々の食品原料を用いてドリンクを試作することで、風味に優れ、飲みやすいドリンクを開発する。自分達で作成した配合表を元に、栄養成分表示、原材料表示を作成する。また、コスト試算を行い、自分達が開発したドリンクの売価、利益を計算する。	講義・実習	予習：実習書の熟読（30分） 復習：原材料表示、栄養表示の作成。他班の飲料についての評価を行い、レポートにまとめる。（150分）	松本 能見
8	機能性ゼリー食品の開発	前回作製したアミノ酸飲料をベースにして、各種の増粘多糖類やゼラチンなどを加えて、数種類の硬度をもつ、ゼリー食品を試作する。増粘剤の量と食感の関連性や、ゼリーの動的粘弾性測定結果との比較を行う。	講義・実習	予習：実験書を予め読み実験内容を理解しておく。（30分） 復習：実験結果をまとめ考察しレポートを作成する。（150分）	松本 能見
9	第7回、第8回の実験に関する成果発表会	7回目に開発したアミノ酸飲料と、8回目に開発したゼリー食品について、コンセプト、配合、コスト、機能性、栄養成分表示、原材料表示について、グループでディスカッションしてプレゼンテーション資料を作成する。試作した食品の試食とプレゼンテーションを実施するとともに、他班の試作品の評価と審査を行う。	発表・討論・グループワーク	予習：発表準備（150分） 復習：質疑内容について考察する。（30分）	松本 能見
10	凝集沈殿砂ろ過による水の浄化(処理)	講義形式で水道水を作るための水処理法である浄水処理について学ぶ。実習では、実際の浄水処理で使用される水処理法である凝集沈殿砂ろ過法を実験スケールで実施することで、浄水処理工程の各プロセスにおいて生じる現象を体験し、その理解を深める。	講義・実習	予習：配布資料の精読（120分） 復習：実験結果のとりまとめ（140分）	小瀬 大野
11	凝集沈殿砂ろ過による水の浄化(測定)	10回目の実習において得た試料の水質（濁度および化学的酸素要求量（COD））を吸光度法によって測定し、化学的な分析について学ぶ。	実習	予習：配布資料の精読（120分） 復習：実験結果のとりまとめ（140分）	小瀬 大野
12	第10回～第11回の実験に関する成果発表会	10回から11回の実験結果について、取りまとめて発表と質疑を行い、処理と測定についての理解を深めると同時にプレゼンテーション能力を習得する	発表・討論・グループワーク	予習：発表準備（120分） 復習：質疑内容の確認と整理（140分）	小瀬 大野

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	（9回～11回）配布資料「環境科学入門実験」		
参考書	「JIS K 0101:1998 工業用水試験方法」中の9. 濁度および100℃における過マンガン酸カリウムによる酸素消費量（CODMn）（9回～11回）	日本工業標準調査会	

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%	30%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】
第6回、第9回、第12回の成果発表会では、実験結果について発表を行い質疑応答を行うことで一つずつ振り返りを行います。

【連絡先】

氏名	オフィシアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
小瀬 知洋	まずメールかTeamsでアポイントを取ってください。通常 土日祝日を除く平日の13:00 - 17:00で時間を調整します。	新津C E401b および 新津駅東C NE211	tkose@nupals.ac.jp
相井 城太郎	月曜日～金曜日の授業時間以外（9:00～17:00）	植物細胞工学研究室（E301b）	jotaroaii@nupals.ac.jp
松本 均	月曜日～金曜日の9:00-18:00（昼休み1時間を除く）	食品機能化学研究室（E203a）	hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp
能見 祐理	月曜日～木曜日 13:00～18:30（授業時間以外）	食品化学研究室（E203b）	ynomi@nupals.ac.jp
西山 宗一郎	授業終了後の次の1時限	食品安全学研究室(E303b)	snishiyama@nupals.ac.jp
宮崎 達雄	月曜日～金曜日（13:10～18:00）	生体分子化学研究室（E403b）	tmiyazaki@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
佐藤 真治	月曜日～金曜日 講義・実習時間以外の時間(9:00～18:00)	食品分析学研究室（E202a）	sato@nupals.ac.jp
大野 正貴	平日10:00～17:00、事前にメールかTeamsでアポイントを取ってください。	新津C 環境工学研究室(E401b)	mohno@nupals.ac.jp
中野 絢菜	月曜日～金曜日の授業時間以外（9:00～17:00）	植物細胞工学研究室（E301b）	ayana_nakano@nupals.ac.jp

【その他】

本講義の小瀬担当回はTeamsによる学習支援を前提としているため、必ず講義資料に記載のTeamsコードでTeamに加入すること。Teamに加入していない場合、課題等が配信されず、評価の対象とならない場合がある。

学習論 Theory of Learning	授業担当教員	伊藤 美千代		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
大学の仕組みや勉強の仕方について「高校までとどのように違うのか」という観点から、大学における効果的・効率的な学習の方法について講義を行う。自ら主体的に学ぶ技法について概説する。本科目は、1年次開講科目「論理的思考論」の基礎として位置づけられる。

【到達目標】
大学生としての講義の学習方法、科学的に実証された効率のよい学習方法や実践方法を学び、効果的に学習する能力を身につける。
知識・理解：1. 高校との学びの違いについて説明できる。2. 大学生に必要なスタディ・スキルについて説明できる。3. 効果的なノートの取り方、レポートの書き方、ゼミ発表の仕方について説明できる。
思考・判断：1. 自らの判断で基本的な学習方法をアレンジすることができる。
関心・意欲・態度：1. 多くの物事に対して積極的に学ぶ姿勢を持つことができる。
技能・表現：1. 整理されたノートの取り方を身につけることができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション スタディ・スキル	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 大学における学問の技術（スタディ・スキル）の特徴について学ぶ。	講義・SGD	予習：シラバスの熟読、教科書p.8～11（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
2	ノートの取り方（1）	大学における授業の形式や特徴について学び、大学でのノートのとり方を身につける。	講義・SGD	予習：教科書p.12～13（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
3	ノートの取り方（2）	大学でのノートのとり方について実際に講義を聴きながら練習する。	講義・討論	予習：教科書p.12～19（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
4	テキストの読み方（1）	場面に応じた文章の読み方の技法等について学習する。	講義・討論	予習：教科書p.20～27（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
5	テキストの読み方（2）	学術的な文章の読み方について体系的に学習する。	講義・討論	予習：教科書p.28～35（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
6	テキストの読み方（3）	学術的な文章を読み、つなぎの表現に着目する等、読み方の技術の基礎を身につける。	講義・討論	予習：教科書p.28～35（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
7	レポートの書き方（1）	レポートの3部構成である「序論」「本論」「結論」について学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.36～45（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
8	レポートの書き方（2）	先行研究を引用するやり方である直接引用と間接引用について学ぶ。不正行為である盗用・ねつ造・改ざんについて理解する。	講義・SGD	予習：教科書p.46～51（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
9	レポートの書き方（3）	レポートを書く上で参照した本や論文を列挙する参考文献リストの書き方について学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.46～51（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
10	レポートの書き方（4）	レポートの体裁について学ぶ。レポートを作成しやり方を身につける。	講義・実習	予習：教科書p.46～51（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
11	資料の探し方	資料の探し方の種類について学ぶ。CiNii Articles や Google Scholar による資料の検索のしかたについて学ぶ。	講義・実習・討論	予習：教科書p.52～61（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
12	大学図書館の使い方	市民図書館と大学図書館の違い、大学図書館での資料の探し方、OPAC、蔵書検索等について学習する。	講義・実習	予習：教科書p.62～71（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
13	ゼミ発表の仕方（1）	ゼミ発表には、大きく分けて自由発表と文献発表があるが、それらの違いについて学ぶ。	講義・討論	予習：教科書p.72～87（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
14	ゼミ発表の仕方（2）	発表の構成について学ぶ。発表の流れと要点が分かるように配布するレジメの作成のしかたについて学ぶ。	講義・討論	予習：教科書p.88～94（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤
15	ゼミ発表の仕方（3）	効果的な発表のしかたについて学ぶ。発表のあとに行われる質疑応答に向けた準備のしかたについて学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.116～127（120分） 復習：授業内容（150分）	伊藤

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	大学生 学びのハンドブック（5訂版）	世界思想社編集部 編	世界思想社

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						40%	30%	30%
備考								・成果発表30%

【課題に対するフィードバック方法】
授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp

経営管理論 Theory for Business Management		授業担当教員	中道 眞		
		補助担当教員			
		区分	専門必修		
		年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位
【授業概要】					
皆さんは「経営」や「管理」という言葉からどのようなことを連想しますか？企業、会社、アルバイト、お金でしょうか。それともジョブズ、アップル、食品、環境でしょうか。この授業では、皆さんが連想するキーワードを手掛かりに、経営学と経営管理論の全体像を概観します。そして、社会の様々な出来事を経営管理論（≒経営学）から説明します。					
経営管理論は、人類がおおよそ100年前に経験した飛躍的な生産力の発展とともに生まれました。第2次産業革命は皆さんご存知でしょうか。当時、炭坑や工場を経営する企業が大規模化する社会で起こったさまざまな問題の解決には、経済学では対応できなかったのです。そして経営管理論が生まれて経営学は社会の課題解決を目指して実践と理論ともに発展を続けています。したがって教室での座学も重要ですが、同様に学外での研修も重要です。皆さんも経営学を使って、自分自身、家族、地域社会、世界の問題解決と一緒に考えていきましょう。					
経営管理論の視点は、現場の実践だけではなく様々な科目と実は密接に関連していますので、他科目の内容を経営的に捉えてみてください。特に、経営組織論、産業マーケティング論（マーケティング論）、社会調査論は密接に関連しています。					
【到達目標】					
経営学と経営管理論の全体像を認識し、日常生活で経営の視点から物事を考えられるようになる。					
知識・理解：経営管理論の基本専門用語を使い分けられることができる。					
思考・判断：経営管理に関する雑誌や新聞の記事を検証できる。					
関心・意欲・態度：日常生活の様々な出来事を経営管理の視点から観察し討議できる。					
技能・表現：経営管理に関して自ら社会事象を観察し考察した結果を表現できる。					
【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	講義全体のガイダンス ～①シラバスの熟読 ～②「経営管理論ノート」作成 ～③皆さんのキーワード	講義・課題	予習：シラバスを熟読する。 小学校の社会科資料や工場見学、中学校の教科書や修学旅行資料、高校の教科書やフィールドワークなど、これまでの経営あるいは経営管理に関係すると思われる資料を集めて「経営管理論ノート（以下、ノートと省略）」をMS-Word等で作成する。ファイル名は「学籍番号氏名」とする。紙媒体等については電子化できるものは写真等で電子化してノートに貼り付けるなど工夫をすること。 また授業開始直後にみなさんが「経済（学）」あるいは「経営（学）」と聞いて思い浮かべるキーワードを3つ確認しますので、あらかじめ考えてきておいてください。（300分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
2	現代における経営学と経営管理論	現代社会と経営学～経営学を学ぶ意義～ 経営学とその位置づけ	講義・課題	予習：教科書pp.1～16を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
3	企業とは何か	企業の特徴 企業の分類	講義・課題	予習：教科書pp.17～47を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
4	経営学における二大分野、経営管理論と経営統治論	株式会社の特徴としくみ 経営学の発生	講義・課題	予習：教科書pp.48～77を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
5	科学的管理法～テイラー・システムとその限界	テイラーとその時代 科学的管理法の背景と理論 テイラーの業績と限界	講義・課題	予習：教科書pp.78～90を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
6	生産管理～ヘンリー・フォードとフォードイズム	フォードとその時代 フォードイズム フォードシステム フォードとGM	講義・課題	予習：教科書pp.91～104を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
7	ファヨールと管理過程論	ファヨールとその時代 管理職能の独立と分離 管理過程論 管理原則 テイラーとファヨールを比較する	講義・課題	予習：教科書pp.105～117を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
8	メイヨーと人間関係論	メイヨーと初期の研究 照明実験 ホーソン実験	講義・課題	予習：教科書pp.118～128を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
9	行動科学と統合理論	フォレットの統合理論 リッカートの連結ピン アージリスの混合モデル マズローの欲求段階論 マグレガーのY理論 ハーズバーグの衛生理論 行動科学にみられる統合主義	講義・課題	予習：教科書pp.129～153を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
10	近代管理論からコンティンジェンシー理論へ	バーナード革命 サイモンの意思決定論 数値的意思決定論 コンティンジェンシー理論 組織間関係論	講義・課題	予習：教科書pp.154～170を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
11	経営戦略論	経営管理論から経営戦略論へ 競争戦略論 戦略のフレームワーク 創発型戦略論	講義・課題	予習：教科書pp.226～239を読んで、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
12	現場で経営管理を考える～課題解決のための実践と観察と理論の援用	企業、行政、市民社会組織、地域社会などでの学外授業 ※開講回は現場との調整などによって前後することがある。	演習・SGD・課題・フィールドワーク・グループワーク	予習：現場の情報を事前に蒐集して整理し、現場学習の準備をおこない、質問を3つ用意する。（100分） 復習：ノートを見て内容を確認し、わからなかったところをチェックする。 チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。 調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。 次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
13	発見した課題のプレゼンテーション	課題を発表して、受講生と共有しよう！ ※開講回は現場との調整などによって前後することがある。	発表・討論・課題	予習：プレゼンテーションの準備をする。（300分） 復習：ノートを見て全員のプレゼンテーション内容を確認し、わからなかったところをチェックする。 チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。 調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。 次回授業での質問を3つ考える。（100分）	中道
14	社会の課題と経営管理論	課題を発見して、経営管理論で深めよう！ ※開講回は現場との調整などによって前後することがある。	講義・課題・グループワーク	予習：社会の課題を3つ準備する。（100分） 復習：ノートを見てグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。 調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。（100分）	中道
15	サマリーとインプリケーション	講義全体のまとめと今後の学習に向けて ～①経営管理論全体の総括をして、経営学全体のイメージをつくる ～②「経営管理論ノート」を自ら確認し、課題を発見する ～③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを考える	講義・課題	予習：講義全体のまとめと今後の学習に向けて、①これまでの経営管理論全体の総括し、②「経営管理論ノート」を自ら確認し、課題を発見し、③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを3つ以上準備する。（100分） 復習：ノート作成を中心としたレポート作成に向けて、ノート全体を見直し加筆訂正する。具体的には、①経営管理論および経営学全体を把握するための図や表を作成し、②「経営管理論ノート」を再度確認し、発見した課題への仮説を出典等根拠を示して記述し、③今後の学習に向けたキーワードを確定させる。（300分）	中道

【教科書・参考書】

種別	書名		著者・編者	出版社
教科書	テキスト経営学―基礎から最新の理論まで【第3版】		井原 久光	ミネルヴァ書房
参考書	グローバル市場を志向する国際中小企業～革新的技術と国際企業家精神に優れた中小企業の研究～		中道 眞	晃洋書房

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					20%	50%	10%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の授業のノートをチェックして評価し、毎回あるいは数回のチェックをまとめてコメントします。
 ノートに記載されている提出課題も同様にコメントをします。
 現場学習の成果（事前準備、プレゼン、討論等）は、各回終了後に解説あるいはコメントをします。
 なおコメント等のフィードバックは、配布された時間割に明記されている授業時間あるいはその他に設定した時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施に変更する可能性があります。もしMicrosoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等ができない学生がいる場合はメール等での実施に替えることもあるので、ポータルサイト等の告知等を十分に注意しておいてください。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中道 眞	水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp

【その他】

授業開始前までに、大学で学んだ経済学関連科目の内容、高校までに勉強した経済に関する内容、例えば小学校の地域学習、中学校の修学旅行、高校の教科書、大学の他の科目などを思い出して経営管理論ノートを作って来てください。
 経営学は現場での実践を重視しますので、現場研修等の学外授業も含めて、授業時間が前後したり土日に学外に出る可能性があります。詳細は授業時間中あるいは掲示板配信等で連絡しますので、注意してください。
 皆さんと経営学、経営管理、そして現代社会とビジネスを考える授業の時間を楽しみにしています。
 なお、本授業ではテキストを学ぶことを中心としますが、オンライン講義等も可能になれば実施を計画しています。その際はポータルサイト等で告知しますので十分に注意してってください。
 質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間あるいはその他に設定した時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施を予定しています。Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等ができない学生がいる場合はメール等での実施に替えることもあるので、ポータルサイト等の告知等を十分に注意しておいてください。

基礎経済学I Introduction to Microeconomics	授業担当教員	内田 誠吾		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】
ミクロ経済学を講義する。また、ミクロ経済学を用い、「基礎経済学II」、「産業組織論」、「食品経済学」、「農業経済学」で必要となる消費者行動論、企業経済学、産業組織論、応用ミクロ経済学などの基礎的な分析手法について説明する。

【到達目標】
需要曲線と供給曲線の意味について理解し、簡単な余剰分析ができるようになる。また、独占、寡占、外部性、公共財、情報の非対称性などの理解を通して、実際の経済現象についての理解を深める。
知識・理解：ミクロ経済学の考え方を理解する。
思考・判断：経済学のモデル分析に習熟する。
関心・意欲・態度：ミクロ経済学の考え方をを用い、経済現象の具体的事例について説明できる。
技能・表現：簡単な経済モデルを表現できるようになる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 需要と供給	市場均衡がどのような状態であるかについて理解し、需給ギャップがあるとき、市場メカニズムを通してどのように調整が行われるかについて学ぶ。また、どのようなときに、需要曲線や供給曲線がシフトするかについて考察する。	講義	予習：教科書 1 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
2	消費者行動と需要曲線	経済活動における個人の選択について学び、消費者行動と需要曲線について理解する。	講義	予習：教科書 2、3 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
3	消費者余剰と交換の利益	消費者の市場取引の効果について学ぶ。	講義	予習：教科書 3 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
4	生産者行動と供給曲線	生産者である企業行動について学び、供給曲線を導出する。	講義	予習：教科書 2、3 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
5	生産者余剰と生産の効率性	生産者の市場取引の効果について学ぶ。また、これまでのまとめとして、消費者行動と生産者行動の事例について発表・討論を行う。	講義	予習：教科書 4 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
6	競争市場均衡と効率性	競争市場均衡の性質と効率性について学ぶ。	講義	予習：教科書 4 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
7	完全競争市場への政府介入と死荷重記	政府介入の効果について学ぶ。	講義	予習：教科書 5 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
8	市場の失敗と独占	市場の失敗について説明する。また、独占市場における消費者と生産者の余剰について学ぶ。	講義	予習：教科書 6 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
9	寡占	寡占について説明する。	講義	予習：寡占の経済モデルについて自分で調べてみる。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
10	中間テストとその解説	中間テストについて解説を行う。	講義・試験	予習：テストに向けた学習を行う。 復習：テストの復習を行う。	内田
11	外部性	外部性と外部不経済について説明する。	講義	予習：教科書 8 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
12	公共財	公共財について説明する。	講義	予習：教科書 9 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
13	情報の非対称性	情報の非対称性について説明する。	講義	予習：教科書 10 章を読む。 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。	内田
14	事例研究	独占・寡占、外部性、公共財、情報の非対称性について事例を紹介する。	講義・演習・SGD	予習：今まで学習した、独占、寡占、外部性、公共財、情報の非対称性について、事例としてどのようなものがあるか考える。 復習：理論と紹介された事例について復習する。	内田
15	問題演習	期末試験に向けて問題演習を行う。	演習	予習：これまでの講義ノートを見直す。教科書の章末問題を解く。（150分） 復習：授業の問題演習を復習する。（150分）	内田

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	プリントを配布します。		
教科書	ミクロ経済学の第一歩	安藤至大	有斐閣
参考書	ミクロ経済学の力	神取道宏	日本評論社
参考書	ミクロ経済学入門の入門	坂井豊貴	岩波新書

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%	50%						
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

問題に対する解説を行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内田 誠吾	月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00	NE203	seigo.uchida@nupals.ac.jp

【その他】

経済学は、世界標準の体系が確立されている社会科学であり、論理的な思考を身に着けるために最適な学問の1つと言えます。経済学を通して丁寧に論理を追う習慣を身につけましょう。
試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。

英語II EnglishII		授業担当教員	高橋 歩		
		補助担当教員			
		区分	教養必修		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位
【授業概要】 現在日本が抱えている様々な問題について、また、その背景や現状について書かれた文章を精読しながら、読解力を養成し、語彙力を強化する。テキストで取り上げているテーマは「原発依存」、「少子化対策」、「コロナ対策と国民性」などである。高等学校までに学習した文法項目を復習することで理解を深めさせ、「英語III」などのより上級の科目を学習するための基礎を築く。TOEIC練習用のリスニング副教材を使用してリスニングの強化を図る。ペアワークなどでスピーキングの練習を行い、簡単なやり取りができるように訓練し、コミュニケーション能力を養成する。ライティングの課題を課し、英語で発信する力の基礎を築く。					
【到達目標】 平易な英語で書かれた文章を読み、その内容を理解できる。日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。高等学校までに学習した文法を理解し、説明できる。英語で簡単なやり取りができる。身近な話題について、平易な英語で書くことができる。 知識・理解：１．平易な英語で書かれた文章を正確に読み、その内容を理解する。２．テキストで使用されている基本的な語彙を理解し、身につける。３．高等学校までに学習した文法事項を理解し、説明できる。４．TOEICリスニング・セクションの問題形式を理解する。 思考・判断：１．英文を読み、要旨を述べることができる。２．日本が抱えている問題について、解決策や将来の展望を考察できる。 関心・意欲・態度：１．予習をして授業に臨むことができる。２．日本が抱えている問題の背景や現状に興味や関心を示す。 技能・表現：１．日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。２．あいさつや自己紹介などの基本的な事項について口頭で表現できる。３．身近な話題について、平易な英語で書くことができる。					
【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション ①Chapter 6: Position of the Self Defense Force in Japan 自衛隊の位置づけ ②Unit 11: 会話問題	シラバスを読んで、科目の概要や目標、進め方を理解する。テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：シラバスをよく読む。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
2	①Chapter 6: Position of the Self Defense Force in Japan 自衛隊の位置づけ スピーキング練習：夏休みについて	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習をする。ペアやグループでスピーキング練習をする。	講義・演習・発表・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
3	①Chapter 6: Position of the Self Defense Force in Japan 自衛隊の位置づけ ②Unit 12: 会話問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
4	①Chapter 7: Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依存 ②Unit 13: 会話問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
5	①Chapter 7: Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依存 ②Unit 14: 会話問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
6	①Chapter 7: Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依存 ②Unit 15: 会話問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
7	①Chapter 8: Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 ②会話問題のまとめ	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。到達度確認テストに備える。（120分）	高橋
8	到達度確認テスト ①Chapter 8: Fertility Decline and Initiatives 少子化対策	到達度確認テストを受ける。テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。	講義・演習・試験・グループワーク	予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（120分） 復習：辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。（60分）	高橋
9	到達度確認テストの解説 ①Chapter 8: Fertility Decline and Initiatives 少子化対策	返却された到達度確認テストを見ながら解答解説を聞き、理解する。テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
10	①Chapter 9: Digitization and Public Administration デジタル化と行政 ライティング練習	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習をする。ライティング課題に取り組む。	講義・演習・課題・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
11	①Chapter 9: Digitization and Public Administration デジタル化と行政 ②Unit 16: 説明文問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
12	①Chapter 9: Digitization and Public Administration デジタル化と行政 ライティング練習	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習をする。ライティング課題に取り組む。	講義・演習・課題・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
13	①Chapter 10: Covid Measures and National Character コロナ対策と国民性 ②Unit 17: 説明文問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。（60分）	高橋
14	①Chapter 10: Covid Measures and National Character コロナ対策と国民性 ②Unit 18: 説明文問題	テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	講義・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（30分） 復習：テキストの本文を音読する。学習した語彙や文法事項を確認する。到達度確認テストに備える。（120分）	高橋
15	到達度確認テスト ①Chapter 10: Covid Measures and National Character コロナ対策と国民性 ②説明文問題のまとめ	到達度確認テストを受ける。テキスト①を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。	講義・演習・試験・グループワーク	予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（120分） 復習：辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。（30分）	高橋

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	①Japan's Dilemmas and Solutions - 15 Topics You Need to Consider 考えよう日本の論点15	James M. Vardaman, Kamata Akiko, Okada Hiroki, Kobayashi Ryoichiro	鶴見書店
教科書	②A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 450 K（カタノダ）メソッズによる5分間新TOEICテスト・リスニング450	Hiroko Katanoda, Thian Wong	南雲堂

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%	40%				5%	15%	
備考						ライティング課題		

【課題に対するフィードバック方法】

ライティング課題は添削して返却する。1回目の到達度確認テストは授業中に返却し、正答を提示しながら内容を解説する。2回目の到達度確認テストは正答および解説をTeamsにアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 歩	木曜午後、金曜午後	E403d	ayumi@nupals.ac.jp

【その他】

辞書を持参すること。

健康管理 Human Health		授業担当教員	坂本 悠馬		
		補助担当教員			
		区分	教養必修		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位
【授業概要】 “心身一如”という言葉があるように、人間の心と身体は切り離すことができないし、さらに人間は社会という集団の中で生きなければならない。そのため、心と身体を含めた全体的なものとして健康を考える必要がある。本講義では、まず、心と身体を切り離して健康に関わる基礎的な理論や知識を学んでいく。具体的には、学習、感覚・知覚、認知・記憶といった基礎心理学の分野、および人格の理論、カウンセリングや心理療法、精神疾患の基礎知識にも触れながら、臨床心理学、発達心理学、精神医学などの観点から心を捉えとる共に、基本的生活習慣や身体運動の理論といった身体についても学ぶ。そして、これらの理論を踏まえた上で人間を心と身体を含む「全体存在」として捉え、社会の中でどのように生きてゆけるかについて理解を深めていく。					
【到達目標】 心と身体の健康に関する知識を学習し理解を深めると共に、自分自身にとっての健康を考え、それを基に自己理解を深めて日常の生活に活かしていくことを目標とする。 知識・理解： ①心と身体の基本的な理論について説明できる。②社会における個人という視点から自身について考えて理解する。③精神疾患やメンタルヘルスについて基礎知識を習得する。④様々なコミュニケーションや方法について理解する。 思考・判断： ①自己理解を深めて自分の心を客観的に捉えることで、自分なりのストレスへの対処法を考えることができる。 関心・意欲・態度： ①自分自身の心身について関心を持ち、自己理解を深めることができる。②周囲の人たちの心の状態にも関心を持ち、自他ともに配慮、尊重することができる。③心と身体の働きや関係に関心を持ち、知識を日頃の生活に活かすことができる。 その他： ①15回すべて出席することができる。					
【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション-健康とは？ー	オリエンテーション：この授業全体の目的や進め方について説明する。 講義：健康第一などと言われるが、そもそも健康とは何なのだろうか。そして、健康を考えるうえで心と身体のことを無視することはできない。本講義では、グループワークを通して、「自分にとっての健康とは？」という疑問に向き合っていく。基礎的な知識や理論の習得の前に、自分自身の現段階での健康観について考える。	講義・グループワーク	予習：世界保健機構（WHO）の健康の定義を調べたうえで、自身のこれまでの生活や人間関係を振り返り、自分にとっての健康とは何かについて考えてみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
2	基本的生活習慣と健康	身体は資本である。日頃的生活習慣を見直すことは、身体的な病気などを予防するうえでも重要である。一方で、身体的な疾病が必要な場合もある。基本的な生活習慣について基礎知識を学ぶと同時に、心が身体を通して表現することについても考えてみる。	講義	予習：教科書(心と体の健康・スポーツ)の第1章(1)と、参考書(こころの処方箋)のNo. 8,24を読み、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
3	学生生活の充実と健康	学生生活を送るうえで、様々な病気や精神障害などを体験する可能性は常にある。楽しい学生生活の裏に潜む危険や予防のための知識を身につける。	講義	予習：教科書(心と体の健康・スポーツ)の第1章(2)と、参考書(こころの処方箋)のNo. 10,26,38,49を読み、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
4	学習	我々人間は生きる過程の中で、あらゆるものを学習している。基本的な学習理論を概観し、学習の過程や効果について理解を深める。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第2章を読んで、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
5	感覚・知覚と認知・記憶	人間は、身体感覚や言葉にならない感覚としての第六感を通して様々なものを知覚し、意識で捉えられるものに関しては認知し必要に応じて記憶している。人間の感覚・知覚の機能、認知プロセスや記憶のメカニズムについて学習する。また、グループワークを通して、言葉にならない身体感覚を体験的に学ぶ中で心と身体の距離についても考えてみる。	講義・グループワーク	予習：教科書（はじめての心理学）の第3・4章を読んで、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
6	社会における個人と集団	人間は、社会の中で生きることを強いられており、これは避けようのないものである。講義では、社会の中の個人という視点から社会的役割やアイデンティティについて考える。また、集団における人間の心理や行動、コミュニケーションに関する理論も学習する。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第5章と、こころの処方箋（No. 1, 6, 18）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
7	人格とは	人間は皆、人格を持って存在している。人格は、その人自身を表すものであり、人格を見つめることが自身を知ることに繋がってくる。講義では、人格の諸理論や人格形成に影響を及ぼす要因などを学び、自分は何者か、について少し考えを深めてみる。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第6章と、こころの処方箋（No. 55）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
8	心の発達1	「三つ子の魂百まで」という言葉があるように、乳児期からの発達過程はその後にも大きく影響する。この講義では、乳児期～学童期までの心の発達について学習し、人間はどのように養育者との愛着を形成し、どのように個として成長していくのかについて学習する。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第7章と、こころの処方箋（No. 5, 22, 34, 44）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
9	心の発達2	思春期・青年期の時期は、親からの自立やアイデンティティの確立が大きなテーマであり心身共に不安定になりやすい。しかし、この時期があるからこそ、人間は自立へと向かって歩みだせるのである。講義では、この時期の人が経験する危機や心の在り方について、身体的な側面も含めながら考える。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第8章と、こころの処方箋（No. 22, 29）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
10	心の構造1	無意識は、思考や感情、行動に影響を与え、それは身体でも表現される。むしろ、身体は無意識であるため、こころについて考えるとき、身体も含めた人間存在全体として考える必要がある。講義では、心理学におけるコンプレックスの捉え方と一般化されたいくつかのコンプレックスを通して、無意識の働きを理解する。	講義	予習：教科書の第9章を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
11	心の構造2	人間は常に心の機能を駆使して生きている。そして、この機能が上手く働かない時に、人間は病を患ったり、困難を抱えたりする。こころの役割の一つとしての「防衛機制」や、フロイトやユングが提唱した無意識の概念についても学ぶ。また、心理療法の中での無意識的な表現として、夢、箱庭、描画についても紹介する。	講義	予習：教科書の第10章を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
12	心の癒し	我々人間はなぜ悩む苦しむのか、そしてそれらは時として心理的・身体的な病として表れる。講義では、講師の経験などを基に心理療法について知り、その大切さや自分自身のこころについて考える。	講義	予習：教科書第11章を読む。また、こころの処方箋No.20と他の箇所を読んでみて癒された言葉があれば、それについて自分なりに考えてみる。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
13	メンタルヘルス	メンタルヘルスの問題を考えるうえで、心の健康について考えることはもちろん、身体の健康についても考えなければならない。では、健康とは何なのか。第1回で考え、ここまで学んできた内容を含め、今一度、健康について考えてみる。	講義	予習：教科書の第12章とこころの処方箋（No.10, 40）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
14	性の多様性	セクシャル・マイノリティの基礎知識（LGBTとは？、カミングアウト、アウティングなど）について学び、多様な性の在り方や生き方について考えを深める。	講義	予習：書籍やインターネットなどでセクシャル・マイノリティについて調べてみる。こころの処方箋（No.19）を読み、考えを深める。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	坂本
15	総括	第1回～第14回までの講義のまとめを行う。心の健康を考える上で特に重要なポイントや理解してほしい概念、考えを深めてほしいことがらについて再度取り上げる。	講義	予習：第1回～第14回までの授業を振り返り、自分なりにまとめてみる。疑問点やよく理解できていないところがあれば、質問できるようにしておく。（70分） 復習：講義全体を通しての重要なポイントを理解し、説明できるようにする。	坂本

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	はじめての心理学	氏原寛・松原恭子・千原雅代編	創元社
教科書	心と体の健康・スポーツ（※該当ページを授業で配布する）	茨城大学 心と体の健康研究会 編	大修館書店
参考書	こころの処方箋（※該当ページを授業で配布する）	河合隼雄	新潮社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%					50%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験終了後に、模範解答をPortal Nupalsに掲載する。
レポート課題については、授業内で全体的なフィードバックを行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
坂本 悠馬	授業時間前後	非常勤講師室	

キャリア形成実践演習 Practice and Seminar for Career Development		授業担当教員	重松 亨・伊藤 美千代・市川 進一・松本 均・小瀬 知洋・宮崎 達雄・村上 聡・中村 豊・中道 眞・杉田 耕一・小長谷 幸史		
		補助担当教員			
		区分	教養必修		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】
社会に対して積極的な学生生活を送るとともに、周囲の人たちとコミュニケーションがとれるような人格形成を目的として、ボランティア活動や地域の行事への参加を促す。事前学習、実際の活動、事後学習を通してキャリア形成が向上しているか評価し、最終的にはレポートの内容により評価を行う。履修期間は1年次後期～3年次後期とし、3年次後期に1単位を授与する。本科目は、1年次開講科目「フレッシュャーズ・セミナー」の発展的な内容として位置付けられる。

【実務経験】
担当教員松本（本演習の中でひとつのグループを担当する）は、食品企業において、食品の研究開発営業マーケティング業務に27年間従事した経験を活かして、社会の一員として必要な地域のコミュニティとの関連性（付き合い方）について指導する。
担当教員の杉田は、大手上場企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、地域社会とのコミュニケーションをとりながら様々な事業を推進してきた。このような実務経験を活かし、地域の方々との付き合い方や良好な関係の作り方などを指導する。
担当教員村上は、公立中学校教諭として勤務し、教員の研修指導、初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した。その実務経験を基に、自らの力量向上と他者との良好な関係づくりについて高い専門性とその理論的背景を講義とALにより展開する。

【到達目標】
ボランティア活動や地域の行事への参加を通じ、コミュニケーション能力を身に付け、積極的な人格形成を目的とする。同時に働くことの意義を理解し、さらにボランティア活動などにも積極的に参加する姿勢を身につける。
知識・理解：1. キャリア形成の意味と必要性を理解できる。2. 職業観・労働観を理解できる。3. 対人関係における自分の位置付けを理解できる。
思考・判断：1. 課題に対してよく考慮し、適切な判断ができる。
関心・意欲・態度：1. 様々な事に関心を示し、積極的に取り組むことができる。
技能・表現：1. 自己を適切に表現できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。また、ボランティア活動や地域の行事に参加する際の注意事項について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読（30分） 復習：講義内容（30分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田
2	事前学習	ボランティア活動や地域の行事への参加前の注意事項と目的についてグループ討論により確認を行う。	演習・実習・SGD	予習：参加するボランティア活動や地域の行事について調べる。（30分） 復習：事前学習の内容について振り返りを行う。（30分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田
3～14	ボランティア活動、地域の行事への参加	周囲の人たちとコミュニケーションをとり、目的を達成する。ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加する姿勢を身に付ける。	演習・実習・SGD	予習：事前学習で学んだ内容を熟知する。（360分） 復習：参加した活動について振り返りを行う。（360分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田
15	事後学習	参加したボランティア活動や地域の行事についてグループ討論を行い発表を行う等、振り返りを行う。	演習・実習・SGD・発表	予習：参加したボランティア活動や地域の行事について目的が達成されたか確認を行う。（30分） 復習：事前学習、実際の活動、事後学習について振り返りを行い、レポートを作成する。（30分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・编者	出版社
その他	キャリア形成実践演習課題一覧		

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						30%	60%	10%
備考						活動終了後のレポート等	事前学習・実際の活動・事後学習での授業態度	・成果発表10%（事後学習における発表）

【課題に対するフィードバック方法】
授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
重松 亨	開講日18:00～19:00	食品・発酵工学研究室(E302a)	shige@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
市川 進一	月曜日～金曜日　13時40分～15時10分	動物細胞工学　E102a教授室	shin@nupals.ac.jp
松本 均	月曜日～金曜日の9:00-18:00（昼休み1時間を除く）	食品機能化学研究室（E203a）	hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp
小瀬 知洋	まずメールかTeamsでアポイントを取ってください。通常 土日祝日を除く平日の13:00 - 17:00で時間を調整します。	新津C E401b　および　新津駅東C NE211	tkose@nupals.ac.jp
宮崎 達雄	月曜日～金曜日（13:10～18:00）	生体分子化学研究室（E403b）	tmiyazaki@nupals.ac.jp
村上 聡	月～金の昼休み　その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる	理科教育学研究室(E401c)	s-murakami@nupals.ac.jp
中村 豊	月曜日～金曜日の13:00～18:00	環境有機化学研究室(E402a)	nakamura@nupals.ac.jp
中道 眞	水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）	NE209	agri-sugita@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	生物学研究室（E101）	konayuki@nupals.ac.jp

【その他】

この科目にはいがたマインド学生マイスター取得対象科目です。（生命産業創造学科のみ）

情報リテラシー応用 Advanced Information Literacy		授業担当教員	星名 賢之助・浅田 真一・富永 佳子・伊藤 美千代・島倉 宏典		
		補助担当教員	若栗 佳介・関川 由美		
		区分	教養必修		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位
【授業概要】 デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎知識とデータ解析の基本的な技能の習得が必要不可欠な社会となっている。「数理・データサイエンス・AI」とは何か、実社会における数理・データサイエンス・AIがどのように利用されているかについての講義を行う。その上で、具体的にデータ収集とデータ処理が出来る能力および、社会における数値データを適切に解釈するためのスキルが身に付けられるように演習形式で指導する。生活や仕事場に急速な変化をもたらすAIに対して、私たちはどのように関わるべきなのか、自ら考える機会としてほしい。本科目は、1年次前期開講科目「情報リテラシー基礎」の基礎的な知識が必要とされる。					
【実務経験】 富永：製薬会社（内資系・外資系）等において新薬開発およびマーケティングの業務に20年以上携わり、開発段階の臨床試験データの統計解析や製品戦略構築のための市場調査解析の実務経験を活かして、実践的な視点で講義を行う。					
【到達目標】 1) 今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に着ける。 2) 人工知能（AI）の利活用、できること、できないことを理解し、説明できる。 3) グループとして様々な事業分野（医・薬・農業・経済・その他）における先進AI利活用事例の調査・発表に取り組み、協働・共調学修を通じて、さらに学びを深める。 4) 公的統計データ、実データを用いて、データの種類に応じた適切なまとめ方や分析手法について理解する。 5) 日常生活におけるデータサイエンスの応用例とその意義を説明できる。 6) データの種類による違い、簡易統計量のそれぞれの意味、データの種類や目的に応じた分析・統計解析の手法を理解し、説明できる。 7) 様々なグラフ表現を理解し、その違いを説明できる。 8) 分析手法やグラフ表現の選択、結果の解釈など根拠を持った判断ができる。 9) 積極的に授業内容に対する質問や意見を提示し（Teamsでの質問提示を含む）、クラス全体としての協働・協調学修に貢献する。 10) Microsoft Excelを用いて集計・解析およびグラフ作成ができる。 11) Microsoft Powerpointを用いて、調査結果をまとめた発表資料が作成できる。					
【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 社会で起きている変化社会で活用されているデータ	人工知能の急速な進歩に代表される近未来に向けて、情報リテラシーを学ぶ意義について説明する 社会におけるデータの役割、社会とデータとのかかわりに関する概論。解決すべき問題をデータに基づいて解決するプロセスなどを学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読（80分） 復習：復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）	星名 浅田 富永 伊藤 島倉 若栗 関川
2	AI（人工知能）とは	AI（人工知能）とは何か、その仕組み、背景となる必要性、実現する技術、利用例について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 島倉 星名 伊藤 若栗 関川
3	AIの基礎：AI活用例の調査（1）	AIの活用方法（医・薬・農業・経済・その他）の具体的事例を1つ選び、それを課題として利用方法にいてグループ単位で調査を行う。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 島倉 星名 伊藤 若栗 関川
4	AIの基礎：AI活用例の調査（2）	調査資料を元にパワーポイント発表ファイルとしてまとめる（1）	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 島倉 伊藤 星名 若栗 関川
5	AIの基礎：調査結果のまとめ	調査資料を元にパワーポイント発表ファイルとしてまとめる（2）	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 島倉 星名 伊藤 若栗 関川
6	AIの基礎：調査結果の発表，討論（1）	グループワークの実施と発表、ビッグデータ、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有する。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 島倉 星名 伊藤 若栗 関川
7	AIの基礎：調査結果の発表，討論（2）	グループワークの実施と発表、ビッグデータ、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有する。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 島倉 星名 伊藤 若栗 関川
8	データ分析（1）：データ収集の心得とバイアス、尺度、データの可視化	データ分析の概要、データの表現や収集など、データを扱う上での留意事項について学ぶ。 データの種類と尺度、および、データの可視化の基本であるデータの集計、データのグラフ表現とその種類について学ぶ。	講義・演習	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	島倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
9	データ分析（２）：基本統計量、平均値の比較、検定統計量	データを特徴つける基本統計量（平均値、中央値、最頻値、分散）、および、母集団と標本の関係について学ぶ。また、検定の考え方、検定方法について理解し、平均の検定や平均の差の検定などを学ぶ。	講義・演習	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川
10	データ分析（３）：確率、独立、排反、二項分布と正規分布	データの確率表現方法を学び、独立試行や排反事象について学ぶ。また、基本的な確率分布である、二項分布と正規分布について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川
11	データ分析（４）：クロス集計表、関連の強さ	質的データの分析の基本であるクロス集計表の作成方法について学ぶ。また、集計結果に基づく比率の検定、質的データの独立性（関連性）の検定方法について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川
12	データ分析（５）：相関	2つのデータセットの関係性を表すための基本となる散布図による可視化、指標となる相関係数を学ぶ。また、相関関係と因果関係の違いについて学ぶ。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川
13	データ分析（６）：回帰分析	データ解析に基づいたデータの傾向分析、および、データ予測の基礎となる回帰分析を学ぶ。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川
14	AIの最新動向と未来（１）	データ・AI利活用における最新の動向と技術、社会で起きている変化やこれからのIT社会について学ぶ。	講義・SGD・課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川
15	AIの最新動向と未来（２）	最新のAIの活用領域やその技術、深層学習のためのツールや活用方法などについて学ぶ。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	鳥倉 浅田 富永 星名 伊藤 若栗 関川

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	データサイエンス入門	上藤一郎、西川浩昭、朝倉真粧美、森本栄一	オーム社
参考書	AI・データサイエンスの基礎	吉原幸伸	アイテック

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					70%			30%
備考					・講義時間内に確認試験を行います（1～7回 20%， 8～15回 50%）			・成果発表

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は、授業内・Teamsでフィードバックします。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
浅田 真一	月曜日～金曜日 18:30～19:00時間外も随時可(事前にTeamsのchatで連絡をもらえると助かります：Teams chatはいつでも可)	薬学教育センター（FB101：F棟地下1階、センター受付で申し出てください） ONLINE(Teams)では、@浅田に直接チャットで連絡願います	asada@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～19:00	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月～金 13:00～17:00	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
鳥倉 宏典	平日 16:00～18:00	薬学教育センター F棟地下fb101b	shimakura@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～16:00	新津駅東キャンパス（NE215）	wakakuri@nupals.ac.jp
関川 由美	月～金 10:00～18:00	薬学教育センター（F棟B101）	sekigawa@nupals.ac.jp

【その他】

※ 毎回、各自ノートパソコンを持参してください。

第1回～第7回ではインターネットによる調査およびPowerpointを用いた発表資料作成、第8回～第15回ではExcelを用いた演習を行います。

<div> <div>コミュニケーション英語II</div> <div>Communicative EnglishII</div> </div>	授業担当教員	Begley CharlesWayne		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】
 This course is designed to help the student hone better listening skills and thereby expand their personal ability in using the English language to communicate in everyday situations or on the professional front.
 To increase listening skills and at the same time improve students' practical English skills that they have gained in Communicative English I, as well as to improve practical English skills that may not be covered in English IV. Thus, providing a classroom atmosphere in which lively interactive English speaking can be developed.
 Note : Content of any class is subject to change upon the discretion of the instructor.

【到達目標】
 With the goal of communicating in English the students'awareness in global issues and global communication will increase by practical use. Listening comprehension, speaking ability, vocabulary known, daily expressions etc ; practiced in class using everyday situations as presented in the text book will increase the students overall ability in conversation.
 知識・理解：１． Increasing understanding and vocabulary usage.
 思考・判断：１． Learning to think within the paradigm of conversation.
 関心・意欲・態度：１． Progress is deperdent upon the students'personal desire to learn and use the language.
 技能・表現：１． Students will increase listening skills.
 ２． Attaining a more workable skill in language usage.

【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション Review of Goals / Introduction to the Course	Introduction to course. （goals, methods, personal effort. ）	講義・演習	予習：Overview of texts（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
2	Chapter 1 0：Simple Present Tense / Yes No Questions / Netagives / Short Answers	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 1 .	講義・演習	予習：p.87-91（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
3	Chapter 1 0：Simple Present Tense / Yes No Questions / Netagives / Short Answers	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 1 .	講義・演習	予習：p.92-96（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
4	Chapter Review	Chapter Review 1－3	講義・演習	予習：p.87-96（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
5	Chapter 1 1：Object Pronouns / Have/ Has / Adverbs of Frequency	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 1 . Verbal spelling of vocabulary from previous lessons.	講義・演習	予習：P.99-106（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
6	Chapter 1 2：Contrast ; Simple Present and Present Continuous Tense	Phonics pronunciation review. Irregular verb Chart # 2 . Practical application in class.	講義・演習	予習：P.107-114（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
7	Chapter 1 3：Can and Have to	Phonics pronunciation review. Irregular verb Chart # 2 . Practical application in class.	講義・演習	予習：p.117-121（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
8	Chapter 1 3：Can and Have to	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 2 with sentence building.	講義・演習	予習：p.122-126（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
9～10	Chapter 1 4：Future Going to / Time Expressions / Want to	Phonics and pronunciation skills drill. Irregular verb Chart # 2 with sentence building.	講義・演習	予習：p.127-138（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
11	Chater 1 5：Past Tense ; Regular Verbs and Introduction to Irregular Verbs	Phonics and pronunciation review.	講義・演習	予習：p.141-148（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
12	Chater 1 6：WH-Questions Time Expressions	Phonics and pronunciation skills drill.	講義・演習	予習：p.149-156（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
13	Chater 1 7：To Be ; Past Tense	Phonics and pronunciation skills drill. Vocabulary spelling and meaning.	講義・演習	予習：p.157-164（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
14	Chapter Review	Chapter Review 5－1 3	講義・演習	予習：p.99-164（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley
15	Chapter Review, Oral and Written Examinations	Chapter Review, Oral and Written Examinations	講義・演習・試験	予習：All lessons（120分） 復習：授業内容（120分）	Begley

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	Side by Side : Book 1	S. J. Molinsky他著	Pearson & Longman
教科書	Oxford Picture Dictionary 2nd Edition English Japanese（日英）edition	J. Adelson-Goldstein他著	Oxford University Press

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
 テスト解答例を採点済答案とともに返却します。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
Begley CharlesWayne	講義終了後	非常勤講師室	

【その他】
 コミュニケーション英語Ⅱを受講するにはコミュニケーション英語Ⅰを受講していることが望ましい。

ドイツ語 German		授業担当教員	山田 容子		
		補助担当教員			
		区分			
		年次・学期		単位数	単位
【授業概要】 ドイツ語の構造や成り立ちを知る。調べ活動を通じてドイツの習慣や文化的背景を知る。 ドイツ語構造の理解の上に語彙や文型を蓄積し、基本的なドイツ語表現を習得する。					
【到達目標】 演習・会話活動を積み上げ、ドイツ語のごく初歩的な文法構造を理解し、平易なドイツ語のコミュニケーションスキルを身につける。学年末には独検5合格レベルを目指す（独検は6月と12月の年2回実施される）。 知識・理解：ドイツ語と英語の言語的な類似や差を理解し説明できる。 思考・判断：言語にも人間と同様に固有性と一般性があるものだと考えられるようになる。 関心・意欲・態度：横文字を見たらドイツ語かもしれないと思いドイツ語の発音で読もうとする。身の周りのドイツ語圏の人や文物に強く関心を持つ。 技能・表現：定型の簡単な表現を身につける。ドイツ語の正しい発音ができる。					
【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	ドイツ語・ドイツ文化へのいざない	授業計画提示・アルファベート・綴りと発音・動詞の人称変化・人称代名詞・文化紹介「市場」	講義・演習・グループワーク	予習：指定教科書を用意の上出席のこと。辞書は不要。辞書を安易に調べるよりも、授業内で扱った語彙を確実に定着させる習慣をつけてほしい。（10分） 復習：アルファベート・綴りと発音ルール・動詞や人称代名詞の運用を復習、定着練習。レポート課題「ドイツ語圏Kulturreise」で何を話すか案を練る。（80分）	山田
2	独文法入門1 とドイツの文化2	綴りと発音・名詞の性・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：1課の黄色いページ教材05頁を、発音ルールに従い音読してみる（30分） 復習：動詞人称語尾のルールに則って様々な動詞を活用してみる 教材04～05頁に再度取り組み、覚える（60分）	山田
3	独文法入門2 とドイツの文化3	綴りと発音・名詞の性・haben動詞・助動詞möchten・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：07頁・haben動詞の活用表を見て理解する。名詞の「性」とは何のか考えてくる。（10分） 復習：habenやmöchtenを活用練習して変化を覚える 教材06頁を音読・暗誦する（80分）	山田
4	独文法入門3 とドイツの文化4	sein動詞・疑問文の作り方・不定冠詞・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：2課の黄色いページ教材09頁を、発音ルールに従い音読してみる。08頁の設問をやる。20分） 復習：動詞を活用して自分の行動についてなにか一文作ってみる。 教材08～09頁に再度取り組み、覚える。変化表を見なくてもhaben/sein動詞が使えるようにする。不定冠詞の役割を考え、運用できるようにする。（70分）	山田
5	独文法入門4 とドイツの文化5	sein動詞・数詞・特別な活用をする動詞wissen・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材10を音読してみる。 53頁の「基数詞」を発音ルールどおりに読み上げ、少しづつ覚える。（20分） 復習：特別な活用をする動詞wissenと助動詞möchtenの運用を覚え、自分の考えたことになにか一文作ってみる。数詞を覚える。 教材10頁を暗誦（70分）	山田
6	独文法入門5 とドイツの文化6	数詞・年齢や身長を聞く・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：3課の黄色いページ教材13頁を音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。12頁の設問をやる。数詞が使えるか確認。（25分） 復習：身の周りで目にとまった数字をドイツ語で言うようにする。 教材12～13頁に再度取り組み、教材の例文や13頁は暗誦する。（65分）	山田
7	独文法入門6 とドイツの文化7	a型の不規則動詞・定冠詞・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材14頁を音読してみる。教材15頁の新動詞の活用をよく見て、何がちがうのかを見つける。（15分） 復習：不規則動詞の運用を覚え練習する。不規則動詞を用いて仲間や家族の行動についてなにか一文作ってみる。 教材14頁を暗誦。（75分）	山田
8	独文法入門7 とドイツの文化8	a型の不規則動詞・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：4課の黄色いページ教材17頁を音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。16頁の設問をやる。名詞の性を理解しているか確認。（20分） 復習：不規則動詞を用いてなにか一文作ってみる。名詞の性に準じて、冠詞と共に使えるようにする。 教材16～17頁に再度取り組み、教材の例文や17頁は暗誦する。（70分）	山田
9	独文法入門8 とドイツの文化9	i型の不規則動詞・前置詞mit・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材18頁を音読してみる。教材19頁の新動詞の活用をよく見て、何がちがうのかを見つける。18頁の説明文をよみ、前置詞mitが何なのか考える。（25分） 復習：不規則動詞の運用を覚え、なにか一文作ってみる。前置詞に伴う3格が使えるように練習を重ねる。 教材18頁を暗誦。（65分）	山田
10	独文法入門9 とドイツの文化10	i型の不規則動詞・命令形・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：5課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。34頁を参照して西暦の読み方を考える。20頁の設問をやる。名詞の性を理解して3格に変化できるか確認。（30分） 復習：不規則動詞文や伴う名詞の3格が使えるようにする。 教材20～21頁に再度取り組み、教材の例文や21頁は暗誦する。（60分）	山田
11	独文法入門10 とドイツの文化11	助動詞 können müssen dürfen・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材22頁を音読してみる。教材23頁をよく見て、助動詞の役割を見つける。22頁の説明文をよみ、表現の広がりを感じる。（10分） 復習：助動詞の運用を覚え練習する。表現が広がるように練習する。4月から学んだことを一通り復習する。教材2・5・6・9・10・13・14・17・18・21・22頁を暗誦。（80分）	山田
12	独文法初級1 とドイツの文化12	助動詞 können müssen dürfen・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：夏休み前に学んだことを一通りふりかえる。教材2・5・6・9・10・13・14・17・18・21・22頁を暗誦。忘れていない部分がないか確認する。6課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。24頁の設問をやる。60分） 復習：助動詞を用いて自分の行動についてなにか一文作ってみる。 教材24～25頁に再度取り組み、教材の例文や25頁は暗誦する。 夏休み前のことで忘れていない部分は早期に復習し取り戻す。（30分）	山田
13	独文法初級2 とドイツの文化13	分離動詞・数詞の復習・文化紹介「パン・朝食」	講義・演習・グループワーク	予習：教材26頁を音読してみる。教材27頁をよく見て、分離動詞の性質を見つける。数詞を覚えているか確認する（少なくとも0～20）。（20分） 復習：分離動詞の運用を理解し、自分の行動や考えたことを材料にしてなにか一文作ってみる。数詞の練習を重ねる。 教材26頁を暗誦。（70分）	山田
14	独文法初級3 とドイツの文化14	分離動詞・時刻の表現・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：7課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。keinが何なのか考える。28頁の設問をやる。20分） 復習：起床（aufstehen）や大学に到着する（ankommen）時刻について分離動詞と時刻表現を両方用いる表し方を考える。これができたら自分の別の行動について分離動詞を用いてなにか一文作ってみる。 教材28～29頁に再度取り組み、教材の例文や29頁は暗誦する。分離動詞の運用練習を繰り返す。時計の読み方を覚え、時刻が言えるように練習を重ねる。（70分）	山田

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
15	独文法初級4 とドイツの文化15	所有冠詞・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材30頁を音読してみる。教材31・50頁をよく見て、所有冠詞の役割を考える。30頁の説明文を読み、副文とは何か考える。（20分） 復習：所有冠詞の役割を理解し、自分や家族の持ち物について所有冠詞を用いてなにか一文作ってみる。名詞の性への理解を重ねる。教材30頁を暗誦。（70分）	山田
16	独文法初級5 とドイツの文化16	所有冠詞・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：8課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。数詞や西暦が読めるか確認する。32頁の設問をやってみる。（20分） 復習：自分や家族について所有冠詞を用いてなにか一文作ってみる（私の母の兄は私の叔父のような文）。教材32～33頁に再度取り組み、教材の例文や33頁は暗誦する。所有冠詞の運用練習を繰り返す。（70分）	山田
17	独文法初級6 とドイツの文化17	完了形の作り方・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材34頁や38頁を音読してみる。教材35・39頁をよく見て、現在完了形の役割や作りを考える。（20分） 復習：自分のしたこと家族や友人のしたことについて完了形を用いてなにか一文作ってみる。38頁は暗誦する。過去分詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（70分）	山田
18	ベルリンの壁について	「ベルリンの壁 構築と崩壊の歴史」	講義	予習：第二次世界大戦後のドイツや欧州について基礎的な知識を確認する（30分） 復習：自らネット上で戦後のドイツが歩んだ道を調べ、講義と照らし合わせる（60分）	山田
19	独文法初級7 とドイツの文化18	完了形の運用・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：9・10課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。既習の表現が定着しているか確認する。36・40頁の設問をやってみる。（30分） 復習：自分の行動について完了形を用いてなにか一文作ってみる。教材36・37・38・40頁に再度取り組み、教材の例文や37・41頁は暗誦する。過去分詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（60分）	山田
20	独文法初級8 とドイツの文化19	前置詞・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材42頁を音読してみる。教材43頁をよく見て、前置詞の役割を考える。名詞の性が掌握できているか確認し、不十分なら練習しておく。（20分） 復習：前置詞を用いて自分の行動についてなにか一文作ってみる（格に注意）。42頁は暗誦する。前置詞+名詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（70分）	山田
21	独文法初級9 とドイツの文化20	転換前置詞の3格運用・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：11課の黄色いページを音読してみる。歌ってみる。名詞の性が定着しているか確認する。44頁の設問をやってみる。（20分） 復習：前置詞+3格で物の位置についてなにか一文作ってみる。教材44・45頁に再度取り組み、教材の例文や45頁は暗誦する。前置詞+名詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（70分）	山田
22	独文法初級10 とドイツの文化21	転換前置詞の4格運用・談話練習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：教材46頁を音読してみる。教材47頁をよく見て、支配格で替わる前置詞の役割を考える。名詞の性が掌握できているか確認し、不十分なら練習しておく。（25分） 復習：物を自分で動かしながら名詞の4格とともに前置詞を用いてなにか一文作ってみる。46頁は暗誦する。47頁の前置詞+名詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（65分）	山田
23	独文法初級11 とドイツの文化22	前置詞と動詞・談話練習・総復習・Kulturreise	講義・演習・グループワーク	予習：12課の黄色いページを音読してみる。名詞の性が定着しているか確認する。48頁の設問をやってみる。1年問をふりかえり、質問があればまとめておく。（30分） 復習：47頁の前置詞の例や完了形も用いてなにか一文作ってみる。教材48・49頁に再度取り組み、教材の例文や49頁は暗誦する。4月から学んだことをしっかり復習し、学年末試験に備える。（60分）	山田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ドイツ・サラダ（DVD付）	保坂良子	朝日出版社
参考書			

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%							50%
備考	期末試験（教科書のみ持ち込み可）							授業参加態度やレポート・小テストなど

【課題に対するフィードバック方法】

小テストにおける典型的な誤答については授業内で解説する。期末試験については下級生への情報流出を防ぐ意味で試験を返却しない。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
山田 容子	授業前後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

配布プリントを整理する「ドイツ語」専用ファイルを用意すること。辞書は授業内で使った語彙を確実に定着させるためにもあったほうが望ましい（初回で説明するので、購入はそのあとでよい）。

ドイツ語 German		授業担当教員	倉持 有香子		
		補助担当教員			
		区分	教養選択		
		年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位
【授業概要】 ドイツ語の構造や成り立ちを紹介する。映像を通じてドイツの習慣や文化的背景を伝える。 ドイツ語構造の理解の上に語彙や文型を蓄積し、基本的ドイツ語表現を習得する。					
【到達目標】 演習・会話活動を積み上げ、ドイツ語のごく初歩的な文法構造を理解し、平易なドイツ語のコミュニケーションスキルを身につける。学年末には独検5合格レベルを目指す。 知識・理解：ドイツ語と英語の文法的な差を説明できる 思考・判断：文章構造に着眼できる 関心・意欲・態度：ドイツ語らしい発音に配慮できる 技能・表現：定型の簡単な表現を身につける。					
【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	ドイツ語・ドイツ文化へのいざない	授業計画提示・アルファバート・綴りと発音・動詞の人称変化・人称代名詞・文化紹介「市場」	講義・演習・グループワーク	予習：指定教科書を用意の上出席のこと。辞書は不要。辞書を安易に調べるよりも、授業内で扱った語彙を確実に定着させる習慣をつけてほしい。（10分） 復習：アルファバート・綴りと発音ルール・動詞や人称代名詞の運用を復習、定着練習。（80分）	倉持
2	独文法入門1 とドイツの文化2	綴りと発音・名詞の性・談話練習・文化紹介「買い物」	講義・演習・グループワーク	予習：1課の黄色いページ教材05頁を、発音ルールに従い音読してみる（30分） 復習：配布プリントを使い、動詞人称語尾のルールに則って様々な動詞を活用してみる教材04～05頁に再度取り組み、覚える（60分）	倉持
3	独文法入門2 とドイツの文化3	綴りと発音・名詞の性・haben動詞・助動詞mögen・文化紹介「ビールとワイン」	講義・演習・グループワーク	予習：07頁・haben動詞の活用表を見て理解する。名詞の「性」とは何なのか考えてくる。（10分） 復習：配布プリントを使い、habenやmögenを活用練習して変化を覚える。教材06頁を音読・暗誦する（80分）	倉持
4	独文法入門3 とドイツの文化4	sein動詞・疑問文の作り方・不定冠詞・談話練習・文化紹介「水事情」	講義・演習・グループワーク	予習：2課の黄色いページ教材09頁を、発音ルールに従い音読してみる。08頁の設問をやってみる。（20分） 復習：配布プリントを使い、動詞を活用して文を作れるようにする。教材08～09頁に再度取り組み、覚える。変化表を見なくてもhaben/sein動詞が使えるようにする。不定冠詞の役割を考え、運用できるようにする。（70分）	倉持
5	独文法入門4 とドイツの文化5	sein動詞・数詞・特別な活用をする動詞wissen・文化紹介「住宅」	講義・演習・グループワーク	予習：教材10を音読してみる。 53頁の「基数詞」を発音ルールどおりに読み上げ、少しづつ覚える。（20分） 復習：特別な活用をする動詞wissenと助動詞mögenの運用を覚え、配布プリントを使って練習する。数詞を覚える。 教材10頁を暗誦（70分）	倉持
6	独文法入門5 とドイツの文化6	数詞・年齢や身長を聞く・談話練習・文化紹介「家事」	講義・演習・グループワーク	予習：3課の黄色いページ教材13頁を音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。12頁の設問をやってみる。数詞が使えるか確認。（25分） 復習：配布プリントを使い、数を使った文が使えるようにする。 教材12～13頁に再度取り組み、教材の例文や13頁は暗誦する。（65分）	倉持
7	独文法入門6 とドイツの文化7	a型の不規則動詞・定冠詞・文化紹介「お城や教会」	講義・演習・グループワーク	予習：教材14頁を音読してみる。教材15頁の新動詞の活用をよく見て、何がちがうのかを見つける。（15分） 復習：配布プリントをつかい、不規則動詞の運用を覚え練習する。文が作れるようにする。 教材14頁を暗誦。（75分）	倉持
8	独文法入門7 とドイツの文化8	a型の 不規則動詞・談話練習・文化紹介「旅好きドイツ人」	講義・演習・グループワーク	予習：4課の黄色いページ教材17頁を音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。16頁の設問をやってみる。名詞の性を理解しているか確認。（20分） 復習：配布プリントを使い、不規則動詞文が使えるようにする。名詞の性に準じて、冠詞と共に使えるようにする。 教材16～17頁に再度取り組み、教材の例文や17頁は暗誦する。（70分）	倉持
9	独文法入門8 とドイツの文化9	i型の不規則動詞・前置詞mit・文化紹介「車と環境」	講義・演習・グループワーク	予習：教材18頁を音読してみる。教材19頁の新動詞の活用をよく見て、何がちがうのかを見つける。18頁の説明文をよみ、前置詞mitが何なのか考える。（25分） 復習：配布プリントをつかい、不規則動詞の運用を覚え練習する。文が作れるようにする。前置詞に伴う3格が使えるように練習を重ねる。 教材18頁を暗誦。（65分）	倉持
10	独文法入門9 とドイツの文化10	i型の不規則動詞・命令形・談話練習・文化紹介「市内交通」	講義・演習・グループワーク	予習：5課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。34頁を参照して西暦の読み方を考える。20頁の設問をやってみる。名詞の性を理解して3格に変化できるか確認。（30分） 復習：配布プリントを使い、不規則動詞文や伴う名詞3格が使えるようにする。 教材20～21頁に再度取り組み、教材の例文や21頁は暗誦する。（60分）	倉持
11	独文法入門10 とドイツの文化11	助動詞 können müssen dürfen・談話練習・文化紹介「中世都市」	講義・演習・グループワーク	予習：教材22頁を音読してみる。教材23頁をよく見て、助動詞の役割を見つける。22頁の説明文をよみ、表現の広がりを感じる。（10分） 復習：配布プリントをつかい、助動詞の運用を覚え練習する。表現が広がるように練習する。4月から学んだことを一通り復習する。教材2・5・6・9・10・13・14・17・18・21・22頁を暗誦。（80分）	倉持
12	独文法初級1 とドイツの文化12	助動詞 können müssen dürfen・談話練習・文化紹介「ドイツの世界遺産」	講義・演習・グループワーク	予習：夏休み前に学んだことを一通りふりかえる。教材2・5・6・9・10・13・14・17・18・21・22頁を暗誦。忘れていない部分がないか確認する。6課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。24頁の設問をやってみる。（60分） 復習：配布プリントを使い、助動詞が使えるようにする。 教材24～25頁に再度取り組み、教材の例文や25頁は暗誦する。 夏休み前のことで忘れていない部分は早期に復習し取り戻す。（30分）	倉持
13	独文法初級2 とドイツの文化13	分離動詞・数詞の復習・文化紹介「パン・朝食」	講義・演習・グループワーク	予習：教材26頁を音読してみる。教材27頁をよく見て、分離動詞の性質を見つける。数詞を覚えているか確認する（少なくとも0～20）。（20分） 復習：配布プリントをつかい、分離動詞の運用を理解し文が作れるように練習する。数詞の練習を重ねる。 教材26頁を暗誦。（70分）	倉持
14	独文法初級3 とドイツの文化14	分離動詞・時刻の表現・談話練習・文化紹介「焼き菓子の伝統」	講義・演習・グループワーク	予習：7課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。keinが何なのか考える。28頁の設問をやってみる。（20分） 復習：配布プリントを使い、分離動詞が時刻表現とともに使えるようにする。 教材28～29頁に再度取り組み、教材の例文や29頁は暗誦する。分離動詞の運用練習を繰り返す。時計の読み方を覚え、時刻が言えるように練習を重ねる。（70分）	倉持

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
15	独文法初級4 とドイツの文化15	所有冠詞・文化紹介「ドイツ人の余暇」	講義・演習・グループワーク	予習：教材30頁を音読してみる。教材31・50頁をよく見て,所有冠詞の役割を考える。30頁の説明文を読み、副文とは何か考える。（20分） 復習：配布プリントをつかい、所有冠詞の役割を理解し文が作れるように練習する。名詞の性への理解を重ねる。 教材30頁を暗誦。（70分）	倉持
16	独文法初級5 とドイツの文化16	所有冠詞・談話練習・文化紹介「スポーツ」	講義・演習・グループワーク	予習：8課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。数詞や西暦が読めるか確認する。32頁の設問をやってみる。（20分） 復習：配布プリントを使い、所有冠詞が使えるようにする。教材32～33頁に再度取り組み、教材の例文や33頁は暗誦する。所有冠詞の運用練習を繰り返す。（70分）	倉持
17	独文法初級6 とドイツの文化17	完了形の作り方・文化紹介「首都ベルリン」	講義・演習・グループワーク	予習：教材38頁を音読してみる。（34頁は取り組まなくてよい。）教材35・39頁をよく見て,現在完了形の役割や作りを考える。（20分） 復習：配布プリントを使い、完了形が使えるようにする。38頁は暗誦する。過去分詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（70分）	倉持
18	ドイツの戦後史講義	「ベルリンの壁 構築と崩壊の歴史」	講義	予習：第二次世界大戦後のドイツや欧州について基礎的な知識を確認する（30分） 復習：自らネット上で戦後のドイツが歩んだ道を調べ、講義と照らし合わせる（60分）	倉持
19	独文法初級7 とドイツの文化18	完了形の運用・文化紹介「多文化国家」	講義・演習・グループワーク	予習：9・10課の黄色いページを音読してみる。わかる語彙とわからない語彙を弁別する。既習の表現が定着しているか確認する。36・40頁の設問をやってみる。（30分） 復習：配布プリントを使い、完了形が使えるようにする。教材36・37・38・40頁に再度取り組み、教材の例文や37・41頁は暗誦する。過去分詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（60分）	倉持
20	独文法初級8 とドイツの文化19	前置詞・文化紹介「移民政策」	講義・演習・グループワーク	予習：教材42頁を音読してみる。教材43頁をよく見て,前置詞の役割を考える。名詞の性が掌握できているか確認し、不十分なら練習しておく。（20分） 復習：配布プリントを使い、前置詞が支配格とともに使えるようにする。42頁は暗誦する。前置詞+名詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（70分）	倉持
21	独文法初級9 とドイツの文化20	転換前置詞の3格運用・談話練習・文化紹介「宗教と祭日」	講義・演習・グループワーク	予習：11課の黄色いページを音読してみる。歌ってみる。名詞の性が定着しているか確認する。44頁の設問をやってみる。（20分） 復習：配布プリントを使い、前置詞+3格で場所を表現できるようにする。教材44・45頁に再度取り組み、教材の例文や45頁は暗誦する。前置詞+名詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（70分）	倉持
22	独文法初級10 とドイツの文化21	転換前置詞の4格運用・談話練習・文化紹介「クリスマス」	講義・演習・グループワーク	予習：教材46頁を音読してみる。教材47頁をよく見て,支配格で替わる前置詞の役割を考える。名詞の性が掌握できているか確認し、不十分なら練習しておく。（25分） 復習：配布プリントを使い、前置詞を4格とともに使い移動先を表現できるようにする。46頁は暗誦する。47頁の前置詞+名詞の形を繰り返し音読しどんどん覚える。（65分）	倉持
23	独文法初級11 とドイツの文化22	前置詞と動詞・談話練習・総復習・文化紹介「環境保護」	講義・演習・グループワーク	予習：12課の黄色いページを音読してみる。名詞の性が定着しているか確認する。48頁の設問をやってみる。1年間でふりかえり、質問があればまとめておく。（30分） 復習：配布プリントをつかい、前置詞の運用を覚え練習する。教材48・49頁に再度取り組み、教材の例文や49頁は暗誦する。4月から学んだことをしっかり復習し、学年末試験に備える。（60分）	倉持

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ドイツ・サラダ（DVD付）	坂本良子	朝日出版社
参考書			

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%							50%
備考	期末試験（教科書のみ持ち込み可）							授業参加態度やレポート・小テストなど

【課題に対するフィードバック方法】

小テストにおける典型的な誤答については授業内で解説する。期末試験については下級生への情報流出を防ぐ意味で試験を返却しない。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
倉持 有香子	授業前後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

配布プリントを整理する「ドイツ語」専用ファイルを用意すること。辞書は必須ではない。活用が複雑なドイツ語は辞書引くのもむずかしい。辞書が使えるレベルまでいけないので、むしろ授業内で使った語彙を確実に定着させるような努力が望ましい。

中国語 Chinese	授業担当教員	劉 靚・肖 航・田 春娟		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】

中国語初級の教科書を用いて、中国語の基礎的な部分を説明します。
発音や文法といった中国語学習者が苦手とする部分を重点的に指導していきます。

【到達目標】

基本的な語彙や文型を習得し、基本的コミュニケーションスキルを身につけます。
知識・理解：中国語の初級文法を理解し、異文化について理解する。
思考・判断：外国語学習を通じて、異文化に対して開かれた思考ができるようになる。
関心・意欲・態度：中国語をはじめとする異文化に積極的に関心を持つ。
技能・表現：中国語の初級レベルを身につける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション導入、発音の基礎	「中国」や「中国語」について概観し、受講上の注意点、学習上の注意点、参考書・辞書類の紹介、テストの方法、成績評価について案内する。	講義	予習：シラバス内容の確認。教科書の概説に目を通す。（60分） 復習：中国語の基礎知識（60分）	肖田
2	発音の基礎	第1課 中国語の音節・声調	講義	予習：中国語の音節と声調の予習。（60分） 復習：中国語の基礎知識（60分）	肖田
3	発音の基礎	第2課 単母音・複母音	講義	予習：単母音と複母音の予習。（30分） 復習：CDを聞きながら、音節と声調を振り返る。（45分）	肖田
4	発音の基礎	第3課 子音①	講義	予習：子音①の予習。（30分） 復習：CDを聞きながら、既習の母音をおさらいする（45分）	肖田
5	発音の基礎	第4課 子音②・鼻音	講義	予習：子音②と鼻音の予習（30分） 復習：CDを聞きながら、既習内容をおさらいする。（45分）	肖田
6	まとめ	発音の復習①	講義	予習：次回内容の予習（60分） 復習：教科書の音読。（60分）	肖田
7	まとめ	発音の復習②	講義	予習：次回内容の予習 復習：教科書の音読。（60分）	肖田
8	復習	発音の映像鑑賞・ピンインのテスト	講義	予習：次回内容の予習（60分） 復習：教科書の音読。（60分）	肖田
9	文法の基礎	第5課 出迎える	講義	予習：次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）	肖田
10	文法の基礎	第6課 歓迎パーティー	講義	予習：次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。内容の理解。（45分）	肖田
11	文法の基礎	第7課 タクシーに乗る	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）	肖田
12	文法の基礎	第8課 宿泊する	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の復習。（30分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）	劉肖
13	復習	第5課～第8課の復習	講義	予習：第5課～第8課の内容（60分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（60分）	劉肖
14	小テスト	前期の模擬テスト	講義	予習：テストの準備（60分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（60分）	劉肖
15	中国文化の紹介	中国の映画鑑賞	講義	予習：次回内容の予習 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（60分）	劉肖
16	復習	前期内容のおさらい	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分）	劉肖
17	文法の基礎	第9課 道をたずねる	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）	劉肖
18	文法の基礎	第10課 ショッピングをする	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分）	劉肖
19	文法の基礎	第11課 おしゃべりをする	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分） 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分）	劉肖
20	文法の基礎	第12課 料理を注文する	講義	予習：既習内容の復習。（30分） 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分）	劉肖
21	復習	第9課～第12課の復習	講義	予習：第9課～第12課の内容 復習：文法を復習する。（60分）	劉肖
22	小テスト	第9課～第12課の小テスト	講義	予習：小テストの内容 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（60分）	劉肖
23	文法の基礎	第13課 サッカーのチケットを買う	講義	予習：既習内容の復習。回りの予習。（30分） 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分）	劉肖

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	しゃべっていいとも中国語	陳淑梅・劉光赤著	朝日出版社
参考書	はじめての中国語学習辞典		朝日出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				20%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

採点済みの定期試験や小テストを希望者に返却します

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
劉 靚	授業前後	非常勤講師控室（A棟209）	
肖 航	授業前後	非常勤講師控室（A棟209）	
田 春娟	授業前後	非常勤講師控室（A棟209）	

【その他】

授業内容・順序を変更することがあります。

코리아語 Korean	授業担当教員	朴 貞美・李 垠姪			
	補助担当教員				
	区分	教養選択			
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位	

【授業概要】

韓国語は日本語と同じ語順であり、漢字からきた単語も多いため日本人にとって比較的短時間で学びやすい外国語である。この科目では初めて韓国語を学ぶ学生を対象とし、前期は韓国の文字である「ハングル」の習得に重点をおいて、ハングルの仕組みと自然な発音、読み方や書き方、基礎文法などについて講義する。 後期は文字の読み書きにとどまらず、韓国語で実際のコミュニケーションができるように韓国語の基本文法と日常表現を勉強する。前期、後期ともに韓国の文化、日本との関係なども紹介、異文化への理解と関心を高める。

【到達目標】

韓国の文字であるハングルと、初歩の韓国語文法を習得する。また、韓国の文化を知ることで異文化に対する理解を深める。（前期）
韓国語の基本文法と日常表現を習得し、韓国語で自分のことが表現できる。また、韓国の文化を知ることで異文化に対する理解を深める。（後期）
知識・理解：ハングルで書かれた文章を自然な発音で読め、初歩の韓国語文法や表現が理解できる。韓国語の基本文法を理解し、基本文型を覚え、さらに応用して話すことができる。
思考・判断：外国語と他国の文化を学ぶことで、国際化社会で必要とされる、より客観的で開放的な観点からの思考ができる。
関心・意欲・態度：異文化の面白さにふれることで学習意欲を高め、より積極的にコミュニケーションを図るようになる。
技能・表現：基礎的な表現を使い、韓国語で自己紹介ができる。初級レベルの韓国語の日常表現を身につける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション／韓国語と文字についての概観	韓国と韓国語／韓国語で挨拶／ハングルの仕組み	講義・演習	予習：シラバスを熟読する（30分） 復習：簡単な挨拶を覚える（90分）	朴 李
2	1課 アンニョンハセヨ	あいさつの言葉／基本母音／重母音(1)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
3	2課 私は井上あやです	子音(1)(2)／私は～です	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
4	3課 あやさんは歌手ですか	子音(3)(4)／重母音(2)／～さんは(も)～ですか	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
5	1～3課 まとめ	簡単な単語を読む／発音を聞いて書く／名前を書く	講義・演習	予習：今まで学習した文字と表現をすべて覚えてくる（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
6	4課 小さな星(1)	パッチム(1)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
7	4課 小さな星(2)	パッチム(2)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
8	文字のまとめ	韓国語の長文を自然な発音で読む／K-popを歌詞を見ながら聴く	講義・試験	予習：今まで学習してきたハングル文字・単語を完全に習得し、韓国語の文章が自然な発音で読めるようにする（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
9	5課 このリンゴいくらですか	～です(예요/이에요)／～は／～と／漢数詞／いくらですか	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
10	6課 趣味は何ですか	～が／何ですか／いつですか	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
11	前期 総まとめ	自己紹介文の作成／総まとめ	講義・演習	予習：自己紹介文の作成準備（60分） 復習：前期の学習内容をまとめておく（60分）	朴 李
12	授業オリエンテーション／7課 銀行もありますか	前期の講義内容の確認と後期の講義計画の説明／～も／います・あります／いません・ありません／どこですか	講義・演習	予習：シラバスの熟読と前期で学内容内容の復習をしておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
13	8課 釜山は魚がおいしいです	～です・ます(1)(子音語幹+아/어요)／～を／に(場所)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
14	9課 今度の週末、何しますか	～です・ます(2)(子音語幹+아/어요)／～に(時)／～で(場所)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
15	7～9課 まとめ	学習内容のまとめ	講義・演習	予習：今まで学習してきた表現を活用できるようにしておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
16	10課 飛行機で1時間位かかります	～から(場所)／～まで(場・所時)／～で(手段)／固有数詞／何時ですか／～しに行きます	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
17	11課 彼氏ではありません	ㄹ変則活用／否定形	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
18	12課 冬はやはり寒いです	ㄹ変則活用／～したいです／～しないでください	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
19	10～12課 まとめ／韓国ドラマ鑑賞	学習内容のまとめ／韓国ドラマを鑑賞し、感想文を書く	講義・演習	予習：今まで学習してきた表現を活用できるようにしておく（60分） 復習：ドラマで見た異文化について考える（60分）	朴 李
20	13課 旅行は楽しかったですか	用言の過去形／～に(相手)／～するつもりです	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
21	14課 一緒に勉強しましょうか	～より(比較)／～から(時)／～しましょうか／～してください	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
22	13～14課 まとめ	学習内容のまとめ	講義・演習	予習：今まで学習してきた表現を活用できるようにしておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴 李
23	後期 総まとめ	総まとめ	講義・演習	予習：後期の学習内容をまとめておく（60分） 復習：期末試験に備え、全体の復習（60分）	朴 李

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	韓国語の時間ですよ	山田佳子・金世朗	同学社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				10%	20%	20%	
備考					小テスト	授業内課題、授業外課題、発表など	出席率10%、授業態度10%	

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題を確認、必要に応じて訂正して返却します。
小テスト後、次回の授業で解答の解説を行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
朴 貞美	授業前後	非常勤講師控室（A棟209）	
李 垠姫	授業前後	非常勤講師控室（A棟209）	

【その他】

外国語を学ぶ上で一番大切なことは自らコミュニケーションを取ろうとする姿勢です。授業ではペアワークで練習をすることが多いので、積極的に参加しましょう！
成績評価は合計60%以上を合格とし、出席回数が授業回数の2/3以上を充たさないと試験を受けられなくなるので注意してください。
授業計画は、進捗状況によって前後する場合があります。

ロシア語 Russian	授業担当教員	本田 めぐみ・LOKTIONOV ALEXEI		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】
ロシア語の基礎を初歩から学びます。語学を学ぶとともに、ロシア文学や音楽、ロシアの生活などにも触れていきます。

【到達目標】
ロシア語の読み書きの習得。基本的挨拶ができるようになる。「話す」、「聞く」能力を身につける。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	ステップ1（基本） アルファベット ステップ2（あいさつ） 基本のあいさつ	アルファベットを覚える 簡単な挨拶を覚える	講義・演習	予習：教科書に目を通す（30分） 復習：アルファベットの読み書き（60分）	本田 LOKTIONOV
2	ステップ1（基本） 日本語の五十音、母音 ステップ2（あいさつ） 調子をきく	自分の名前、住所をロシア語で書けるようになる 相手の様子を伺う挨拶の表現を覚える	講義・演習	予習：教科書に目を通す（30分） 復習：アルファベットの読み書き（60分）	本田 LOKTIONOV
3	ステップ1（基本） 読み方の規則 子音 ステップ2（あいさつ） 自己紹介をする	単語のアクセントを習得する	講義・演習	予習：教科書に目を通す（30分） 復習：アルファベットの読み書き、アクセントに注意して単語を発音してみる（60分）	本田 LOKTIONOV
4	ステップ1（基本） 母音の弱化 子音の同化 ステップ2（あいさつ） 別れと再会のあいさつ	母音の弱化、子音の有声・無声化を習得する	講義・演習	予習：アルファベットの読み書き、単語の読み方（30分） 復習：あいさつ表現を口頭で練習（60分）	本田 LOKTIONOV
5	ステップ1（基本） 人称代名詞 ステップ2（あいさつ） 返事をする	人称代名詞を習得する	講義・演習	予習：アルファベット、単語の読み書き、アクセント（30分） 復習：人称代名詞について復習（60分）	本田 LOKTIONOV
6	ステップ1（基本） 名詞の文法性と代名詞 ステップ2（あいさつ） お礼の言葉	名詞の性を習得する	講義・演習	予習：アルファベット、単語の読み書き、アクセント、発音（30分） 復習：名詞の性を考えつつ、習った単語を復習する（60分）	本田 LOKTIONOV
7	ステップ1（基本） 名詞の複数形 ステップ2（あいさつ） お詫びの言葉	名詞の数を習得する	講義・演習	予習：（30分） 復習：アルファベット、単語の読み書き、アクセント、発音（60分）	本田 LOKTIONOV
8	ステップ1（基本） 所有代名詞 ステップ2（あいさつ） お祝いの言葉	所有代名詞を習得する	講義・演習	予習：アルファベット、単語の読み書き、アクセント、発音（30分） 復習：第8課の復習（70分）	本田 LOKTIONOV
9	ステップ1（基本） 指示代名詞 ステップ3（フレーズ） 指示代名詞	指示代名詞を習得する	講義・演習	予習：アルファベット、単語の読み書き、アクセント、発音（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
10	ステップ3（フレーズ） 疑問代名詞	疑問代名詞・指示代名詞を使った会話を習得する	講義・演習	予習：教科書に目を通す（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
11	定期テストへむけて（前期のまとめ）	前期で習ったことを復習し、簡単な文が読め、簡単な会話ができるようになる 簡単な質問に答えられるようになる	講義・演習	予習：前期に習った事を見直す（30分） 復習：前期に習った単語、フレーズ、挨拶を復習する（60分）	本田 LOKTIONOV
12	ステップ1（基本） 形容詞 ステップ3（フレーズ） 形容詞① 形容詞②	形容詞の性と数の変化を習得する	講義・演習	予習：前期に習った事を再確認する（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
13	ステップ3（フレーズ） 主語と述語	身分、職業を言えるようになる	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
14	ステップ1（基本） 動詞の現在形 ステップ3（フレーズ） 完了体動詞（y p o k 15, y p o k 17）	動詞の変化を習得する	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：主語の人称に応じて動詞を変化させる練習（60分）	本田 LOKTIONOV
15	簡単なロシア語アニメーションの視聴	簡単なロシア語のアニメーションを視聴し、会話表現など理解できるようになる。	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：覚えた表現をまとめる（60分）	本田 LOKTIONOV
16	ステップ2（あいさつ） 天候に関する表現	簡単な天気の話題ができるようになる	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：天気の話題で会話練習、プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
17	ステップ1（基本） 動詞の過去形 動詞の未来形 ステップ3（フレーズ） бытьの過去形 бытьの未来形	動詞の過去形の変化、未来形の表現を習得する	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
18	ロシアの生活・食べ物・文化	基本的なロシア人の生活、食べ物、文化（音楽・文学など）に触れ、ロシアについての総合的な理解を深める	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
19	ステップ3（フレーズ） レストランでの会話	レストランでの会話表現をロールプレイングを通して習得する	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
20	ステップ3（フレーズ） 場所を表す副詞、副詞句 場所を表す言場と動詞（У p o k 16）	場所を表す表現、場所を表す前置格を使って表現できるようになる	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV
21	ステップ3（フレーズ） 再帰動詞 名詞の生格	- c я 動詞の変化を理解する。 生格を使用し、「～出身です」の表現ができる	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：プリント（60分）	本田 LOKTIONOV

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
22	・会話表現の演習	ロシア語で自己紹介ができるようになる	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：会話表現（60分）	本田 LOKTIONOV
23	・会話表現の演習	日本や新潟についてロシア語で説明ができるようになる 口頭テストへむけての演習	講義・演習	予習：単語、文法（30分） 復習：会話表現（60分）	本田 LOKTIONOV

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	はじめてのロシア語	柚木かおり	株式会社ナツメ社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				20%			20%
備考					確認テスト			学習態度

【課題に対するフィードバック方法】

学習の到達度をはかる確認テストについては、テスト回収後、解答の解説を授業内で行います。筆記の定期試験については、模範解答例を答案用紙に添付します。口頭試験については、各評価基準に対してA～Dの判定を行い、筆記試験答案用紙返却時に添付します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
本田 めぐみ	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	
LOKTIONOV ALEXEI	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

その他の試験とは、理解度をチェックする確認テストである。
成績評価については、合計が60%以上（定期試験・その他試験・その他）で合格とする。

地学 Earth Science	授業担当教員	河内 一男		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】
プレートテクトニクス、地表の変化、大気の流れ、星と宇宙の項目のもとに、地球がどのように変化し、生物界の変遷を引き起こしたかについて解説する。宇宙における地球の位置、太陽と恒星の姿、惑星運動について講述する。本講義の内容を踏まえて、二年度に地学実験を実施する。

【実務経歴】
担当教員河内は高等学校教員として32年間、新潟県立教育センター科学教育課指導主事として5年間勤務した。このうち指導主事としては小・中・高等学校における地学教育及び科学教育部門全般を担当した経験を持つ。その実務経験を基に本科目について講義を行う。

【到達目標】
中学校及び高等学校の理科の指導要領の地学分野を網羅した事項を重点に学習する。地球、太陽、恒星及び宇宙について学び、現在地球で起こっている事象について理解する。
知識・理解：プレートテクトニクス、地表の変化、大気の流れ、星と宇宙についての基礎的事項について理解する。
思考・判断：地球の中の現在の居住空間、太陽系の中の地球、宇宙の中の太陽系という空間認識ができ、地球史的な時間認識を持つことができるようになる。
関心・意欲・態度：地学的な事物・現象について、身近な題材と関連づけて興味をもつことができるようになる。
技能・表現：地球、太陽、恒星及び宇宙の各分野について、観察・観測や作図等を通じた分析や解析ができるようになる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション プレートテクトニクス1（地球の概観）	地球の形の認識の変化を科学史から講述する。簡単な計算によって地球楕円体の曲面を認識させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
2	プレートテクトニクス2（地球の構造と世界の変動帯）	地殻、マントル、核の構造と世界的地震や火山活動とプレートテクトニクスの関係について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
3	プレートテクトニクス3（地震活動）	震源や地震の規模の決定法を、演習を交えて講述する。地震計の記録から震源や規模を決定する。地震発生のしくみを理解させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
4	プレートテクトニクス4（火山活動）	火山噴火の様式、形態、火山災害、火山のしくみ、について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
5	火山活動の産物	火成岩の成因、分類、鉱物の化学組成、結晶構造について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
6	地表の変化1（相対年代と絶対年代）	化石や地層の同定からの地質年代の決定、放射年代決定法のしくみ、地層の新旧関係について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
7	地表の変化2（過去の地球環境を調べる）	地層から地球環境の変遷を調べる方法について講述する。堆積岩の成因、堆積岩の分類、変成岩の成因について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
8	地表の変化3（地殻変動の歴史）	地形や地層と地殻変動の歴史を調べる方法、褶曲、断層、不整合について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
9	地表の変化4（地球の歴史）	地球の歴史、生命の誕生・進化、古生代以降の脊椎動物の進化について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
10	大気の流れ1（小循環）	海陸風、山谷風などの大気の小循環のしくみを講述する。空気塊の断熱上昇と雲の発生の関係を理解させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
11	大気の流れ2（天気予報）	前線、温帯低気圧、台風について講述する。レーダー画像、ひまわり画像、地上天気図、高層天気図の変化の読み取りを習得させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
12	大気の流れ3（大気の大循環と四季の気象）	低緯度、中緯度、高緯度の大気の大循環と日本付近の気候、大循環の中での日本の四季の特徴について講述する。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
13	星と宇宙1（惑星天文学）	惑星の運動、ケプラーの法則を講述する。太陽系の天体の特徴や運動のようす、年周視差、光行差を理解させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
14	星と宇宙2（太陽）	太陽の放射、太陽の活動について講述する。太陽系の中心としてまた一つの恒星としてのその姿やはたらきを理解させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内
15	星と宇宙3(宇宙)	恒星の明るさ、表面温度、恒星の進化について講述する。観察から恒星の大きさや距離や恒星の質量を求める方法を習得させる。	講義	予習：teamsを利用する。（120分） 復習：teamsを利用する。（150分）	河内

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	teamsを利用して資料を配布する。		
参考書	大学教育 地学 第2版	小島丈兒他	共立出版

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				20%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
小テストや課題についてはteamsまたはWebサイト <http://kanbara.sakura.ne.jp/nupals.html>で解説をする。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
河内 一男	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

<div>気象学</div> <div>Meteorology</div>	授業担当教員	本田 明治		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】
生活拠点における気象・気候は様々な疾患に大きく関わることであり、気象・気候の理解は、その地域における生活者の健康自立に重要な意味を持つことになる。そこで本講義では、身近に起こるさまざまな大気の大気現象とその変化・変動の仕組みを理解することを目的とする。

【到達目標】
雨や雪の降る仕組み、気温が決まる仕組み、風が吹くメカニズムを物理的な視点から理解して、定性的に説明することができる。
天気図をみて気象概況が理解でき、気象情報を有効に活用して天気・天候を見通しを立てることができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	地球と大気	太陽系の中の地球、大気の鉛直構造、オゾン層の役割	講義	予習：気象に関する図書（ガイドンスでお薦めした参考書など）を図書館などで読んでみる。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）	本田
2	大気の熱力学（雨や雪の降る仕組み）Ⅰ	状態方程式、エネルギーの保存、乾燥断熱変化と温位、水の相変化、水蒸気を表す量	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）	本田
3	大気の熱力学（雨や雪の降る仕組み）Ⅱ	湿潤断熱変化と相当温位、大気の安定・不安定、降水・降雪過程、水滴の生成と成長、暖かい雨・冷たい雨	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）	本田
4	大気の放射（気温が決まる仕組み）	黒体放射、太陽放射と地球放射、放射平衡、散乱と吸収、温室効果、地球のエネルギー収支	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）	本田
5	大気の力学（風が吹く仕組み）	運動方程式、気圧傾度力、コリオリ力と地衡風、高気圧と低気圧	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）	本田
6	天気図を描いてみよう	天気図の基礎、天気図の見方	講義・演習	予習：天気図の描き方の資料を予めよく読んでおき、天気図に用いる記号を理解しておく。等値線を引く練習をしておく。（30分） 復習：天気図を清書し完成させる。（150分）	本田
7	小テスト（30分程度）・気候システム	気候システムとは？、大気大循環と波動、大気と海洋の相互作用、	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。 小テストに向けて、これまでの授業時の配付資料、ダウンロードした講義資料を見返し、課題した練習問題を全て解く。（120分） 復習：実施した小テストを振り返り解答できなかった箇所は資料等で確認しておく。授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（60分）	本田
8	地球温暖化と異常気象	地球温暖化の実態と予測、異常気象の要因とメカニズム、近年の異常気象	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：期末試験に向けて、全授業時の配付資料、ダウンロードした講義資料を特に講義中に示した重点箇所を中心に見返し、講義中に課題した練習問題も全て解く。（120分）	本田

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	図解 気象学入門	古川武彦他・著	講談社ブルーバックス
参考書	トコトン図解 気象学入門	釜堀弘隆・川村隆一・著	講談社
参考書	ニュース・天気予報がよくわかる気象キーワード事典	筆保弘徳他・著	ベレ出版
参考書	地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題	川瀬宏明	ベレ出版

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%				10%	10%		
備考					小テスト	天気図		

【課題に対するフィードバック方法】
定期試験の問題及び解答例はcyber・NUPALSにアップロードします。
小テストは採点のうえ解答を示し返却します。
レポートは採点して返却します。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
本田 明治	講義終了後	非常勤講師室（A棟209室）	

【その他】
その他の試験は、講義内容の確認テストです。
成績評価は合計60%以上を合格とします。

昆虫と人のかかわり Insect Ecology		授業担当教員	工藤 起来		
		補助担当教員			
		区分	教養選択		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】
昆虫の体節構造や系統関係について概観した上で、その多様性についても扱う。また、ハチ類を中心とした毒をもつ昆虫の生態や社会の仕組みについては、進化生態学的視点から概説する。さらに、近年問題となっている外来昆虫について、法制上の問題に加え、人間の生活にどのように影響するかを扱う。

【到達目標】
昆虫の体の構造や多様性、系統関係について理解し、毒をもつ昆虫や外来昆虫の生態についても説明できるようになる。

【授業計画】					
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	昆虫の体節構造	昆虫の体の構造	講義	予習：本時で考えられる講義内容、特に昆虫の体節構造についての書籍を読み、講義内容について、理解を得ておく。（90分） 復習：昆虫の体節構造（90分）	工藤
2	昆虫の系統関係（1）	昆虫の系統関係の変遷	講義	予習：昆虫の系統関係の変遷（90分） 復習：昆虫の体節構造（90分）	工藤
3	昆虫の多様性（1）	ヨーロッパや北米、日本における昆虫の多様性	講義	予習：日本や諸外国における昆虫の多様性（90分） 復習：近年の昆虫の系統関係（90分）	工藤
4	昆虫の多様性（2）	昆虫の多様性と植物の関係	講義	予習：昆虫の多様性と植物の関係（90分） 復習：昆虫の多様性：日本における昆虫の多様性（90分）	工藤
5	ハチ類を中心とした社会性昆虫（1）	進化生物学的視点	講義	予習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：自然選択（90分） 復習：昆虫の多様性と植物の関係（90分）	工藤
6	ハチ類を中心とした社会性昆虫（2）	毒の生産と刺傷被害	講義	予習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：毒の生産と刺傷被害（90分） 復習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：血縁選択（90分）	工藤
7	外来昆虫（1）	外来生物法	講義	予習：外来昆虫：外来生物法（90分） 復習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：毒の生産と刺傷被害（90分）	工藤
8	外来昆虫（2）	外来昆虫およびその影響	講義	予習：外来昆虫：外来生物とその影響（90分） 復習：外来昆虫：外来生物法（90分）	工藤

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
その他	プリント配布		

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	90%				10%			
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
定期試験の解答例は、Cyber-NUPALSにアップロードします。その他試験については、当該試験が行われた翌日回到解説します。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
工藤 起来	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】
・成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

バイオとフードを巡る国際関係論 International Relations of Biotechnology and Food	授業担当教員	木南 莉莉・堀 友繁		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

地球環境問題と国際関係（国際関係の新しいパラダイム、バイオとフードを巡る地球環境問題、常識を変えるイノベーションの社会への普及）、バイオ戦略（バイオ産業、バイオ戦略大綱、国際標準化、事業戦略の基礎と応用）、国際化と日本（一般論としての国際関係と外交、国際関係における国益、生物多様性、気候変動、命の元素リン、バイオ最新情報ハイライト）、レッドバイオ最前線―世界とのつながり（生命科学の進展、遺伝子検査の標準化、ヒト幹細胞の発見と体細胞の初期化、ゲノム編集技術、再生医療への期待、再生医療の研究・実用化動向、遺伝子治療、再生医療の産業化・世界市場獲得に向けた事業戦略案）などについて、神羅万象（形ある全ての物と、起こりうる全ての現象）に関わる生命科学の本質を踏まえて、概説する。（堀）

世界の食料をめぐる問題について、国際フードシステムの視点から捉え直し、食料の需給とその要因の変化、農業バイオテクノロジーの可能性と課題、生物多様性の保全と持続可能性に焦点を当て、発展途上国および先進国が直面する問題とその背景を明らかにする。（木南）

【到達目標】

真のイノベーションとしての持続可能な健康社会の実現に向けて、高度情報化と国際化、国境を越える経済と越えられない民主主義との狭間にある今日の国際社会で日本が担うべき役割について、自分で問題を見つけて、それに正しく答える。そして、この生き方を貫く。（堀）

食料に関わる生物資源の適切な利用と管理が国際的な重要課題であることを認識し、その経済・社会的背景を理解し、自ら課題解決の方法について考える力を身につける。（木南）

知識・理解：バイオとフードを巡る地球環境問題（気候変動と地球温暖化、人口・食糧問題、生物多様性の重要性、国境を越えるバイオの脅威など）、ウクライナ情勢と世界の食糧危機、日本の酪農危機、国際関係の新しいパラダイム、バイオテクノロジー産業の振興と戦略の必要性、ゲノム編集技術、遺伝子治療、ヒト幹細胞技術を利用する再生医療の産業化について概要を説明できる。（堀）

世界の食料問題について、国際的な視点から総合的に捉えることができ、食料需給に影響を与える諸要因を理解し、バイオテクノロジーの潜在的可能性と利用上の問題点について説明できる。（木南）

思考・判断：バイオテクノロジー、特に最新の生命科学を巡る多様で多彩な国内外の問題と課題を類別できる。（堀）

食料確保における生物多様性の保全と持続可能な農業技術の意義を説明でき、食料問題の解決策について自ら考えることができる。（木南）

関心・意欲・態度：主要な課題の解決のために国際社会において日本が担うべき具体的な役割について、正しい問いを立て、自らの価値観と言葉で討議できる。（堀）

世界の食料問題について強い関心を持ち、その解決策を考えると同時に実践する意欲も高めることができる。（木南）

技能・表現：事業戦略の基礎と応用、イノベーションの社会への普及に関する理論的考察について概要を説明できる。（堀）

世界の食料問題について強い関心を持ち、その解決策を考えることができる。（木南）

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 地球環境問題と国際関係（国際関係の正確な理解が、なぜ必要なのか？）	国際関係の新しいパラダイム（知的枠組み）、国際社会の法と秩序、バイオとフードを巡る様々な地球環境問題（気候変動、地球温暖化、人口問題、食糧問題、生物多様性、国境を越えるバイオの脅威など）、常識を変えるイノベーションの社会への普及に関する理論的考察、さらに喫緊の問題であるウクライナ情勢と世界の食糧危機、日本の酪農危機などについて概説し、“バイオとフードを巡る国際関係論”の背景、および国際関係論が分析対象とする「国際関係」の正確な理解がなぜ必要なのか、その合理的理解を図る。	講義	予習：バイオとフードを巡る様々な地球環境問題（気候変動、地球温暖化、人口問題、食糧問題、生物多様性、国境を越えるバイオの脅威）、ウクライナ情勢と世界の食糧危機（140分） 復習：当日配布した印刷教材、および授業で概説した国際関係論が分析対象とする「国際関係」、国際関係の新しいパラダイム（知的枠組み）、国際社会の法と秩序、常識を変えるイノベーションの社会への普及に関する理論的考察（140分）	堀
2	バイオ戦略（なぜ戦略が必要なのか？）	バイオテクノロジーの国際的な定義、バイオ産業の動向、日本のバイオ戦略大綱、国際標準化の意義、事業戦略の基礎と応用について紹介し、ヘルスケア、農業などの分野に新たなインパクトを与えるバイオテクノロジーが生み出す新たな潮流とバイオ戦略の必要性に対する合理的理解を図る。	講義	予習：バイオテクノロジー戦略大綱（BT戦略会議、平成14年2月） http://ine-saiban.com/saiban/siryo/X/51Biotechnaikou.html 及びバイオテクノロジーが生み出す新たな潮流（経済産業省、平成28年3月） https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/shomu_ryutsu/bio/pdf/003_07_00.pdf 120分（120分） 復習：当日配布した印刷教材、および授業で概説したバイオテクノロジーの定義、日本のバイオ戦略大綱、国際標準化の意義およびビジネス戦略の基礎と応用（110分）	堀
3	国際化と日本（日本はオピニオンリーダーを演じられるか？）	一般論としての国際関係と外交、国際秩序、経済の力（経済が世の中を動かす）、歴史の転機（日本の指針）、生物多様性基本法・国際条約、気候変動（異常気象）、気象学の基礎、バイオテクノロジー関連の様々な話題などを紹介し、適宜、予習課題の簡単な口頭発表も交えて、国際社会における日本の役割などについて考察する。	講義	予習：「日本にとっての国益とは何か」、「民主主義とは何か」：私見を取りまとめる。（120分） 復習：当日配布した印刷教材、および授業で概説した民主主義の定義、コンセンサスの定義、一般論としての国際関係と外交、国際秩序、経済の力（経済が世の中を動かす）、歴史の転機（日本の指針）、民主主義の定義（120分）	堀
4	レッドバイオ最前線―世界とのつながり（再生医療は産業化できるか？）	生命科学の進展、遺伝子検査の標準化、ヒト幹細胞の発見と体細胞の初期化、真核細胞のゲノム編集技術、再生医療への期待、再生医療の基礎及び臨床研究や遺伝子治療の動向、再生医療の産業化・世界市場獲得・標準医療としての実用化に向けた具体的なビジネス戦略（案）の策定事例（注、本授業の講師が戦略分析に基づいて実施）などを紹介し、真のイノベーションとしての持続可能な健康社会の実現に挑戦する再生医療の深層について考察する。	講義	予習：再生医療・幹細胞研究の現状（国立国会図書館調査および立法考査局報告書：ライフサイエンスのフロンティア第3部、8章再生医療・幹細胞研究 http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9913545_po_20150416.pdf?contentNo=1 ）および関連法規（再生医療等の安全性の確保等に関する法律）の概要 http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000079192.pdf ）（120分） 復習：当日配布した印刷教材、および授業で概説したゲノム編集技術、遺伝子治療、再生医療の産業化・世界市場獲得に向けた事業戦略案の詳細（120分）	堀
5	国際フードシステムと食料安全保障	内容：「食料安全保障」をキーワードとして、グローバリゼーションの下での食料問題について、国際フードシステムの視点から捉え直すための議論を展開する。目標：世界の食料問題について、国際的な視点から総合的に捉えることの意義を説明できる。	講義	予習：教科書（120分） 復習：授業内容（150分）	木南
6	食料の需要と人口、経済成長	内容：グローバルな視点での食料需給の動向を捉え、供給側、需要側の双方の構造的変化とその要因について議論する。目標：食料の需給に影響を与える諸要因を理解し、近年における需給変化の問題点と背景を説明できる。	講義	予習：教科書（120分） 復習：授業内容（150分）	木南
7	食料の供給と資源、環境	内容：農業におけるバイオテクノロジーの導入が食料経済に与える影響について議論し、世界規模の貧困削減などの潜在的可能性について論じると同時に、その利用に当たっての問題点や解決策について考える。目標：食料確保におけるバイオテクノロジーの潜在的可能性について理解し、利用上の問題点や解決策を自ら考えることができる。	講義	予習：教科書（120分） 復習：授業内容（150分）	木南
8	食料の貿易と地域統合	内容：食料に係るグローバリゼーションの問題を理解するには、食料の需要と供給だけではなく、食料を取り巻く貿易構造にも焦点を当てて考える。目標：グローバリゼーションの下での農産物・食品貿易の現状と地域統合の進展について自ら考えることができる。	講義	予習：教科書（120分） 復習：授業内容（150分）	木南

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	（堀）なし。印刷教材配布。 （木南）改訂 国際フードシステム論 第2版	木南莉莉、（2015）	農林統計出版
参考書	（堀）民主主義 ISBN978-4-04-400434-7 C0136（木南）授業中に適宜紹介する。	文部省（2022年4月30日18版発行）	角川文庫
参考書	（堀）NHKテキスト 100分de名著 ジーン・シャープ 独裁体制から民主主義へ	中見真理（2023年1月1日発行）	NHK出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	25%					50%	25%	
備考	(木南分)					(堀分)	(木南分)	

【課題に対するフィードバック方法】

(堀) 提出されたレポート（原本）に評点とコメントを付して返却します。
(木南) 定期試験終了後、Cyber・NUPALSに解答例をアップロードします。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
木南 莉莉	講義日またはEmailでの問い合わせ	非常勤講師室(A209)	
堀 友繁	講義日またはemailでの問い合わせ	非常勤講師室	horit@jcom.home.ne.jp

【その他】

集中講義にて実施。

バイオとフードに関する法律 Food, biotechnology and other related regulations	授業担当教員	杉田 耕一		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】
食品は私たちが生きていくには欠かせないものでると同時に、安全性や品質に関して最も注意が払われるべきものである。また、近年のバイオテクノロジーの進歩は目覚ましく、様々な技術が生まれ医療や食品に関する研究や商業化が進んでいる。本講義では、これら食品やバイオテクノロジーに関する研究や事業に従事するために欠かせない、主要な法律や制度等について講義する。

【実務経験】
担当教員は、企業の研究開発部門（バイオ）と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では食品やバイオテクノロジー関連の法律や制度について講義を行う。

【到達目標】
食品およびバイオ関連の法律や制度を理解すると共に、法令遵守の基本姿勢を身に着ける。
知識・理解：１．食品に関する主要法律や制度等について説明することができる。 ２．バイオ関連の主要法律や制度等について説明することができる。
思考・判断：１．食品やバイオ関連の研究活動または商品化プロセスにおいて、各種法律や制度等を適切に運用できる。
関心・意欲・態度：１．日常の生活において、食品表示等について関心を持ち知識との連動性を持つことができる。 ２．食品やバイオに関する各種情報に興味を持つことができる。
技能・表現：１．食品およびバイオ関連の法律や制度について、正確かつ分かりやすく説明することができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	シラバスを基に、授業概要、一般目標、到達目標を理解する。また、法令遵守について学ぶ。	講義	予習：シラバス熟読（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
2	食品関連の法律と制度等①	食品安全委員会の役割等、及び食品安全基本法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
3	食品関連の法律と制度等②	食品衛生法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
4	食品関連の法律と制度等③	食品表示法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
5	食品関連の法律と制度等④	景品表示法、JAS法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
6	食品関連の法律と制度等⑤	不正競争防止法、計量法、医薬品医療機器等法、PL法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
7	食品関連の法律と制度等⑥	食品添加物・食品アレルギー・農業に関する法律や制度等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
8	食品関連の法律と制度等⑦	健康食品に関する法律や制度等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
9	食品関連の法律と制度（まとめ）	第8回講義までの内容についてまとめ概説する。また、学習成果を確認するための中間テストも実施する。	講義・試験	予習：第8回講義までの総復習（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
10	バイオ関連の法律と制度等①	組換えDNA実験に関する法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
11	バイオ関連の法律と制度等②	遺伝子組換え作物の普及状況と関連法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
12	バイオ関連の法律と制度等③	ゲノム編集技術に関する法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
13	バイオ関連の法律と制度等④	ヒトゲノム・ヒト細胞の研究に関する法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
14	知的財産権①	種苗法、品種権、商標権、意匠権について学ぶ。	講義・SGD	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
15	知的財産権②	特許権について学ぶ。	講義・SGD	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	プリント(Teams事前配信)		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%	40%					10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
講義中またはTeamsで解説等を行います。個別の質問等についてはTeamsチャットでも対応します。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）	NE209	agri-sugita@nupals.ac.jp

【その他】
日常の購買行動のなかで、食品の表示内容などを見るようにすること。

<div>法学</div> <div>Introduction to Law (Constitutional Law)</div>	授業担当教員	渡辺 豊		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】
法学の講義として、日本国憲法を中心とした日本の法制度について講義する。特に、憲法が定めている内容を正確に理解し、社会問題について考える際の視点とできることを目指す。

【到達目標】
日本国憲法の基本的な知識を身につけるとともに、法的思考力を涵養する。
知識・理解：日本国憲法の基本原理と具体的内容を説明できる。
思考・判断：新聞やニュースで報道されている社会問題について、法的な観点から考えることができる。
関心・意欲・態度：現代社会の諸問題に関心を持てる。
技能・表現：現代社会の諸問題を法的な視点から考察し、自分の言葉で表現することができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション （法とは何か、憲法とは何か）	法と社会の関係を学ぶ。 日本国憲法の特徴を知る。 条文の読み方について学ぶ。	講義	予習：シラバスに目を通し、日本国憲法の条文と教科書4-7、9頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
2	人権の射程、新しい人権	人権に関する基礎を学ぶ。特に、プライバシーや個人情報保護について学ぶ。	講義	予習：教科書10-17頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
3	法の下の平等	法の下の平等に関する基礎を学ぶ。	講義	予習：教科書18-21頁を熟読する（90分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（150分）	渡辺
4	思想・良心の自由、信教の自由	思想・良心の自由、信教の自由に関する基礎を学ぶ。	講義	予習：教科書22-29頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
5	表現の自由	表現の自由が持つ意義・重要性和その限界を学ぶ。	講義	予習：教科書30-37頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる、第1回小レポートの準備を行う。（150分）	渡辺
6	集会・結社の自由、学問の自由と大学の自治	集会・結社の自由、学問の自由などの基礎を学ぶ。	講義	予習：教科書38-45頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
7	職業選択の自由、財産権	職業選択の自由、財産権の基礎を学ぶ。	講義	予習：教科書46-53頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
8	生存権、教育を受ける権利	生存権の意義と、教育を受ける権利の基礎を学ぶ。	講義	予習：教科書54-61頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
9	勤労の権利・労働基本権、参政権と選挙制度	勤労の権利に関する基礎を学び、参政権について考える。	講義	予習：教科書62-69頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
10	刑事手続上の権利	刑事手続上の権利の重要性を学ぶ。	講義	予習：教科書70-75頁を熟読する（90分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（150分）	渡辺
11	統治機構・総論、国会、議院と議員	統治機構に関する基礎と、国会の地位・組織について学ぶ。	講義	予習：教科書78-89頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる、第2回小レポートの準備を行う。（150分）	渡辺
12	内閣、行政	内閣・行政に関する基礎を学ぶ。	講義	予習：教科書90-97頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
13	裁判所、司法権と憲法訴訟	裁判所の組織、司法権の独立について学び、市民と裁判との関係を考える。	講義	予習：教科書98-105頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
14	地方自治、財政、天皇	地方自治・財政をめぐる基礎を学ぶ。 天皇の地位について考える。	講義	予習：教科書106-117頁を熟読する（120分） 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）	渡辺
15	平和主義、憲法改正	平和主義の意義と憲法9条について考える。 憲法改正について学ぶ。	講義	予習：教科書118-121、126-129頁を熟読する（120分） 復習：学期末試験に向けた準備を行う。（150分）	渡辺

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	図録日本国憲法〔第2版〕	斎藤一久・堀口悟郎編	弘文堂

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%					30%		
備考	期末試験を実施する					学期中に2回小レポートを課す		

【課題に対するフィードバック方法】
講義に関する質問を随時受け付ける。レポートは解答例を配布する。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
渡辺 豊	講義の前後の時間帯	非常勤講師室	

【その他】
本講義は初学者を対象としており、事前に求められる知識は特にない。ただし、講義内容を十分に理解するためにも予習・復習を欠かさないこと。

哲学 Philosophy	授業担当教員	栗原 隆		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

今日の私たちの科学技術が直面している問題の思想的背景を知ることを通して、無自覚的に過ごしている日常を、<どうして>、<なぜ>という視点から、問い直すことを通して、日常を自覚的にする力を習得する。教科書は定めずに、各テーマに応じてプリントを配布して、それに基づいて授業を進める。テストの際には、自筆手書きのノートと、配布資料の持ち込みが必須である。

【到達目標】

(1) 私たちが生活をしている新潟県について、新潟水俣病をはじめ、クロルニトロフェンやトリハロメタンによる水道水汚染がなぜ生じたのか、便利で快適な暮らしの追求が環境に負荷をかけている現実を理解できる。(2) 新潟市の海岸決壊や地盤沈下など、自然改造のフロンティア倫理では立ち行かなくなっていることを説明できる。(3) 今日の私たちが直面している問題の根底にはエゴイズムの追求が潜んでいることを確認する。(4) 他方、医療技術の発達によって、これまでは運命が宰領していた人間の生死も、人間自身の判断によって左右されるようになったことを分析する。(5) そのうえで、今日ほど、「人間とは何か」が根本的に問われなければならないこと鑑み、「生まれてくる子どもに私たちは何を望むのか」「医療費の国庫負担が膨大な今、高額な新薬開発、さらには保険適用は望ましいことなのか」「定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用して、成績向上を図ることは許されるのか」など、医療技術をめぐる新たな問題について、自覚的な判断ができるようになる。

(1) 私たちが生活をしている新潟県について、新潟水俣病をはじめ、クロルニトロフェンやトリハロメタンによる水道水汚染がなぜ生じたのか、便利で快適な暮らしの追求が環境に負荷をかけている現実を理解できる。(2) 新潟市の海岸決壊や地盤沈下など、自然改造のフロンティア倫理では立ち行かなくなっていることを説明できる。(3) 今日の私たちが直面している問題の根底にはエゴイズムの追求が潜んでいることを確認する。(4) 他方、医療技術の発達によって、これまでは運命が宰領していた人間の生死も、人間自身の判断によって左右されるようになったことを分析する。(5) そのうえで、今日ほど、「人間とは何か」が根本的に問われなければならないこと鑑み、「生まれてくる子どもに私たちは何を望むのか」「医療費の国庫負担が膨大な今、高額な新薬開発、さらには保険適用は望ましいことなのか」「定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用して、成績向上を図ることは許されるのか」など、医療技術をめぐる新たな問題について、自覚的な判断ができるようになる。

知識・理解：
新薬の治験にまつわる倫理的問題や、高額医薬品の開発に伴う倫理問題について理解する。

思考・判断：
倫理的葛藤状況にあって、いかにするべきかの判断能力を涵養する。

関心・意欲・態度：
ヒューマニティある思考ができる人間性を培う。

技能・表現：
客観的で論理的な文章表現の訓練を通して、分析的な思考回路を育成する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	定期試験前に学生が、認知改善サプリメントを服用することは許されるのか	認知改善サプリメントを服用することで、私たちは自分の成績の向上を図っていいのか？	講義	予習：認知改善サプリメントについて調べておく。(90分) 復習：定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用することは、許されるのか、それとも許されないことなのか、論拠と結論をまとめる。(90分)	栗原
2	新潟から考える環境倫理	新潟市の海岸決壊と水溶性天然ガス汲み上げに伴う地盤沈下、新潟水俣病、さらにはクロルニトロフェン、トリハロメタン、ダイオキシンなどにより環境破壊	講義	予習：無機水銀が有機水銀に変わる機序について調べておく(90分) 復習：ホイッスルブローの事例について調べる(90分)	栗原
3	脳死からの臓器移植と功利主義	脳死と植物状態、臓器移植、臓器移植法の改正に伴う問題	講義	予習：新旧の臓器移植法の内容を確認するとともに、脳死の患者さんからの臓器移植の手筈を調べておく。(90分) 復習：技術信奉と結果主義に立脚する技術判断と、倫理判断との違いを確認する。(90分)	栗原
4	治療停止と高額医薬品の開発	公立福生病院での人工透析中止による患者の死亡事例、札幌医科大学とニプロによる高額医薬品の開発	講義	予習：腎不全患者に対する人工透析についての概要を調べておく。(90分) 復習：医薬品開発に際しての倫理問題はあるのか、どうか、考える。(90分)	栗原
5	クローン胚によるES細胞の樹立、ならびにiPS細胞に基づく再生医療	クローン胚、ES細胞、iPS細胞、再生医療	講義	予習：クローン胚作製技術を調べたうえで、「クローン人間産生」は法律で禁止されているが、そもそもなぜ「クローン人間産生」はいけなかったかを考えてくる(90分) 復習：再生医療の広がりを確認するとともに、安全性こそが倫理よりも重んじられるべきであることを自覚する(90分)	栗原
6	間葉系幹細胞からの再生医療	iPS細胞由来の再生医療に比して、実用的だとされる間葉系幹細胞に基づく再生医療を考える	講義	予習：間葉系幹細胞について調べておく。(90分) 復習：技術でできることなら、実用化され、臨床応用されてもいいのか？あるいは、技術でできることだからといって、臨床応用されてはいけなかったことがあるのかどうか、考える。(90分)	栗原
7	生殖補助医療の思想	人工授精、体外受精、胚盤胞移植、出生前診断、減数手術、妊娠中絶	講義	予習：生殖補助医療を実施している施設のHPを訪ねて、その概要をレポートする。(90分) 復習：出生前診断の問題点についてまとめる。(90分)	栗原
8	私たちは生まれてくる子どもに何を望むのか？	体外受精、生殖補助医療、出生前診断、着床前診断、新型出生前診断、遺伝子スクリーニング	講義	予習：ご両親に、自分がお母さんのおなかに宿った時の気持ち、妊娠中の期待と不安を聞き取るとともに、自分なら、生まれてくる子どもに、何を望むのか、考えておく。(90分) 復習：自らが当事者であった場合の対応を考える。(90分)	栗原

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	現代を生きてゆくための倫理学	栗原隆	ナカニシヤ出版
参考書	新潟から考える環境倫理	栗原隆	新潟日報事業社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%					10%	10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

生殖補助医療を進めるクリニックのHPを訪ねるレポートを課して、その発表に対してコメントを付したり、授業の折に触れ、受講生の感想を求めるとともに、それに対するコメントを授業で取り上げることによって、問題を深めてゆくつもりです。定期試験については、出題問題を予め予告したうえで、自筆手書きのノートや配布資料を持ち込んでもらう形で実施します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
栗原 隆	授業実施の月曜日の10時30分～40分	非常勤講師控室	

【その他】

前の授業時に課せられたテーマについて、＜一面では、ああととも言える＞が、しかし＜他面では、こうとも言える＞という、対立的な考え方を想定して考えてみると、思索を深めることができます。可能ならば、豊栄の「新潟県立環境と人間のふれあい館」、燕市の「大河津分水資料館」、新潟市の「新潟市歴史博物館みなとびあ」を実際に訪れてみると、座学とはけた違いの勉強になるでしょう。成績評価は合計60%以上を合格とします。テストに出題する問題は、予告したいと思います。

論述式の問題で4題を出題の予定です。すなわち一題20点で合計80点。採点基準は、反社会的、反人間的、論外な解答は0点。事実認識が間違っている解答は5点。論述が破綻していても、論点を外していても、授業を理解していると判断できる場合は、10点以上。授業を理解しているうえに、キーワードを押さえている場合は、論述の論理性に鑑みて14点～17点、授業内容を超える認識を示している解答は18点～20点として評価します。

文化人類学 Cultural Anthropology	授業担当教員	小野 博史		
	補助担当教員			
	区分	教養選択		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

現代は国際化が進み、地域社会には異なる文化をもつ人たちが生活している。一方で日本で生まれ育った人同士でも生活を送る際に世代間に大きなギャップが見られるので、薬剤師としての職務にも異なる文化や時代の常識を受け入れて理解することが求められるようになってきている。

本授業では、文化人類学の概念と基礎的な用語を理解し、日本や世界の諸地域に暮らす人々の生活慣行を見てゆくことで、人の誕生・結婚・死・病気のとらえ方が多様であることを知るとともに、現代日本に生きる私たちの常識をとらえ直し、異なる地域の常識を受け入れる素養を身につけることをめざす。

授業では夫婦別姓、同性同士の結婚をどのように理解すべきか、といった現代の私達にとって身近なテーマを扱いながら、文化人類学のものの捉え方、文化の多様性について解説していく。

なお、講義形式の授業であるが、授業中もしくは授業後にスマートフォンなどを活用した簡単なアンケートを行うことで、皆さんの経験や疑問を解決するアクティブラーニングを行う。

【到達目標】

知識・理解：1.文化人類学の基礎的な用語・調査方法を説明できる。2.日本および世界各地の文化の違いと共通点を文化人類学の視点から説明できる。

関心・意欲・態度：1.異なる価値観や伝統や制度を持った異文化に関して深い認識を持つことができる。2.自身の文化と考え方にとらわれず異文化に対して配慮できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	文化人類学の視点	文化人類学のごく基礎な概念と、特徴的な調査方法であるフィールドワークによる質的調査について学ぶ。	講義	復習：配布資料を参照しながら、文化を理解するために必要となる視点について整理して考える。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。 アンケート：夫婦別姓などについて回答する。（180分）	小野
2	家族と親族の多様性	家族と親族の多様なあり方とこれを理解するための理論について理解する。	講義	復習：配布資料を参照しながら、家族と親族を理解するための理論について整理してから、家族や親族関係について各自の経験に照らし合わせて考える。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。（180分）	小野
3	日本の家族・親族	日本の家族である家の特徴について把握し、他文化における家族との共通点や違いについて知る。	講義	復習：配布資料を参照しながら、日本の家族・親族関係の特徴とその変化について理解する。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。 アンケート：立ち会い出産などについて回答する。（180分）	小野
4	出産・誕生と儀礼	世界各地における人の誕生に関する観念や信仰、儀礼について学ぶ。	講義	復習：配布資料を参照しながら、人の誕生と文化の関係について整理してから、妊娠・出産に関する日本の慣習について考える。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。 アンケート：死者供養の方法などについて回答する。（180分）	小野
5	日本の出産・誕生と儀礼	日本における人の誕生に関する観念や信仰、儀礼とその変化について学ぶ。	講義	復習：配布資料を参照しながら、日本における誕生に関する信仰や儀礼が現在も大きな影響を持つことを理解する。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。（180分）	小野
6	死と信仰・儀礼	人の死の判定や死体処理、葬儀のあり方、死者供養の方法の多様性について学ぶ。	講義	復習：配布資料を参照しながら、文化によって異なる人の死についての観念や儀礼のあり方について整理して理解する。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。 アンケート：葬式に出される料理について回答する。（180分）	小野
7	死と儀礼・信仰 2 日本の葬式	日本の葬式日本における人の死と葬儀、死者供養の方法について学ぶ。	講義	復習：配布資料を参照しながら、日本文化における人の死と死者供養の特徴を理解する。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。（180分）	小野
8	葬式の衣装・道具・食事	祝いの機会に用いられる赤飯や白い服といったものが、葬式に使われる事例について学ぶ。	講義	復習：配布資料を参照しながら、日本文化における人生儀礼と衣装・道具・食事の特徴を理解する。 課題：授業内容についての小テストに取り組む。（180分）	小野

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	PDFファイルや印刷物を配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					80%			20%
備考					授業後に実施する小テスト			アンケートへの回答

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の授業後に授業内容に関する小テストをオンラインで実施する。また、1、 3、 4、 6回目の授業後に授業内容に関連する皆さんの知識や体験を記すアンケートをオンラインで実施するとともに、その結果を授業内容に反映する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小野 博史	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

テキストは使用しない。毎回の授業時に用いる資料はpdfを配布するほか、印刷したものも配布する。

<div> <div>地域活性化フィールドワークI</div> <div>Field work for regional revitalization</div> </div>	授業担当教員	中道 眞・杉田 耕一		
	補助担当教員	若栗 佳介		
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

地域企業や商店街など、地域産業の活性化について学生自らが主体的に考え、活性化活動と自らの行動の中から学ぶことを目的としたフィールドワークを行う。学生が個人あるいはグループを構成し、各個人あるいはグループが地域企業や商店街などを定期的に訪問し、課題を発見し、具体的提案などについて経営者等と共に検討する実践的な講義を行う。「社会調査論」「地域コミュニケーション演習」「地域活性化フィールドワークⅡ」の基礎となる科目である。

【到達目標】

フィールドにてヒアリングから課題と要望の的確に把握し、企業と円滑な意思疎通を図りながら課題解決の方法を具体化する能力を身につける。
知識・理解：１．ヒアリングの実施方法を理解できる。２．ヒアリングを実施する前の準備について説明できる。３．話の要点をまとめて記録することができる。４．ICT等を使って情報発信ができる。
思考・判断：１．課題の本質について深く掘り下げることができる。２．ヒアリングで聞いた内容について判断を入れ、話し手の本質について推測することができる。
関心・意欲・態度：１．プロジェクトへの責任感と実践課題の質向上に対して高い意欲を持つことができる。
技能・表現：１．集団の中で自らの意見を主張し、折り合いをつけながら協働作業を進めることができる。
その他：１．事業経営者と円滑なコミュニケーションを取る能力を身につけることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	本講義の目的と実施学習内容、到達点について理解する。	講義・SGD	予習：シラバスを熟読し、本科目の目的、自らが主体的に考えて行動することを考えて準備する。これまで経験した「地域」やフィールドワークの資料を蒐集し、これまでの到達点と本科目の目的をつなげる。以上をノートに準備する。（200分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
2	社会の発見と主体性	社会の発見、社会の改良・改造、社会調査、そして自ら行動する主体性を考える。	講義・演習	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストpp.18-31を読んで、質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
3	基本的な心構えと調査マインド、フィールドワーク1	他者と「社会」への関心、問題意識、ラポール	講義・SGD・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストpp.32-73を読んで、質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
4	基本的な心構えと調査マインド、フィールドワーク2	フィールドワークの方法を確認し、地域の本科目関連企業等地域を訪問しフィールドワークおよびヒアリング等調査を実践する。	講義・SGD・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストpp.32-73を再読して質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	杉田 中道 若栗
5	商店街や企業等地域の検討とグループ化	地域や企業・商店街等の特徴や概要を理解し、円滑なグループ化のための検討を行う。普段あまり話さない他の学生と積極的に交流を図り、コミュニケーション力と協調性を身につける。	講義・SGD・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストを再読して質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	杉田 中道 若栗
6	課題と要望の確認 課題の本質の検討	地域や企業等が課題・要望として挙げたことを理解し、ノート等を作成して整理する。また訪問した結果について報告する。地域や企業等から挙げられた課題や要望の対応についてグループで検討する。見えている課題の背景にある本質について考え、本当に実施すべきことを議論する。	演習・SGD・発表・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストを再読して質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	杉田 中道 若栗
7	中間発表準備	これまで検討や議論してきた内容、ホームページ・SNSの制作内容について整理して、全体に対して発表できるように準備する。	演習・SGD・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
8	中間発表	グループ毎に活動の中間報告を行う。企業の方から講評をいただき、改善点や今後実施すべき業務について整理する。	発表	予習：中間発表の準備をする。（300分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
9	最終報告に向けた活動内容の検討	中間発表のフィードバックを受けて、グループとして取り組む今後の業務、解決すべき課題について整理する。また、プロジェクトやグループワークで発生しやすい課題について理解する。	講義・SGD・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
10	地域での実践案の構築	地域での実践についての案を基に、実践の方法を構築する。具体的な実践方法と検討課題を発表し、クラス全体で議論する。	SGD・発表・討論・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	杉田 中道 若栗
11	地域での実践案の改善	各個人やグループ同士で互いにアドバイスを受けながら地域での実践を研鑽し、必要となる情報収集、実践の方法や留意事項の確認などを行う。	SGD・発表・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	杉田 中道 若栗
12	地域での実践する	地域や企業等にプレゼンや提出することを想定して実践内容の構築を行う。事前に企業との打ち合わせを済ませ、指摘された内容について改善可能か議論し、対応について検討する。	SGD・発表・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	杉田 中道 若栗
13	最終報告準備	最終報告に向けた準備を行う。プレゼンテーションに必要な資料作成、発表練習のほか、企業との打ち合わせが必要な部分があれば実施する。	SGD・フィールドワーク	予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。（100分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
14	最終報告	主体的に実施してきた活動内容、意義、課題等について、各個人が発表する。	発表	予習：最終報告の準備をする。（300分） 復習：授業内容（100分）	中道 杉田 若栗
15	サマリーとインブリケーション	講義全体のまとめと今後の学習に向けて～①各自の発表資料に追加記述して、地域活性化フィールドワーク1の総括をする。 ～②地域活性化フィールドワーク1で学んだ内容を自ら確認し、自分の課題と地域の課題を発見する。 ～③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを考え、各キーワードについて記述し、今後の学習計画を作成する。	講義・演習	予習：全体のまとめと今後の学習に向けて、①これまでの本科目全体の総括し、②ノートや発表資料を自ら再度確認し、課題を発見し、③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを3つ以上準備する。（100分） 復習：レポート提出に向けて、ノートや資料の全体を見直し加筆訂正する。具体的には、①本科目全体を把握するための図や表を作成し、②ノートや資料の全体を再度確認し、発見した課題への仮説や今後実践する内容を示して記述し、③今後の学習に向けたキーワードを確定させる。（200分）	中道 杉田 若栗

【教科書・参考書】			
種別	書名		著者・編者
教科書	社会調査の基礎～社会調査士A・B・C・D科目対応～		篠原清夫、清水強志、榎本環、大矢根淳
			弘文堂

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					20%	10%	10%	60%
備考	評価に加えず							・成果発表35%

【課題に対するフィードバック方法】
 課題については、授業中や次週の授業でフィードバックを行う。中間報告会と最終報告会については、その場で解説やコメントを行うことで各学生あるいはグループ単位の評価等フィードバックを行う。なおコメント等のフィードバックは、配布された時間割に明記されている授業時間あるいはその他に設定した時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内での投稿やチャット等を使用して受付・実施に変更する可能性があります。もしMicrosoft teams上での当科目のチーム内での投稿やチャット等ができない学生がいる場合はメール等での実施に替えることもあるので、ポータルサイト等の告知等を十分に注意しておいてください。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中道 眞	水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）	NE209	agri-sugita@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～16:00	新津駅東キャンパス（NE215）	wakakuri@nupals.ac.jp

【その他】
 企業など地域組織等を定期的に訪問して議論を行いながら作業を進めるため授業外学習が必須となる。各自の予定やグループのメンバーで時間を合わせ、講義準備及び訪問を行うことになります。社会調査やフィールドワークの基本についてはテキストを熟読して各自で学習することも必須となります。
 なお、この科目はにいがたマインド学生マイスター取得対象科目です。

基礎経済学II Intoroduction to Behavioral Economics	授業担当教員	内田 誠吾		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

経済学と心理学の境界領域である行動経済学の講義を通じ、人間の行動や意思決定のメカニズムについて解説する。マーケティング研究の第一人者であるコトラーが「行動経済学はマーケティングの別称すぎない」と述べたように、消費者行動の理解には行動経済学は欠かせない。また、相手に強制させることなく、自発的に、望ましい行動をとらせる「ナッジ」は厚生労働省や大手企業でも実践されている、実用性の高い理論である。行動経済学の理論を講義するとともに、マーケティングや行政における応用例についても紹介する。

「食品経済学」、「マーケティング論」、「サービス産業論」、「ビジネスプロデュース論」、「地域活性化フィールドワーク II」で必要となる消費者行動やナッジの考え方を解説する。

【到達目標】

行動経済学の基本的な考え方を理解する。また、マーケティングや行政における応用例についても理解できる。

知識・理解：経済学と心理学の境界領域である行動経済学の考え方を理解する。

思考・判断：行動経済学のモデルについて習熟する。

関心・意欲・態度：行動経済学について、具体的な応用例について説明できる。

技能・表現：簡単な経済モデルを表現できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 行動経済学はどのようなものか。	伝統的な経済学が想定している人間像と対比しながら、行動経済学の考え方について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
2	ヒューリスティック①	システム1とシステム2の考え方、代表的ヒューリスティック、利用可能性ヒューリスティックとその事例について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
3	ヒューリスティック②	固着性ヒューリスティックについて説明する。アンカリングとフレーミング効果を紹介し、それぞれの実験を行う。	講義・演習・実験	予習：教科書の熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
4	時間選好①	異時点間選択と時間割引率の測定法について説明する。	講義・実験	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
5	時間選好②	時間割引率のアノマリー、ソフィスティケートッドとナイーフについて説明する。また、時間選好に関する政策や価格差別などへの応用例について紹介する。	講義・演習	予習：教科書、プリントの熟読。（150分） 復習：教科書、プリントの熟読。（150分）	内田
6	リスク選好とプロスペクト理論①	不確実性下の選択、期待効用理論について説明する。また、アレーとゼックハウザーのパラドックスを紹介し、期待効用理論の限界について理解する。	講義・実験	予習：教科書の熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
7	リスク選好とプロスペクト理論②	プロスペクト理論、プロスペクト理論における参照点の設定について説明する。リスク選好とプロスペクト理論に関連した、消費者行動や企業の価格設定に関する応用例を説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
8	社会的選好①	独裁者ゲーム、最後通牒ゲーム、信頼性ゲーム、違法副業ゲーム、互酬性について説明する。	講義・実験	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
9	社会的選好②	公共財供給実験、社会的ジレンマ、不平等回避性、文化と社会的選好について説明する。また、社会的選好に関する政策面への応用例について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
10	お金に対する経済心理①	お金の経済的な意義・心理的な効果、お金を払う苦痛、メンタルアカウンティングについて説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
11	お金に対する経済心理②	サンクコスト、保有効果、機会費用、「無料（フリー）」の価格の経済心理について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
12	問題演習	中間テストに向けて、問題演習を行う。	演習	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
13	中間テスト	中間テストとその解説を行う。	講義・試験	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
14	行動経済学のマーケティングへの応用例	行動経済学を用いたマーケティングについて、具体的な応用事例を学ぶ。	講義・演習	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
15	大手企業や厚生労働省が採用しているナッジの応用事例	相手に強制することなく、望ましい行動をとらせるナッジについて、大手企業や厚生労働省が実践している事例について学ぶ。	発表・討論	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	プリントを配布します		
教科書	行動経済学入門	筒井義郎、佐々木俊一郎、山根承子、グレッグ・マルデワ	東洋経済
参考書	行動経済学	室岡健志	日本評論社
参考書	行動経済学	阿部誠	新星出版社
参考書	実験経済学・行動経済学	和田良子	新世社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%					30%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

中間テストは、授業中に解説します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内田 誠吾	月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00	NE203	seigo.uchida@nupals.ac.jp

【その他】

経済学は、世界標準の体系が確立されている社会科学であり、論理的な思考を身に着けるために最適な学問の1つと言えます。経済学を通して丁寧に論理を追う習慣を身につけましょう。

試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。

論理的思考論 Theory of Logical Thinking		授業担当教員	伊藤 美千代		
		補助担当教員			
		区分	専門必修		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】
これからの産業を牽引する人材にとって、ビジネスの現場において自分の考えを正確かつ魅力的にアピールすることは必須のスキルである。そのためには自分の思考および伝えたいことを論理的に整理できる能力が必要になる。ここでは、その能力を基礎から身に付けることができるように、論理学の初歩から始まり、考えの整理の仕方、表現方法などについて講義をする。さらに、それを応用したロジカルライティングについて説明する。本科目は、1年次開講科目「学習論」の知識が必要となる。

【到達目標】
自分の主張を論理的に整理し、相手に伝わるような文章作成ができるようになる。
知識・理解：1. 論理とは何か、論理的思考とは何かを説明できる。
思考・判断：1. 自分の文章が論理的かどうかを判断できる。2. 他者による文章が論理的かどうかを判断できる。
関心・意欲・態度：1. 論理的な文章作成方法について理解できる。
技能・表現：1. 論理的な文章を作成できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション レポート・論文作成の基礎知識	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 レポート・論文を作成する上での基礎的な知識について理解する。	講義・ 討論	予習：シラバスの熟読、教科書 p.10～36（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
2	レポート・論文のルール	レポート・論文を作成する上でのルールについて学ぶ。	講義・ 討論	予習：教科書 p.10～36（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
3	参考文献記載法	参考文献の記載方法について学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.18～23（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
4	発想力	レポート・論文作成に必要な発想力を身につける。	講義・ SGD	予習：教科書 p.38～41（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
5	読解力	文献を読み、的確な情報を抜き出せる手法を学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.42～45（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
6	要約力	文章の主張を正しくつかみ、的確に短くまとめる手法を学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.46～49（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
7	批判的思考力	筆者の主張を単に納得するだけではなく、主張の前提が合っているのか、主張の根拠は示されているのか等、批判的な思考を学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.50～53（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
8	表現力	レポート・論文を書くためには、事実と意見を区別したり、論理的な構成を考えたりしなくてはならない。論理的な表現力を身につけ、論理的な展開を行う手法について学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.54～57（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
9	課題発見力	自分の問題意識を探り、課題を発見する力を身につける。	講義・ SGD	予習：教科書 p.70～81（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
10	課題考察力	入手した情報をもとに考察を深める手法を学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.98～101（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
11	論文構成本力	論文の展開を考え、分かりやすく説明できる論文構成本力を身につける。	講義・ 討論	予習：教科書 p.102～105（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
12	文章構成本力	論文執筆のためのアウトラインの作り方について学ぶ。	講義・ SGD	予習：教科書 p.106～113（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
13	論文作成計画	論理的な論文を作成するためのアウトラインを作成する。	講義・ SGD	予習：教科書 p.114～115（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
14	論文作成（1）	学術的な論文を作成する。「序論」「本論」「結論」の3部構成による論理展開について理解する。	講義・ 実習	予習：教科書 p.114～115（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤
15	論文作成（2）	作成した論文を推敲する。提出前の確認事項について学ぶ。	講義・ 実習	予習：教科書 p.114～115（120分） 復習：講義内容（150分）	伊藤

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	学生のレポート・論文作成トレーニング（改訂版）	桑田てるみ 編	実教出版

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						70%	30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答します。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp

農業ビジネス論I Agribusiness I	授業担当教員	杉田 耕一		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】
農業は我々の日々の食生活を豊かにしてくれる大切な産業であり、増え続ける世界人口問題を解決する最も重要な産業である。更に、農業は自然環境を保持していくための重要な役割も担っている。一方、我が国の農業がおかれた現状は厳しいものがあるが、近年では農業の重要性が見直され様々な政策が実施されると共に、企業の農業参入やIoTを駆使したスマート農業など新しい流れが生まれつつある。本講義では、農業とはどのような産業なのか基本事項を広く講義する。また、「農業ビジネス論Ⅰ」は、2年次開講科目「農業ビジネス論Ⅱ」、「農業経済学」などの基礎に位置づけられる。

【実務経験】
担当教員は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では農業に関する基本的な知識取得に加え、農業現場での普及状況や実際のビジネスと関連付けた講義を行う。

【到達目標】
農業の現状を広く理解し、農業ビジネス分野で活躍するための基礎的能力を身につける。
知識・理解：1. 農業の成り立ちと現代の農法について説明できる。2. 農業を支える組織や制度について説明できる。3. 稲作経営の現状について説明できる。
4. 野菜・果樹・花卉経営の現状について説明できる。5. 畜産経営の現状について説明できる。6. 世界と日本の食料事情について説明できる。
7. 新しい農業の展開について説明できる。
思考・判断：1. 農業関連データを収集し分析することができる。2. 世界の貿易環境の変化や国内環境の変化をとらえ、今後の我が国の農業が向かう方向性を推論することができる。
関心・意欲・態度：1. 日々報道される農業関連情報に関心を持つ。2. 日常の購買行動の中で、農産物の出荷エリアや価格等について関心を持つ。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	シラバスを基に、授業概要、一般目標、到達目標を理解する。	講義	予習：シラバスの熟読、教科書p.2～3（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
2	農業の成り立ち	日本の農地条件、品種改良について学ぶ。	講義	予習：教科書p.11～27（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
3	農業の成り立ち・農業を支える人	現代農業をもたらした肥料・農業・機械化について学ぶ。農家の現状について各種統計データの解釈を行いながら学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.28～53、肥料売り場の調査（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
4	農業を支える組織・制度	行政組織、農協、法律等の制度変遷について学ぶ。	講義	予習：教科書p.54～75、JAの調査（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
5	稲作経営①	世界と日本の生産状況、米作りの流れ、銘柄米の開発、酒米について学ぶ。	講義	予習：教科書p.77～97、米売り場の調査（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
6	稲作経営②・野菜	米の新たな可能性と野菜の生産状況等について各種統計データを解釈しながら学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.98～109（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
7	果樹・花卉・工芸作物	花卉・工芸作物の生産状況等について各種統計データを解釈しながら学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.110～119（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
8	農作物に関するまとめ、および学習成果の確認	第7回までに学んだ農作物の栽培や組織、制度に関するまとめを行う。また、その学習成果を確認するための中間テストも実施する。	講義・試験	予習：第7回講義までの総復習（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
9	畜産経営の基本	畜産飼料、乳牛の基本と乳製品、和牛、養豚養鶏の基本、ブランド化について学ぶ。	講義	予習：教科書p.123～153（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
10	世界と日本の食料事情	世界の食料不足問題、遺伝子組み換え作物の普及、日本の食料自給率、生産資材の海外依存、TPP等の貿易について各種統計データを解釈しながら学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.155～185（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
11	これからの日本の農業	我が国が抱える農業の課題を整理し、これからの農業の在り方について学ぶ。	講義	予習：教科書p.187～218（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
12	遺伝子組換え作物	遺伝子組換え作物の基礎知識、普及状況を学ぶ。	講義・SGD	予習：プリント（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
13	スマート農業・植物工場	IoT/AIを活用したスマート農業、植物工場など最新事例について事例動画により学習すると共に、これら技術革新がもたらす新しい農業価値について学ぶ。	講義・SGD	予習：プリント（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
14	新潟県の農業	新潟県の農業生産状況について学ぶ。	講義	予習：プリント（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
15	新潟県の農業を支える人・組織・制度	新潟県の農家、行政組織、農協、行政支援制度等について学ぶ。	講義	予習：プリント（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	現代農業入門	八木宏典	家の光協会

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%	40%					10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
講義中またはTeamsで解説を行います。個別の質問等についてはTeamsチャットで随時対応します。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）	NE209	agri-sugita@nupals.ac.jp

【その他】
この科目は、にいがたマイナード学生マイスター取得対象科目です。

会計学 Finance and Accounting	授業担当教員	内田 誠吾		
	補助担当教員			
	区分	専門必修		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

会計学の基本的な考え方を説明し、財務3表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）を分析する手法を説明する。具体的には、利益と費用、連結、在庫、機会損失、回転率、資産、キャッシュフローなどの考え方を、生活や経営の具体的な事例で紹介する。その後、財務3表の読み方について講義し、実際の企業の財務3表の分析を通して、企業行動を解説する。

「農業ビジネス論I」、「農業ビジネス論II」、「地域産業ビジネス論」、「サービス産業論」、「ビジネスプロデュース論」など、企業分析（やその関連科目）においては、財務3表を自由自在に読みこなす力が不可欠となる。本講義においては、多くの事例を通じて実践的な力が身につくような講義を目指す。

【到達目標】

1. 会計の基本的な考え方を理解できる。
 2. 財務3表を読みこなし、企業行動を説明できる。
- 知識・理解：会計学の基本的な考え方を理解できる。
- 思考・判断：財務3表を読み込むことで企業行動を客観的に分析できる。
- 関心・意欲・態度：企業分析のために、財務3表を使いこなせるようになる。
- 技能・表現：財務3表を読み、企業間の比較ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	会計の考え方について	講義	予習：参考書の概要を理解する（60分） 復習：配布資料・課題図書熟読（200分）	内田
2	利益と資金繰り	企業が存続するために大前提となる利益と資金繰りについて説明する。	講義	予習：会計における利益と資金繰りの意義について自分で調べてみる（100分） 復習：利益と資金繰りについて、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
3	連結	連結経営について理解する。また、連結経営で利益を上げている企業の事例を学ぶ。身近な中小企業から大企業まで連結経営で成功している企業を探し、発表を行う。	講義・発表	予習：連結の意義や事例について自分で調べてみる（100分） 復習：連結について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
4	在庫	在庫が企業経営に与える影響について説明する。また、各企業の在庫への対処法を学ぶ。	講義	予習：在庫が企業経営に与える影響について自分で調べてみる（100分） 復習：在庫について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
5	機会損失	ビジネスにおける機会損失の考え方を学ぶ。日常生活やビジネスでどのようなチャンスロスやチャンスゲインが考えられるかについて発表を行う。	講義・発表	予習：機会損失の意義について自分で調べてみる（100分） 復習：機会損失について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
6	回転率	回転率の考え方について学ぶ。また、固定費、変動費、損益分岐点の考え方についても学ぶ。	講義	予習：回転率の意義について自分で調べてみる（100分） 復習：回転率について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
7	資産・貸借対照表①	資産の考え方について学ぶ。また、資産の保有の仕方が経営にどのように影響を及ぼすかについて説明する。続いて、基本的な貸借対照表の考え方についても講義する。	講義	予習：会計学で使われる資産の概念について自分で調べてみる（100分） 復習：資産について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
8	キャッシュフロー・キャッシュフロー計算書①	身近な事例や企業活動におけるキャッシュフローの考え方について学ぶ。続けて、キャッシュフロー計算書についての基本的な考え方を学ぶ。	講義	予習：キャッシュフローの概念について自分で調べてみる（100分） 復習：キャッシュフローについて、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
9	貸借対照表②	実際の企業の貸借対照表を用いて、安全性について様々な角度から分析できる力を身に付ける。いくつかの企業の貸借対照表を用いて、それぞれの企業の安全性について発表を行う。	講義・発表	予習：貸借対照表について自分で調べてみる（100分） 復習：貸借対照表について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
10	損益計算書①	売上高、売上原価、販売費・一般管理費、売上総利益、経常利益、営業利益、純利益など、損益計算書を理解するために重要な知識を学ぶ。	講義	予習：前回の授業で勉強したことを生かし、実際の企業の貸借対照表を読んでみる（100分） 復習：配布資料などで企業の貸借対照表の読み方について再確認する（160分）	内田
11	損益計算書②	減価償却費、引当金、のれん代について説明し、貸借対照表やキャッシュフロー計算書との関係についても理解できるように事例を用いて講義を行う。	講義	予習：損益計算書について自分で調べてみる（100分） 復習：損益計算書について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
12	キャッシュフロー計算書②	実際のキャッシュフロー計算書を読み、企業の経営の特徴を理解する。	講義	予習：前回の授業で勉強したことを生かし、実際の企業の貸借対照表を読んでみる（100分） 復習：配布資料などで企業の貸借対照表の読み方について再確認する（160分）	内田
13	財務3表の相互関係について	総仕上げの一つとして、財務3表相互の関係について説明を行う。企業の経営判断があったとき、財務3表のそれぞれがどのように変化するかについて発表や討論を行う。	講義・発表・討論	予習：キャッシュフロー計算書について自分で調べてみる（100分） 復習：キャッシュフロー計算書について、配布資料・課題図書などで再確認する（160分）	内田
14	財務3表を用いた企業間比較	総仕上げの一つとして、財務3表を用いて、企業間比較を行う。事例について企業間比較し、その結果について発表や討論を行う。	講義・発表・討論	予習：前回の授業で勉強したことを生かし、実際の企業のキャッシュフロー計算書を読んでみる（100分） 復習：配布資料などで企業のキャッシュフロー計算書の読み方について再確認する（160分）	内田
15	問題演習	最終試験に向けて問題演習を行う。	演習	予習：これまでの授業内容を復習する。（240分） 復習：授業の練習問題をもう一度確認する。（240分）	内田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	プリントを配布する。		
教科書	さおだけ屋はなぜ潰れないのか？	山田真哉	光文社新書
教科書	決算書を読む技術	川口宏之	かんき出版
参考書	財務会計・入門	桜井久勝・須田一幸	有斐閣アルマ
参考書	財務3表一休理解法	國定克則	朝日新書

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%				10%			20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

授業理解のための小テストは、解説を行います。
授業では、資料を用いて実際の事例を数多く分析し、発表や討論を行います。その結果についてコメントします。
試験も予定していますので、試験終了後に解説をします。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内田 誠吾	月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00	NE203	seigo.uchida@nupals.ac.jp

【その他】

会計学の考え方や財務諸表の読み方は、これからの人生で必ず必要となり、かつ、ビジネスにおいて私たちを大きく助けてくれます。きちんと財務3表を読みこなせるようになりましょう。この講義では会計学をできるだけ実践的に使えるようになることを目指します。
試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。